

三 最遠住宅迄ノ距離及應召員ノ數ハ在郷軍人第一補充兵ノ現在員ニ依リ調査スヘシ

用紙美濃紙

召集旅費到達時間調査表

明治何年何月何日

何聯隊區(何縣何郡何町村)

府 縣	出納官吏所在地	金庫名	出納官吏金庫ヨリ現應召員へ旅費支金受領ニ要スル時間		計
			何 郡	何 町	
何					

一 事務整理ノ爲ニ要スル時間ヲ應召員へ旅費支給ニ要スル時間中ニ加算スヘシ

二 應召員ノ數及其居住地ハ在郷軍人第一補充兵ノ現在員ニ依リ調査スヘシ

三 分任出納官吏ヲ置キ出納官吏ヨリ現金ノ授受ヲナストキハ更ニ一書ヲ設ケ之レニ要スル時間ヲ記入スヘシ

○三重縣訓令甲第六十五號 廿九年十二月一日

伊賀國ヲ除ク 郡市役所 町村役場

來ル三十年度動員計畫上要用ノ旨今般第三師團長ヨリ照會ノ趣有之ニ付充員召集發令ニ當リ下達時間及旅費到達時間ヲ調査シ町村長ハ別紙第一第二様式ニ依リ製表シ本月二十日限リ郡長へ差出シ郡市長ハ第二第三様式ニ依リ之ヲ調製シ明治三十年一月十日限リ津聯隊區司令官へ送附スヘシ

第一様式 用紙美濃紙

充員召集令下達時間調査表

明治何年何月何日

何縣何町(村)

町(村)役場ヨリ町(村)内最遠住宅迄ノ距離	何 里 何 町
應召員ノ數	何 人
召集令交付ニ用ナル使丁等ノ數	何 人
召集令受領後ヨリ召集令狀ヲ交付シ終ル迄ノ時間	何 時 何 分

一 時間ハ分時迄里數ハ町數迄ヲ記スヘシ

- 一 事務整理ノ爲メ消費スル時間ハ概テ三時間トス
- 二 最遠住宅迄ノ距離及應召員ノ數ハ在郷軍人第一補充兵現在員ニ依リ調査スヘシ

第二様式 用紙美濃紙

召集旅費到達時間調査表

明治何年何月何日 何縣何郡何市町村

縣	出納官吏所在地	金庫名	出納官吏金庫ヨリ受應召員ヘ旅費支給ニ要スル時間		計
			領ニ要スル時間	給ニ要スル時間	
何	何郡何村				

- 一 事務整理ノ爲メ要スル時間ヲ應召員ヘ旅費支給ニ要スル時間ニ加算スヘシ
- 二 應召員ノ數及其居住地ハ在郷軍人第一補充兵ノ現在員ニ依リ調査スヘシ

三分任出納官吏ヲ置キ出納官吏ヨリ現金ノ授受ヲ爲ストキハ更ニ一畫ヲ設ケ之ニ要スル時間ヲ記入スヘシ

第三様式 用紙美濃紙

充員召集令下達時間調査表

明治何年何月何日 何縣何郡何市町村

郡名	市名	聯隊區司令部ヨリ郡市役所ニ到ル里程	同上下達時間	町村名					同上下達時間	市(町村)役場ヨリ召集令狀ヲ各自ニ交付シ終ル時間	計
				町	里	何	何	何			
何郡	陸路何里	電	信	何町	何里	何時何分	何時何分	何時何分	何時何分	何時何分	
	海路何里	何時何分		何村	何里何町	何時何分	何時何分	何時何分	何時何分	何時何分	
				何村	何里何町	何時何分	何時何分	何時何分	何時何分	何時何分	
				何村	何里何町	何時何分	何時何分	何時何分	何時何分	何時何分	
				何村	何里何町	何時何分	何時何分	何時何分	何時何分	何時何分	

- 一 電信ヲ用ヒタルトキハ下達時間ノ右肩ニ電信ノ二字ヲ朱記スヘシ
- 二 事務整理ノ爲メ消費スル時間ハ聯隊區司令部ハ二時間郡市役所ハ三時間トシテコレヲ下達時間ニ加算スヘシ

○三重縣訓令甲第六十六號 廿九年十二月十一日

郡役所 警察署 同分署 市役所 町村役場

明治廿七年(六月)本縣訓令甲第六十一號中九日間トアルヲ七日間ト改正ス

(參照)

明治廿七年(六月)三重縣訓令甲第六十一號ハ黑死病豫防ニ關スル件ナリ

○三重縣訓令甲第六十七號 廿九年十二月十五日

郡市役所 警察署 同分署 町村役場

道路往來止メ若クハ車止メノ場合ニ郵便ノ遞送及集配並ニ電報集配人ヲシテ他ノ迂路ヲ

取ラシムル時ハ通信ノ遲達ヲ來スヘクニ付右等ノ場所ト雖可成通過セシムル様取計フヘ

シ

○三重縣訓令甲第六十八號 廿九年十二月十五日

郡役所 市役所 町村役場

本年十一月内務省令第十一號ヲ以テ明治十九年内務省令第十九號ハ第九條追加相成候ニ

付テハ市役所町村役場ニ於テハ外國渡航人名簿ヲ調製シ渡航又ハ歸朝ノ届出アリタルト

キハ戶籍取扱手續第二十三條出寄留簿及第二十四條出寄留者復歸記載例ニ依リ取扱ヒ其

届書ハ總テ便宜編綴保存スヘシ

(參照)

内務省令第十九號(明治十九年九月二十八日)中抄錄

第九條 外國ニ渡航スルルハ戶主又ハ本人ヨリ出發前ニ届出歸朝シタルルハ十日以内

ニ届出ヘシ

戶籍取扱手續(明治十九年十月十六日)内務省令第二十二號)中抄錄

第二十三條 他府縣又ハ他郡區へ寄留シタルノ届書到達シタルトキハ出寄留簿ニ列記

スヘシ

第二十四條 出寄留者復歸シタルノ届出アリタルトキハ朱ニテ記入シ其人名ニ朱線ヲ

畫スヘシ

(記載例略ス)

○三重縣訓令甲第六十九號 廿九年十二月廿二日

郡市役所 町村役場

明治廿三年(十一月)三重縣訓令甲第九十八號戶籍表様式中第八耕作及捕漁採鹽業戶數表

ヲ删除ス

○三重縣訓令甲第七十號 廿九年十二月廿二日

郡市役所 町村役場

明治二十三年(十一月)三重縣訓令甲第九十八號戶籍表様式第六就除籍送籍及失踪表中

府縣内送入籍他府縣送入籍ノ項取調方自今市町村長ニ於テ左ノ内譯表調製諸表ト共ニ差

出スヘク郡長ハ町村長ヨリ差出シタル該表ヲ精査シ同様式ニ倣ヒ總計表ヲ製シ併セテ進

達スヘシ

送入籍内譯表

府	縣	名別	府内		他府縣ニ係ル		他郡市ニ係ル		他町村ニ係ル	
			男	女	男	女	男	女	男	女
合計	何府	何縣	送籍		入籍		送籍		入籍	
			本年ノ送籍ニシテ入籍ノ知ルモノ	前年ノ送籍ニシテ本年ノ入籍ノ知ルモノ	本年ノ入籍ノ知ルモノ	前年ノ入籍ノ知ルモノ	本年ノ送籍ニシテ入籍ノ知ルモノ	前年ノ送籍ニシテ本年ノ入籍ノ知ルモノ	本年ノ入籍ノ知ルモノ	前年ノ入籍ノ知ルモノ
合計	何府	何縣	市		郡		村		町	
合計	何府	何縣	何市		何郡		何村		何町	

一 他府縣ニ係ル送籍又ハ入籍ノ項ニハ他府縣ニ送籍シ又他府縣ヨリ入籍シタル者ヲ記

入可シ但送籍ハ本縣ヨリ他府縣ニ送籍シ他府縣ヨリ入籍濟ノ通知ヲ本年中又ハ翌年一月製表ノ時マテニ受ケテ除籍シタル者ノ數ヲ記入ス可シ

一 本年ノ送籍ニシテ入籍報知アリシモノ、項ニハ例ハ明治二十九年中送籍シ翌三十年一月製表ノ時マテニ入籍報知アリシモノ、數ヲ再掲ス可シ

一 前年以前ノ送籍ニシテ本月中入籍ノ通知アリシモノ、項ニハ例ハ明治二十八年中送籍シ二十九年一月製表ノ時迄ニ入籍濟ノ通知ナキモノヲ製表以後除籍ヲ爲シ廿九年末調ニ於テ送籍ノ數ニ算入セシ者ノ數ヲ再掲ス可シ但前々年以前ニ係ルモノハ表尾ニ年號ト其數ヲ記載ス可シ

一 本年ノ送籍ニシテ入籍報知ナキモノ、項ニハ例ハ明治二十九年中ノ送籍ニシテ翌三十年一月製表ノ時マテニ入籍濟ノ通知ナキ者ノ數ヲ記入ス可シ但前年以前ニ係ルモノハ表尾ニ年號ト其數ヲ記載ス可シ

一 縣内他郡市ニ送籍又ハ入籍ノ項ニハ縣内ニ於テ本郡市ヨリ他郡市ニ送籍シ又他郡市ヨリ入籍シタル者ヲ記入ス可シ

一 郡内他町村ニ送籍又ハ入籍ノ項ニハ郡内他町村ニ送籍シ又他町村ヨリ入籍シタル者ヲ記入ス可シ

○三重縣訓令甲第七十一號 廿九年十二月廿五日

郡役所 警察署 同分署 市役所 町村役場

一本表ハ十二月卅一日ノ現在ヲ調査スヘシ
 一西洋形船ノ之レナキ郡市ニ於テハ其欄ヲ省クベシ
 ○三重縣訓令甲第七十四號 廿九年十二月廿五日 郡市役所
 今般縣令第五十號ヲ以テ船鑑札ニ關スル件ヲ委任セシニ付テハ右ニ關スル郡市役所事務ハ
 本年(十二月)遞信省令第二十五號船鑑札規則並ニ同省訓令第四號同規則施行手續ニ據リ
 處理シ猶ホ左ノ條項ニ據リ取扱フ可シ
 第一項 毎年一月及ヒ七月十日マテニ施行手續ノ附録書式ニ據リ前六箇月間ニ於ケル船
 舶ノ異動ヲ本廳ニ報告スヘシ
 第二項 船鑑札ハ各郡役市所毎ニ其番號ヲ起シ番號ノ上ニ其郡市名ノ頭字ヲ冠記ス可シ
 第三項 返納其他廢棄ニ屬セシ船鑑札ハ便宜燒棄ス可シ
 第四項 船鑑札ハ毎年二月末日マテニ翌年度(會計年度)一箇年分ノ下附概算數ヲ取調ヘ
 本廳ニ請求スヘシ

(書式)明治何年度船鑑札收支報告

- 一 前年ヨリ繰越高 何 枚
- 一 本年度請求高 何 枚
- 一 本年度下附高 何 枚
- 一 差引殘高 何 枚

○三重縣訓令甲第七十五號 廿九年十二月廿九日

郡市役所 町村役場

馬匹徵發規則別冊ノ通相定ム

但本文ニ抵觸ノ令達等ハ渾テ廢止ス

馬匹徵發規定

馬匹徵發規定

第一章 總 則

- 第一條 本規定ハ戰時若クハ事變ニ際シ各部團隊ノ動員ニ要スル馬匹ヲ徵發スルノ手續ヲ規定ス
- 第二條 本規定ニ於テ徵發區トハ徵發令第四條ノ郡區市ヲ云フ
- 第三條 徵發馬匹ノ差出場所ニハ検査場ヲ設ケ馬匹ヲ検査スルモノトス
- 第四條 第四師團三馬匹徵發委員ヲ常置シ第四師團參謀長ノ監視ノ下ニ在テ馬匹徵發ニ

明治二十九年十二月

三重縣訓令

關スル一切ノ事項ヲ處辨シ別ニ臨時委員若干ヲ設ケ馬匹ノ徵發ヲ實行スルニ臨ミ各
 差出場處ニ於テ徵發ニ從事セシムヘキモノトス
 第五條 牝馬及体尺四尺四寸以下年齢五歳未満十五歳以上ノ馬匹ハ特別ノ時機ニアラサ
 レハ徵發セラル、コトナシ
 第六條 市町村長ノ爲ス徵發馬匹ノ調査ハ明治二十三年十二月陸軍次官通牒送甲第二一
 二三號徵發物件調査方概改正第三號ノ二ノ内第二第三第四項ニ據ル
 第七條 徵發馬匹ノ検査ハ其原用ノ乘馬駕馬駄馬耕馬タルニ拘ハラズ概テ左ノ資格ヲ標
 準トシテ其用途ヲ定ム
 一 乘 馬
 体尺四尺五寸以上ニシテ骨格強健四肢ノ踏打完全ニシテ乘御ニ馴レタルモノ
 二 駕 馬
 体尺四尺五寸以上ニシテ胸前廣ク骨格四肢強健ナルモノ及ヒ車輛ヲ挽クニ馴レタルモ
 ノ
 三 駄 馬
 重量約三十貫目ヲ負擔シ得ルモノ
 第八條 検査ニ合格セシ馬匹ハ買上ケ或ハ借上ケトス借上中斃死シ若クハ使用ニ耐ヘ難
 キ廢疾ニ罹タルトキハ豫定價格ヲ以テ買上タル、モノトス時宜ニ依リ健馬ト雖モ借上

中更ニ買上ラル、コトアルヘシ
 第九條 検査ニ合格セシ馬匹ノ數、師團ノ所要數ニ超過スル時其剩余ノ合格馬匹ハ豫備
 トシテ一旦歸郷セシメラル、モノトス
 第十條 馬匹ノ徵發ハ全師管内同時ニ或ハ二次ニ分チ或ハ一部ノ地方ヲ限リ徵發セラル
 、モノトス
 第十一條 馬匹ノ徵發ハ徵發書ニ換ヘ知事ヨリ郡市長ニ宛テ附表第一ノ例文ヲ至急官報
 ノ電信又ハ急使ヲ以テ發送スルモノトス
 第十二條 郡市長第十二條ノ電信ヲ受領シタルトキハ其電信ノ全文ヲ掲ケコレヲ確受シ
 タル旨ヲ附記シ至急官報ヲ以テ知事ヘ返電スヘキモノトス
 第十三條 馬匹ノ屬具ハコレヲ徵用スルコトナシ但シ頭絡及牽綱ハ必ス一馬毎ニ附屬ス
 ヘキモノトス
 第十四條 馬匹差出場所ハ津市トス
 第二章 賠償
 第十五條 徵發ニ應ジ差出場所ニ馬匹ヲ輸送スルモノニハ其徵發區界ヨリ差出場所ニ到
 ル里程ニ應ジ輸送費ヲ賠償セラルヘシ但シ一里未満ノ端數ハ賠償セラレサルモノトス
 第十六條 左ニ掲クル馬匹ニモ前條ニ據リ其徵發區界迄ノ輸送費ヲ賠償セラルヘシ
 一 馬匹徵發委員ノ検査ニ合格セスシテ歸郷ヲ命セラレタル馬匹

二 第九條ニ據リ一時歸郷セシムル馬匹
 三 師團ノ都合ニ據リ不用トナリ歸郷ヲ命セラレタル馬匹
 四 解雇歸郷セシムル馬匹

第十七條 都合ニ依リ一日以上ノ滞在ヲ命セラレタル時ハ滞在費ヲ賠償セラルル者トス
 第十八條 検査ニ合格シ歸郷スル馬主ニハ其徵發區界迄ノ里程ニ應シ旅費ヲ賠償セラル
 ヘシ但シ陸路一里瀛車路一哩未滿ノ端數ハ賠償セラレサルモノトス

第十九條 借上馬匹ノ解雇ニ當リ馬主ヲ徵發區外ニ呼ヒ寄セタルトキハ徵發區界ヨリ解
 雇場所迄ノ里程ニ應シ旅費ヲ賠償セラルヘシ其ノ計算方ハ第十八條ニ同シ

第三章 馬匹徵發ノ準備

第二十條 市長村長ハ毎年十二月盡日其管内ニ現在スル馬匹ノ内第五條ニ該當スルモノ
 ヲ除キ其他ノ馬匹ヲ第六條ニ據リ調査シ徵發馬匹現在表(第一書式)ヲ作り市長ハ毎年
 一月二十二日限り之レヲ知事ニ進達シ町村長ハ毎年一月十五日限りコレヲ郡長ニ差出
 スヘキモノトス

第二十一條 郡長ハ町村ノ徵發馬匹現在表ニ據リ郡ノ徵發馬匹現在表(第二書式)ヲ作り
 毎年一月二十二日限りコレヲ知事ニ進達スルモノトス

第二十二條 郡長ハ知事ヨリ第一次及第二次徵發馬匹配當ノ告達ヲ受ルトキハ郡ノ配當
 馬數ヲ各町村ニ配賦シ差出場所ヘノ到着日數ト共ニ進クモ三月一日迄コレヲ町村長

ニ告達スルモノトス

第二十三條 市長ハ知事ヨリ町村長ハ郡長ヨリ配當ノ告達ヲ受ケタルトキハ其郡内ニ在
 ル馬匹ノ内成ルヘク優等ノモノヲ撰定シ應徵馬主ニ徵發ノ趣旨ヲ了得セシメ毎年三月
 二十日迄ニ徵發馬匹連名簿(第二書式)殘馬匹連名簿(第三書式ニ同シ)及徵發令狀(第
 四書式)ヲ調製シコレヲ市役所又ハ町村役場ニ備ヘ置クヘキモノトス

第二十四條 町村長ハ三月盡日迄ニ其町村ノ徵發馬匹連名簿ノ寫一通ヲ郡長ニ差出シ爾
 後異動アル毎ニコレヲ郡長ニ報告ス郡長ハ町村ノ徵發馬匹連名簿ヲ取纏メ一綴トシテ
 役所ニ備ヘ置キ移動ノ報告アル毎ニコレヲ訂正シ置クヘキモノトス

第二十五條 市町村長ハ徵發馬匹連名簿調製後ニ増加セシ馬匹ハ其都度殘馬匹連名簿ニ
 追加シ置キ八月盡日調ヲ以テ町村長ハ郡長ニ報告シ郡市長ハ知事ニ報告スヘキ者トス

第二十六條 市町村長ハ徵發馬匹連名簿ニ登錄シアル馬匹缺クル毎ニ直ニ殘馬匹連名簿
 中成ルヘク優等ノモノヨリ逐次ニ補填シ欠位ヲ生セサラシムルモノトス但シ乘馬缺ク
 ルトキ殘馬匹中補填ニ充ツヘキ乘馬ナキトキハ駕馬ヲ以テシ駕馬ナキトキハ駄馬ヲ以
 テス馬駕又ハ駄馬缺クルトキハ乘馬駕馬駄馬ニ過數アレハ乘駕駄ノ順序ヲ以テ補填シ
 町村長ハ其都度郡長ニ加除訂正ヲ報告スヘキモノトス

第二十七條 市町村長前條ニ據リ補填シ殘馬匹連名簿ニ登錄シアル馬匹全ク盡キ補填ノ
 途ナキニ至レハ町村長ハ直ニ其不足ノ數ト種類トヲ郡長ニ報告シ市長ハ八月盡日調ヲ

以テコレヲ知事ニ報告スルモノトス

第二十八條 郡長前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ第二十六條ノ順序方法ヲ以テ直ニ之レヲ他ノ町村ニ賦課シ尙ホ不足セハ八月盡日調ヲ以ツテ之レヲ知事ニ報告スヘキモノトス
第二十九條 郡市町村長ハ徵發ノ命令ヲ速達セシムル爲メ召集令ノ傳達ト同シク確實迅速ナル方法ヲ準備シ置クヘキモノトス

第四章 馬匹徵發ノ實施

第二十條 検査ニ合格セシ馬匹ハ委員ニ於テ徵發令狀ニ合格ノ印章ヲ押捺シ買上馬匹ハ其ノ價格ヲ定メ借上馬匹ハ買上豫定價格ヲ定メ之ヲ馬匹受領証票(第五書式)ニ記入シ其乙証票ヲ郡市吏員ニ合格ノ証(第六書式)ノ一ヲ馬主ニ交附シテ馬匹ヲ受領シ買上馬匹ニハ右前蹄ニ借上馬匹ニハ左後蹄ニ徵發管區ノ番號ヲ烙印シテ馬頸ニ番號札ヲ結着シ又不合格ノ馬匹ハ徵發馬匹名簿ニ不合格ノ印章ヲ押捺シ馬主ニ不合格ノ証(第六書式)ノ二ヲ交附セラルヘキモノトス

第卅一條 郡市長ハ知事ヨリ馬匹徵發ヲ令セラレタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ通達シ市町村長ハ直ニ徵發令狀ニ所要ノ記入ヲナシ是ヲ馬主ニ配達シ指定ノ時日ニ遲滞ナク差出場所ニ到着セシムヘキモノトス

第卅二條 馬匹徵發ヲ令セラレルハ郡市長ハ徵發馬匹配當表ヲ携ヘタル吏員各一名ヲ差出場所ニ出張セシメ馬匹徵發臨時委員ニ届告シ始終該地ニ在テ徵發事務ヲ整理セシム

ヘキモノトス但シ郡市ノ吏員ハ別ニ徵發馬匹連名簿ヲ携フルモノトス
第卅三條 郡市ノ吏員ハ其郡市ノ輸送費借賃等賠償金ノ單價ヲ定メ是ヲ常應出張員ニ差出スヘキモノトス

第卅四條 郡市ノ吏員ハ馬匹參着スレハ馬匹徵發臨時委員ノ定ムル方法ニ據リ馬主ヲシテ馬匹ノ検査ヲ受ケシメ合格馬匹ノ受領証票(乙)ヲ受領スヘキモノトス

第卅五條 検査終レハ郡市吏員ハ合格馬匹ノ受領証票(乙)及不合格馬匹ノ不合格証票ヲ査閲シ賠償金請求書(第七書式)正副二通ヲ作り之ヲ常應出張員ニ差出シ其仕拂ヲ受ケタルトキハ更ニ受領証書(第八書式)ヲ差出スヘキモノトス

第卅六條 郡市長ニ於テ第九條ニ該當スル馬匹徵發ニ當リ知事ヨリ其差出場所及日時ノ通達ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ告達シ市町村長ハ直ニ豫備馬匹ノ持主ニ徵發令狀ヲ交附シ指定ノ時日ニ遲滞ナク差出場所ニ到着セシムヘキモノトス

第卅七條 豫備馬匹ノ持主差出場所ニ到着セハ直ニ馬匹徵發委員ニ届告シ馬匹ヲ同委員ニ交附シ賠償金ヲ請求スヘキモノトス

第卅八條 郡市長知事ヨリ借上馬匹解雇ノ通達ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ告達シ市町村長ハ直ニ馬主ヲシテ指定ノ期日ニ遲滞ナク解雇場所ニ到着シ馬匹ヲ受領セシムヘキモノトス

第卅九條 郡市長ハ各吏員一名ヲ解雇場所ニ出張セシメ解雇ニ關スル事務ヲ整理セシム

ヘキモノトス

第四十條 賠償金ハ郡市ノ吏員ヨリ馬匹徵發委員ニ請求スヘキモノトス

附表第一

馬匹徵發ノ通達ニ用ユル例文

場	合	例	文
第一次徵發馬匹配當表ノ馬匹ヲ徵發スル時	第一次ノ馬匹ヲ徵發セラル		
第二次徵發馬匹配當表ノ馬匹ヲ徵發スル時	第二次ノ馬匹ヲ徵發セラル		
第一次第二次徵發馬匹配當表ノ馬匹ヲ總テ徵發スル時	第一第二次ノ馬匹ヲ總テ徵發セラル		
一部ノ地方ヲ限リ徵發スル時	何郡何市ノ馬匹ヲ徵發セラル		

第一書式(用紙美濃紙)

明治何年十二月廿日調 何市町村徵發馬匹現在表

何縣

市町村名 馬匹ノ種類	乘馬	駕馬	駄馬	合計
何市	一〇	三六	六〇	一〇六
備考	一 市役所又ハ町村ヨリ差出場所ニ到ル距離何里何丁 二 徵發區界ヨリ差出場所ニ到ル距離何里何丁			

町村ノ表ニハ里程ノ記入ヲ要セス

第二書式(用紙美濃紙)

明治何年十二月廿日調 何郡徵發馬匹現在表

何府

町村名 馬匹ノ種類	乘馬	駕馬	駄馬	合計
--------------	----	----	----	----

何町	五	三五	〇	五〇
何村	一〇	三〇	六〇	一〇〇
合計	一五	四五	六〇	一五〇

備考 一 郡役所ヨリ差出場所ニ到ル距離何里何丁
 二 徴發區界ヨリ差出場所ニ到ル距離何里何丁

第三書式

明治二十九年 何市町村徴發馬匹連名簿

何縣何市役所 又ハ何縣郡町村役場

青毛	毛色	体尺	年	齡	種	類	馬主ノ住所	馬主ノ姓名
	毛	四尺五寸	八	才	駕	馬	字何々何番屋敷	何
								某

備考

第四書式(用紙仙過紙四ツ切)

徴發令狀

何縣何郡市町村大字何何番地

乘馬 何 某

毛色 青毛 年齡八才

体尺 四尺五寸

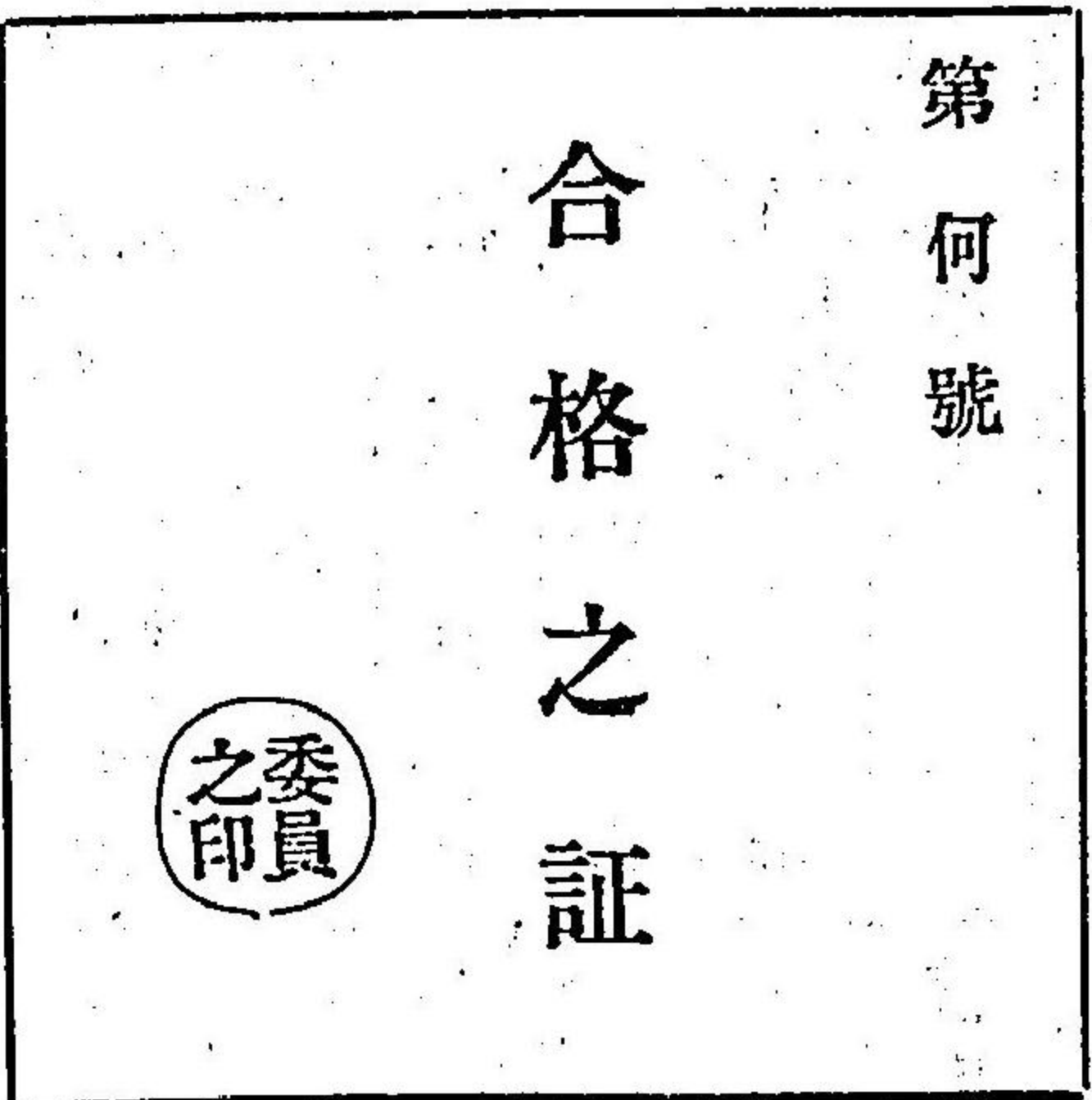
右明治何年何月何日午前八時ヨリ
 午後四時迄ノ間ニ何縣何地徴發馬
 匹津市差出場所ニ至リ馬匹徴發臨
 時委員ニ届出ツヘシ

明治何年 何市役所又ハ何村役場
 何月何日

第六書式

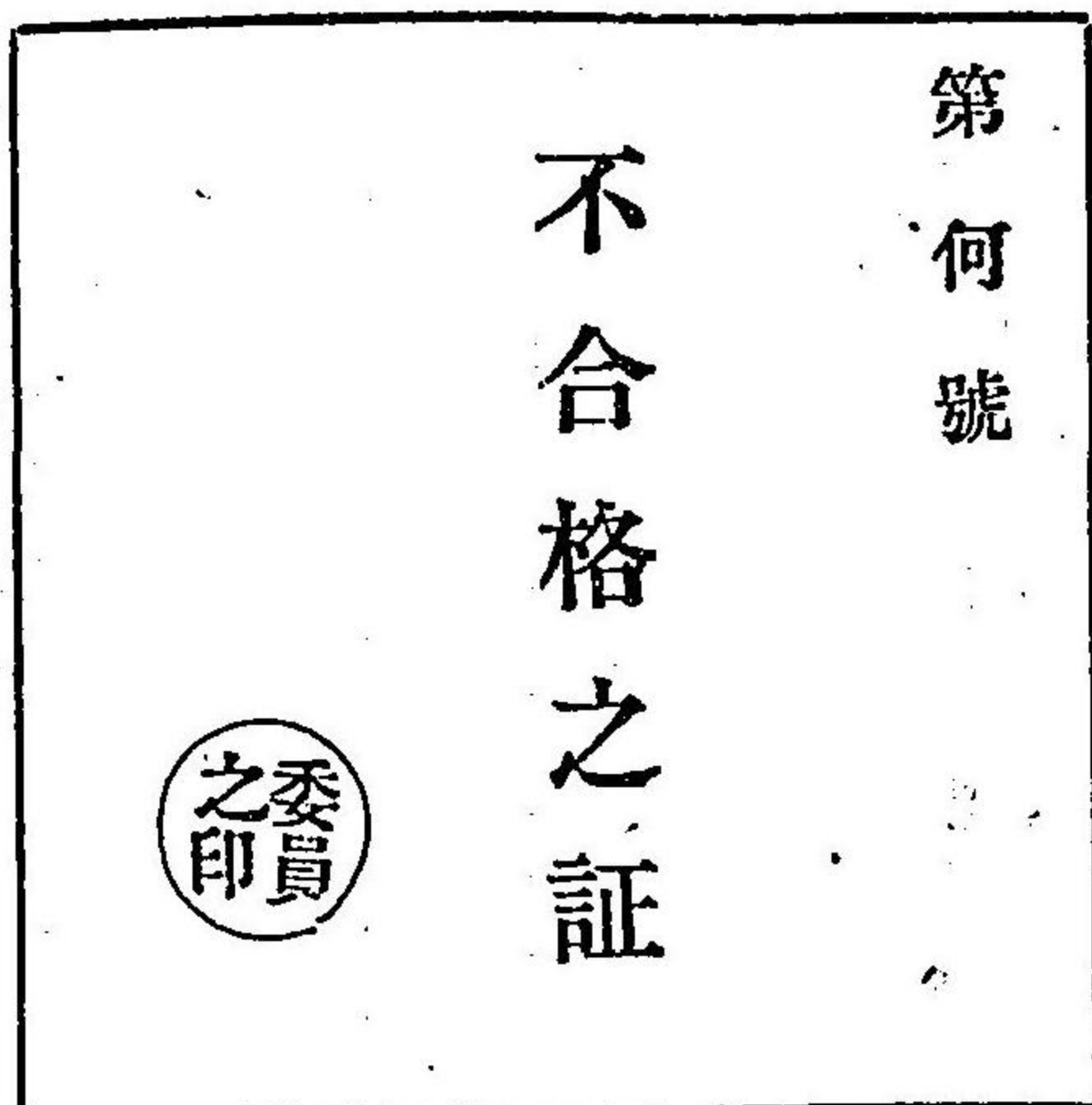
其一

第何號



其二

第何號



第七書式(用紙半紙罫紙)

正副武通ヲ要ス

請求書

何郡(區)第何號

一金

內譯

名	稱	員數	里程	延里程	單價	小計	摘	要
送	不合格馬匹	何頭	何里	何里	金	金	何處ヨリ差出場所何處迄往復	
費	豫備歸郷馬匹	何頭	何里	何里	金	金	右ニ同シ	

右仕拂請求候也

何府何郡長代理

明治何年何月何日

何郡書記 何 某

第四師團馬匹徵發臨時委員首坐何某殿

備考

請求書ノ内譯ハ其費目ニ依リ左ノ如クス

名	稱	員數	延員數	單價	小計	摘	要
馬匹借賃	何頭	何頭	何頭	金	金	何月何日ヨリ何月何日迄日數何日間	要
名	稱	員數	延員數	單價	小計	摘	要
合格馬主歸郷旅費	何人	陸路何哩 汽車路何哩	何哩	金	金	馬匹差出場所何處ヨリ何處迄	要
名	稱	員數	延員數	單價	小計	摘	要
滞在費	馬匹何頭	何頭	何頭	金	金	何月何日ヨリ何月何日迄日數何日間	要
人	何人	何人	何人	金	金	右ニ同シ	

馬匹買上代金ノ請求書ニハ左ノ如クス

一金何圓也

但馬匹買上代金別紙受領証票第何號(自第何號至第何號何葉ノ分)ノ分

馬匹徵發規定附錄

- 第一條 本附錄ハ馬匹徵發規定ニ據リ馬匹ノ徵發ニ當リ之ニ要セラル、獸醫、蹄鐵工、馬夫(馬匹取扱ニ關シタル人夫ヲ云フ)ヲ備入レ若クハ駄馬具ヲ徵發セラル、爲メ之ヲ設クルモノトス
- 第二條 郡市長ハ毎年十二月盡日其部内ニ居住スル獸醫、蹄鐵工、馬夫ノ員數表(附錄第一書式)ヲ調製シ一月二十日迄ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ
- 第三條 郡市長ハ師團ノ所要ニ臨ミ知事ヨリ備役人員并ニ其集合地点ノ通達ヲ受ケタルトキハ直ニ其旨ヲ本人ヘ通達シ少ナクモ一日十二里詰ヲ以テ旅行シ集合地ニ參着シテ
- 第四條 師團馬匹徵發委員ニ届告セシムヘキモノトス
- 第四條 蹄鐵工ハ成ルヘク裝鐵器具ヲ携行セシムヘキモノトス
- 第五條 集合地迄ノ旅費ハ陸路十里毎ニ金壹圓五拾錢ノ割合ヲ以テ支給セラルヘシ蹄鐵工若シ裝鐵器具ヲ手荷物ト爲ス能ハサルトキハ實費ヲ以テ運送費ヲ給セラルヘシ
- 第六條 雇上中獸醫ニハ一日金壹圓五拾錢以內蹄鐵工ニハ一日金壹圓以內馬夫ニハ一日

合 計

備考

○三重縣訓令甲第七十六號 廿九年十二月廿九日

郡市役所 警察署 同分署

質屋取締法令施行規則其他警察上ノ取締規則ニ依リ其營業ヲ許可シ又ハ其廢業等ノ届出ヲ受ケタルトキハ來ル三十年四月一日以後左ノ規程ニ依リ取扱フヘシ

但シ營業人力車及ヒ乗合馬車ニ對シテハ三十年一月一日ヨリ此規程ニ依ルヘシ(三十年令第四十七號ヲ以テ廢止ニ付以下略)

○三重縣訓令甲第七十七號 廿九年十二月廿九日

郡市役所 町村役場

國稅滯納處分法第十一條ニ依リ地方稅若クハ市町村稅滯納處分ノ囑托ヲ受ケ處分ヲナスニ方リ其財產差押以前ニ於テ滯納處分費及ヒ滯納稅金ノ完納ヲ申出ツルトキハ滯納人又ハ第三者ヨリ直チニ囑托應ニ納付セシムヘシ

○三重縣訓令甲第七十八號 廿九年十二月廿九日

郡役所 警察署 同分署 監獄支署
縣立學校 同病院 明野勸農場

明治二十九年(三月)本縣訓令甲第七號地方稅收入支出科目支出ノ部教育費中尋常師範學校費旅費ノ次へ勉勵賞與金ノ小科目ヲ追加ス

○自明治廿九年二月 至全年 十二月 三重縣告示之部

○三重縣告示第壹號 廿九年一月七日

明治二十七年地方稅及地方稅別經濟ニ屬スル收入支出精算左ノ通り

一金拾六萬貳千三百貳拾圓四拾三錢七厘

(△印ハ朱書)

△外 地 租 割

△金三圓拾三錢五厘

不納免除ニテ收入不足高

內 譯

金千六拾八圓拾五錢

市 ノ 分

△外

但本年度地租精算高八千七百六拾五圓三拾三錢九厘
地租壹圓ニ付金拾貳錢貳厘貳毛〇二

△金貳圓九拾九錢貳厘

免除ニテ收入不足高

金拾六萬千貳百五拾貳圓貳拾八錢七厘

町 村 ノ 分

△外

但本年度地租精算高百貳拾萬九百三拾八圓六拾壹錢七厘
地租壹圓ニ付金拾三錢四厘貳毛七二

△金拾四錢三厘

不納ニテ收入不足高

明治二十九年一月 三重縣告示

一金六萬五千八百五拾八圓六拾五錢八厘

△外

△金拾六圓貳拾七錢貳厘

內譯

金五萬七千八百五圓九拾壹錢八厘

金八千五拾貳圓七拾四錢

一金五萬千三百七拾九圓九拾七錢四厘

△外

△金拾八圓八錢

內譯

金千五百七拾六圓六錢四厘

金九圓九拾錢

金三千八百六拾壹圓六錢四厘

金八百貳圓四拾三錢

金貳百四拾八圓九拾五錢

金千四百五圓拾九錢

金五拾四圓貳拾貳錢五厘

營業稅

不納滯納ニテ收入不足高

商業稅

工業稅

不納滯納ニテ收入不足高

料理屋稅

芝居茶屋稅

飲食店稅

湯屋稅

雇人受宿稅

理髮人稅

遊藝師匠稅

金三百拾壹圓三拾五錢

金四圓貳拾錢

金六拾四圓六拾錢

金壹萬三千三百五拾三圓三拾五錢

金千三百四拾九圓七拾八錢

金五百六拾壹圓四拾五錢五厘

金三百五拾壹圓八拾五錢六厘

金七拾貳圓五拾四錢壹厘

金百四拾壹圓五拾八錢

金六拾圓貳拾錢

金千九百六拾貳圓貳拾七錢貳厘

金壹萬九千四百貳拾圓貳拾錢五厘

金貳千貳百五拾四圓四拾錢貳厘

金百貳拾七圓七拾錢

金千百拾貳圓三拾錢

金貳千百三圓八拾六錢

金壹圓貳拾錢

遊藝稼人稅

相撲稅

俳優稅

藝妓稅

市場稅

演劇場稅

興行稅

遊覽場所稅

遊技場稅

人寄席稅

船稅

水車稅

乘馬車稅

屠畜稅

漁業稅

採藥稅

金百貳拾圓八拾五錢
金四拾八圓四拾五錢

自轉車稅
筏乘稅

一金七萬千八百五圓五拾九錢

戶數制

△外
△金九圓六拾九錢五厘

不納滯納ニテ收入不足高

內譯

金貳千五拾四圓貳錢四厘

但現在賦課戶數五千六百五戸
戸數一戸ニ付金三拾六錢七厘

分

外 金三拾貳錢四厘 掛過

△外
△金貳圓六拾八錢七厘

不納ニテ收入不足高

金六萬九千七百五拾壹圓五拾六錢六厘

但現在賦課戶數十六萬七千二百八十七戸
戸數一戸ニ付金四拾壹錢七厘

外 金拾錢五厘 掛過

△金七圓八厘
一金八萬七千三百五拾七圓六拾壹錢

雜收 入
不納滯納ニテ收入不足高

內譯

金千貳百六拾七圓八拾六錢貳厘

金貳圓三拾錢四厘

金千五百五拾圓六拾九錢九厘

金四圓貳拾五錢三厘

金百貳拾貳圓六拾六錢九厘

金四千三百七拾七圓貳拾四錢八厘

金五拾六圓三拾貳錢七厘

金百三拾九圓貳拾錢壹厘

金壹圓三拾三錢四厘

金百八拾壹圓拾壹錢貳厘

金三百七拾壹圓拾八錢八厘

金壹萬七千三百三拾貳圓六拾八錢

金貳拾九圓六拾八錢八厘

金四圓貳拾五錢壹厘

金壹錢三厘

金七圓八拾九錢

金九拾七圓四拾四錢壹厘

警察費雜入

警察廳舍建築修繕費雜入

土木費雜入

縣會議諸費雜入

衛生及病院費雜入

教育費雜入

郡廳舍建築修繕費雜入

郡吏員給料旅費

及廳中諸費雜入

諸達書及揭示諸費雜入

勸業費雜入

縣廳舍建築修繕費雜入

縣監獄建築修繕費雜入

地租割延納

雜種稅延納

戶數割延納

不用地所物品拂下代

金六萬貳千貳百拾壹圓四拾錢五厘
一金貳拾七圓四拾八錢七厘

貸座敷娼妓賦金
前々年度繰越金

內
金拾四圓三拾錢四厘

監獄費中慈惠費
ニ充ツヘキ分

金拾二圓拾八錢三厘

勸業費ニ對スル寄附金
前年度繰越金

一金千四百拾貳圓九拾五錢九錢

國庫下渡金

一金壹萬五千八百四拾壹圓七拾七錢四厘
一金三拾貳圓貳拾錢

集治監ニ入ルヘキ囚徒費
寄附金

一金七百四圓拾錢

通計金四拾五萬六千七百四拾圓七拾八錢九厘

(△印ハ朱書)
警察費

一金九萬四千貳百七圓八拾九錢八厘

△內

△金七萬八千貳百六拾四圓貳拾貳錢六厘
△金壹萬五千六百五拾貳圓八拾四錢五厘

地方稅
國庫下渡金
請願巡查費

△金貳百九拾圓八拾貳錢七厘

內譯

金五萬九千八百四拾四圓六拾錢

金貳萬七百七拾六圓三拾九錢五厘

金壹萬千八百八拾六圓九拾錢三厘

金千七百圓

一金千四百貳拾壹圓五拾五錢六厘

△內

△金九百三拾四圓六拾三錢

△金百八拾六圓九拾貳錢六厘

△金三百圓

內譯

金五百九拾九圓拾六錢貳厘

金八百貳拾貳圓三拾九錢四厘

一金九萬貳千貳拾三圓六拾七錢

△內

△金九萬千九百拾九圓五拾七錢

△金百四圓拾錢

內譯

俸給

雜給

廳費

警察機密費

警察廳舎建築修繕費

地方稅

國庫下渡金

寄附金

建築費

修繕費

土木費

地方稅

寄附金

金三萬六千九百四拾八圓九拾八錢壹厘
 金四萬七千貳百拾六圓七拾七錢九厘
 金七千八百五拾七圓九拾壹錢
 一金五萬四千五百拾七圓七拾七錢
 一金六千四百拾六圓四拾七錢三厘

內譯

金千七百九拾圓
 金四千三百三拾圓三拾三錢三厘
 金貳百九拾六圓拾四錢
 一金壹萬五千六百五拾八圓八拾壹錢四厘

內譯

金八百九拾八圓三拾七錢三厘
 金壹萬貳千六百八拾圓七錢九厘
 金三百貳拾五圓貳拾六錢四厘
 金千七百五拾五圓九錢八厘
 一金貳萬九千六百八拾貳圓貳拾錢八厘

內譯

道路橋梁費
 治水堤防費
 雜費
 市町村土木補助費
 縣會議諸費

給給

衛生及病院費
 衛生費
 徵毒病院費
 傳染病豫防費
 檢徵費

尋常師範學校費
 尋常中學校費
 學事諸費
 小學校教員檢定并
 教科用圖書審查費
 郡廳舍建築修繕費

地方稅
 寄附金

建築費
 修繕費
 郡吏員給料旅費及廳中諸費

俸給
 雜給
 廳費
 救育費

金壹萬七千六百拾貳圓九拾九錢壹厘
 金壹萬千七百四拾貳圓拾四錢六厘
 金九拾四圓五拾錢九厘
 金貳百三拾貳圓五拾六錢貳厘
 一金五千五拾三圓三拾壹錢三厘
 △內
 △金四千七百五拾三圓三拾壹錢三厘
 △金三百圓
 內譯
 金四千七百九拾五圓三拾貳錢貳厘
 金貳百五拾七圓九拾九錢壹厘
 一金四萬三百三拾五圓五拾壹錢五厘
 內譯
 金貳萬三千三百貳拾六圓四錢七厘
 金七千九百三拾圓七錢壹厘
 金九千七拾九圓三拾九錢七厘
 一金三百四拾壹圓六拾貳錢九厘

一金四百九拾壹圓五拾八錢四厘

內譯

金四百七圓拾九錢

金八拾四圓三拾九錢四厘

一金七千百貳拾壹圓貳拾五錢三厘

△內

△金七千八百八圓七錢

△金拾三圓拾八錢三厘

一金九千四拾壹圓六拾五錢六厘

一金八百拾四圓六拾錢

一金六萬九千六百九拾四圓四拾三錢

△內

△金六萬九千六百六拾四圓三拾六錢六厘

△金三拾圓六錢四厘

內譯

金壹萬六千八百八拾六圓貳拾四錢九厘

諸達書及揭示諸費

諸達書費

揭示諸費

勸業費

地方稅

前々年度ヨリ繰越寄附金

地方稅取扱費

縣廳舍建築修繕費

但修繕費

縣監獄費

地方稅

集治監ニ入ルヘキ囚徒費

俸給

金壹萬五千五百八拾圓拾貳錢七厘

金貳千九百九拾九圓七錢

金三萬八千貳百貳拾八圓九拾八錢四厘

一金四千九百五拾貳圓貳拾三錢四厘

△內

△金四千九百五拾圓九錢八厘

△金貳圓拾三錢六厘

內譯

金三千六百八圓拾九錢

金千三百四拾四圓四錢四厘

一金九拾四圓八拾九錢六厘

一金貳拾三圓貳拾壹錢四厘

一金五千五百圓

一金貳拾壹圓拾三錢四厘

△內

△金拾九圓拾三錢壹厘

△金貳圓三厘

雜給

應費

在監人諸費

縣監獄建築修繕費

地方稅

集治監ニ入ルヘキ囚徒費

建築費

修繕費

衆議院議員選舉費

市稅負擔

土木費借入金償却費

雜出

地方稅

國庫下渡金

明治二十九年一月 三重縣告示

二五六

前年度警察費追拂

地 方 出 税

國庫下渡金

全衛生及病院費追拂

全郡吏員給料旅費

及廳中諸費追拂

全縣監獄費追拂

過年度過誤納下戻

通計金四拾三萬七千四百拾三圓八拾四錢七厘

明治廿七年度小學校教員恩給金收支精算

收入ノ部

一金六百三拾圓五拾四錢九厘

內

金百六拾八圓貳拾五錢七厘

金四百六拾貳圓貳拾九錢貳厘

支出ノ部

小學校教員恩給金收入

小學校教員恩給基金利子

小學校教員恩給國庫給與金

明治二十九年一月 三重縣告示

二五七

小學校教員恩給金

退職給與金

扶助金

小學校教員恩給基金

小學校教員恩給基金

市町村納金

明治廿七年度地方稅別經濟ニ屬スル各資金精算

一金貳百七拾七圓四拾八錢

內

金百七拾貳圓

金百五圓四拾八錢

明治廿七年度小學校教員恩給基金收入精算

一金貳千九拾八圓五拾貳錢六厘

內 譯

金千四拾九圓貳拾六錢三厘

金千四拾九圓貳拾六錢三厘

種別	摘要	明治廿六年度末現在高	受	高拂	高	明治廿七年度末現在高
衛生	整理公債証書	三、八五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	〇	〇	三、九〇〇、〇〇〇
生	海軍公債証書	一、〇〇〇、〇〇〇	〇	〇	〇	一、〇〇〇、〇〇〇
資	小計	四、八五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	〇	〇	四、九〇〇、〇〇〇
	現金	三、六四九	二〇三、三九〇	二、九三五〇	二、九三五〇	一、二〇八、一九

セシ旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第七號 廿九年一月十四日

今般左記之者へ頭書之通小學校教員免許狀ヲ授與セリ

尋常小學校本科准教員

大坪吉三郎

○三重縣告示第八號 廿九年一月十四日

奈良縣ニ於テハ長崎佐賀愛媛香川四縣ニ於テ牛疫發生蔓延ノ兆アルニ依リ豫防ノ爲以上四縣ハ勿論其地方ヲ通過シタル牛羊豚ヲ縣下ニ輸入スルコトヲ停止スルノ縣令ヲ發布シ違フモノハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處シ廿八年十二月廿八日ヨリ施行セシ旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第九號 廿九年一月十四日

本縣尋常師範學校本科第二種生徒十五名募集候條志願ノ者ハ來二月二十五日限リ願書ヲ同校へ差出シ二月二日午前第八時試驗用具攜帶同校へ出頭スヘシ

○三重縣告示第十號 廿九年一月十四日

東京府下東京市芝區ニ於テ畜牛三頭牛疫ニ罹リタル旨警視廳ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第十一號 廿九年一月十四日

官國幣社神職尋常及社司社掌試驗規則施行細則左ノ通り相定ム

官國幣社神職尋常試驗施行細則

第一條 官國幣社神職試驗規則ニ依リ本縣ニ於テ行フ尋常試驗ハ毎年二回トシ其期日及場所等ハ三十日以前ニ官報及本縣公報ヲ以テ之ヲ公告ス

第二條 官國幣社神職尋常試驗ニ於テハ委員長ノ許可ヲ受ケタル者ニアラサレハ入場スルヲ許サス

第三條 官國幣社神職尋常試驗委員長ハ受験人名簿ヲ調製シ各受験人ノ番號ヲ定メ之ヲ名簿ニ記入シテ其番號ヲ受験人ニ通知スルモノトス

第四條 官國幣社神職尋常試驗ハ試驗委員二名以上立會其面前ニ於テ之ヲ行フ

第五條 受験人多クシテ同日ニ試験ヲ行フ能ハサルトキハ別ニ問題ヲ撰ミ試験期日ヲ異ニスルモノトス

第六條 試驗室ハ午前八時五拾分ニ開キ受験人ニ入ラシメ同九時ニ至リ之ヲ閉鎖シ試験中切ニ出入スルヲ許サス

第七條 官國幣社神職尋常試驗問題ハ試驗委員ニ於テ之ヲ撰ミ豫メ知事ヲ經テ內務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 官國幣社神職尋常試驗每科ノ時間ハ左ノ如シ

口 述 三十分間ツ、

筆 答 作文ハ四時間其他ハ二時間ツ、

第九條 官國幣社神職尋常試驗ハ言語動作瀟宜主典ニ適任ナリヤ且問題ニ答フルハ確實

敏捷ナリヤ否ヲ考察スヘシ

第十條 官國幣社神職尋常試験委員ハ其試験ヲ終リタル日ヨリ七日以内ニ其成績及第九條ノ考察書ヲ委員長ニ提供シ委員長ハ之ヲ知事ニ報告スルモノトス

第十一條 試験ノ効果合格ノモノハ三日以内別紙一號様式ニ依リ合格証書ヲ交付シ其旨本縣公報ヲ以テ公告スルモノトス

第十二條 官國幣社神職尋常試験ハ各科目ノ點數一百ヲ以テ滿點トシ各科目ノ點數ヲ通計シ得ル所ノ和ヲ科目ノ數ヲ以テ除シ其得タルモノヲ平均點數トシ其平均點數五十點以上ヲ合格トス但各科目ノ中一科五十點ニ達セサルモノアルトキハ尙落第トス

第十三條 官國幣社神職尋常試験願書ハ別紙二號様式ニ依リ試験期日十日前マテニ知事ヘ差出スヘシ

第十四條 官國幣社神職尋常試験願書ニハ別紙三號様式ニ依リ履歷書ヲ添付スルモノトス

第十五條 受験人試験執行ノ日時ニ出席セサルトキハ自ラ常期ノ試験ヲ受クル權利ヲ放棄シタルモノトシ其願書ハ無効トス

第十六條 受験人試験手續ニ關スル規則及官國幣社神職尋常試験委員ノ命令ヲ守ラサルトキハ當該委員ニ於テ試験場ヲ退出セシメ直ニ其旨ヲ官國幣社神職尋常試験委員長ニ報告シ其試験ヲ拒絕スルコトヲ得

第十七條 受験人ハ試験時間中漫リニ退場シタルトキハ當期ノ試験ヲ受クル權利ヲ放棄シタルモノトシ其願書ハ無効トス

第十八條 受験人ハ試験場ニ在テハ靜肅ヲ旨トシ舉措進退一ニ官國幣社神職尋常試験委員ノ指揮ニ遵フヘシ

第十九條 受験人ハ試験問題ニ就キ試験委員ニ質問スルコトヲ得ス

第二十條 受験人ハ試験定刻二十分前マテニ試験場ニ參集シ其旨試験委員ニ届出ヘシ

第二十一條 受験日ノ答辨書ハ其主意ヲ明瞭ニ記載シ文字ハ楷書若クハ行書ニア記入スヘシ

第二十二條

第何號

氏 名

官國幣社神職尋常試験ニ合格
セシコトヲ證ス

年號月日

三重縣印

二號樣式

試驗願書

族籍住所身分職業
(戶主ニ非ラサル者ハ)
戶主氏名幾男又ハ兄弟等

名
年月日生

私儀官國幣社神職志願ニ付官國幣社神職尋常試驗相受度別紙履歷書御點檢ノ上御試驗被
成下度此段奉願候也

年號月日

知事宛

名印
氏

三號樣式

履歷書式

(用紙美濃紙)

何府縣華士族平民

姓

名

年號年月日生

本籍

一何府縣何國何郡區何町村何番地戶主又ハ何某男弟伯叔父等
(現ニ本籍地ニ居住スルトキハ(現今本地ニ居住)ノ
數字ヲ本項ニ加記シ次項ノ現今寄留地ヲ省クヘシ)
現今寄留地

一何府縣何國何郡區何町村何番地(何某方)寄留
住所ノ異動

一何年何月何地ニ生レ何年何月マテ居住

一何年何月何地ニ移轉シ何年何月マテ同所ニ居住

(右ハ、ハ、ノ居住ヲ移轉
スル毎ニ之ヲ記載スヘシ)

學事

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ何年何月ニ至ル所
修ノ書籍大畧何々

一何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入り學科ヲ修業シ何年何月卒業ス其證書ノ寫別紙
ノ如シ修業何年何月間ニシテ其科目ハ何々

一何年何月何地何學校若クハ其他ニ於テ何々ノ試験ヲ受ク及第ス其証書若クハ免許狀ノ寫別紙ノ如シ受驗ノ科目ハ何々

職業

一何年何月何地何々神職トナリ何々神社ニ奉仕シ何年何月辭職其間何々ノ職ヲ兼勤シ何々ノ事務ニ從事ス以上ノ辭令左ノ如シ

(此所ニ辭令ノ全文ヲ各通トモ掲クヘシ又辭令ナキモノハ其事由ヲ本文ニ記スヘシ)

一何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何年何月マテ何々ノ事務ニ從事シ何年何月辭職以上ノ辭令左ノ如シ

(辭令ノ全文ヲ掲クヘシ)

一何年何月ヨリ何地何會社ニ雇ハル(給料何圓)何々ノ業務ニ從事シ何年何月ニ至テ解雇其間俸給ノ増減

一何年何月ヨリ何年何月マテ何業ニ從事ス

一何年何月ヨリ何々ノ著譯ニ從事シ何年何月ニ至ル其著譯スル所ノ書名左ノ如シ

(著譯書名ヲ掲クヘシ)

賞罰

一何年何月何地ニ於テ何々事由ノ爲メ賞ヲ受ク其辭令左ノ如シ

(辭令全文ヲ掲ク辭令ナキモノハ本文中ニ受賞ノ事由ヲ記スヘシ)

一何年何月何地ニ於テ何々事由ノ爲メ罰ヲ受ク

(辭令又ハ宣告書等アルモノハ各其全文ヲ掲ク之レナキモノハ本文中ニ其事由ヲ記スヘシ)

一重罪輕罪ヲ犯シタルコトナシ

一破産若クハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ又ハ身代限ノ處分ヲ受ケタルコトナシ(若シ之ヲ受ケタルモ既ニ復權シ又ハ既ニ債務ノ辨償ヲ了ヘタルモノハ其宣告書又ハ申渡書ノ寫ヲ添付シ併テ復權又ハ債務ノ辨償ヲ了ヘタル年月事由ヲ記スヘシ)

右

年 月 日

姓

名 印

(履歷書ハ稽書又ハ行書ニテ明瞭ニ記スヘシ)

社司社掌試験規則施行細則

第一條 社司社掌試験規則ニ依リ本縣ニ於テ行フ社司社掌ノ試験ハ毎年二回トシ其期日及場所等ハ三十日以前之ヲ定メ其旨公報ヲ以テ之ヲ公告ス

第二條 社司社掌試験委員長ノ許可ヲ受ケタル者ニアラサレハ試験場ニ入ルヲ許サス

第三條 社司社掌試験委員長ハ受驗人名簿ヲ調製シ各受驗人ノ番號ヲ定メテ之ヲ記入シ其番號ヲ受驗人ニ通知スルモノトス

第四條 社司社掌ノ試験ハ社司社掌試験委員二名以上立會其面前ニ於テ之ヲ行フ

第五條 受驗人多クシテ同日ニ試験ヲ行フ能ハサルトキハ別ニ問題ヲ撰ミ試験期日ヲ異

ニスルモノトス

第六條 試験室ハ午前八時五十分ニ開キ受験人ヲ入ラシメ同九時ニ至リ之ヲ閉鎖シ試験中切ニ出入許サス

第七條 社司社掌ノ試験問題ハ社司社掌試験委員ニ於テ之ヲ定メ試験執行五日前社司社掌試験委員長ニ提出シ社司社掌試験委員長ハ知事ノ認可ヲ經テ試験當日之ヲ社司社掌試験委員ニ交付スルモノトス

第八條 社司社掌毎科ノ試験時間ハ左ノ如シ

口 述 三十分間ツ

筆 答 作文ハ四時間其他ハ二時間ツ

第九條 社司社掌ノ試験ハ兼テ受験人ノ言語動作社司社掌ニ適任ナリヤ且ツ其問題ニ答フルハ確實敏捷ナリヤ否ヲモ考察スヘシ

第十條 社司社掌試験委員ハ試験ヲ終リタル日ヨリ七日以内ニ試験ノ成績並ニ第九條ノ考案書ヲ社司社掌試験委員長ニ提供シ社司社掌試験委員長ハ之ヲ知事ニ報告スルモノトス

第十一條 試験ノ効果合格ノモノハ三日以内ニ別紙一號様式ニ依リ合格證書ヲ交付シ其旨公報ヲ以テ公告スルモノトス

第十二條 社司社掌ノ試験ハ各科目ノ點數一百ヲ以テ滿點トシ各科目ノ點數ヲ通計シ得ル所ノ和ヲ科目ノ數ヲ以テ除シ其得タルモノヲ平均點數トシ其平均點數五十點以上ヲ合格トス但各科目ノ一科五十點ニ達セサルモノアルトキハ尙落第トス

第十三條 社司社掌試験願書ハ別紙二號様式ニ依リ試験期日十日前マテニ知事ヘ差出ス

第十四條 社司社掌試験願書ニハ別紙三號様式ニ依リ履歷書ヲ添付スルモノトス

第十五條 受験人試験執行ノ日時ニ出席セサルトキハ自ラ當期ノ試験ヲ受クル權利ヲ放棄シタルモノトシ其願書ハ無効トス

第十六條 受験人試験手續ニ關スル規則及社司社掌試験委員ノ命令ヲ守ラサルトキハ當該委員ニ於テ試験場ヲ退出セシメ直ニ其旨ヲ社司社掌試験委員長ニ報告シ其試験ヲ拒絶スルコトヲ得

第十七條 受験人ハ試験時間中漫リニ試験室ヲ退場シタルトキハ當期ノ試験ヲ受クル權利ヲ放棄シタルモノトシ其願書ハ無効トス

第十八條 受験人ハ試験場ニアリテハ靜肅ヲ旨トシ舉措進退一ニ社司社掌試験委員ノ指揮ニ遵フヘシ

第十九條 受験人ハ試験問題ニ就キ試験委員ニ質問スルコトヲ得ス

第二十條 受験人ハ試験定刻三十分前マテニ試験場ニ參集シ其旨試験委員ニ届出ヘシ

第二十一條 受験者ノ答辨書ハ其主意ヲ明瞭ニ記載シ文字ハ楷書若クハ行書ニテ記スヘシ

第二十二條 受験人ハ答辨書ニ豫定ノ番號ヲ記シ其姓名ヲ掲クルコトヲ得ス
第二十三條 受験人ハ書類携帶シテ室内ニ入ルコトヲ得ス

一號様式

第何號
氏名
社司(社掌)試験ニ合格セ シコトヲ證ス
年號月日
三重縣印

二號様式

試験願書

族籍住所身分職業
(戸主ニ非ラサル者ハ)
戸主氏名幾男又ハ兄弟等

私儀神社々司(社掌)志願ニ付試験相受度別紙履歷書御點檢ノ上社司(社掌)ノ科目ヲ以テ
御試験被成下度此段奉願候也

年月日

氏名印

知事宛

三號様式

履歷書式

(用紙美濃紙)

何府縣華士族平民

姓名 年月日生

本籍

一何府縣何國何郡區何町村何番地戸主又ハ何某男弟伯叔父等
(現ニ本籍地ニ居住スルトキハ(現今本地ニ居住)ノ
數字ヲ本項ニ加記シ次項ノ現今寄留地ヲ省クヘシ)
現今寄留地

一何府縣何國何郡區何町村何番地(何某方)寄留

住所ノ移動

一何年何月何地ニ生レ何年何月マテ居住
一何年何月何地ニ移轉シ何年何月マテ同所ニ居住
(右、、、、、、ノ居住ヲ移轉スル毎ニ之ヲ記載スヘシ)

學事

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ何年何月ニ至ル所
修ノ書籍大略何々
一何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入り何學科ヲ修業シ何年何月卒業ス其證書ノ寫別
紙ノ如シ修業何年何月間ニシテ其科目ハ何々
一何年何月何地何學校若クハ其他ニ於テ何々ノ試験ヲ受ケ及第ス其證書若クハ免許狀ノ
寫別紙ノ如シ受験ノ科目ハ何々

職業

一何年何月何地何々神職トナリ何々神社ニ奉仕シ何年何月辭職其間何々ノ職ヲ兼勤シ何
々ノ事務ニ従事ス以上ノ辭令左ノ如シ
(此所ニ辭令ノ全文ヲ各通トモ掲クヘシ又
辭令ナキモノハ其事由ヲ本文ニ記スヘシ)
一何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何年何月マテ何々ノ事務ニ従事シ何年何月辭職以上ノ
辭令左ノ如シ

(辭令ノ全文ヲ掲クヘシ)

一何年何月ヨリ何地何會社ニ雇ハレ(給料何圓)何々ノ業務ニ従事シ何年何月ニ至テ解雇
其間俸給ノ増減
一何年何月ヨリ何年何月マテ何業ニ従事ス
一何年何月ヨリ何々ノ著譯ニ従事シ何年何月ニ至ル其著譯スル所ノ書名左ノ如シ
(著譯書名ヲ掲クヘシ)

賞罰

一何年何月何地ニ於テ何々事由ノ爲メ賞ヲ受ク其辭令左ノ如シ
(辭令全文ヲ掲ケ辭令ナキモノハ
本文中ニ受賞ノ事由ヲ記スヘシ)
一何年何月何地ニ於テ何々事由ノ爲メ罰ヲ受ク
(辭令又ハ宣告書等アルモノハ各其全文ヲ掲ケ
之レナキモノハ本文中ニ其事由ヲ記スヘシ)

一重罪輕罪ヲ犯シタルコトナシ
一破産若クハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ又ハ身代限ノ處分ヲ受ケタルコトナシ
(若シ之ヲ受ケタルモ既ニ復權シ又ハ既ニ債務ノ辨償ヲ了ヘタルモノハ其宣告書又ハ申
渡書ノ寫ヲ添付シ併テ復權又ハ債務ノ辨償ヲ了ヘタル年月事由ヲ記スヘシ)

年 月 日

右

名 印

(履歷書ハ楷書又ハ行書ニテ明瞭ニ記スヘシ)

- 三重縣告示第十二號 廿九年一月十七日
警視廳ニ於テハ本年同廳令第一號ニ列記スル牛疫發生以外ノ地方ヨリ輸入スル生牛羊豚ト雖モ荏原郡大井村立會川筋以南ノ地ヲ除クノ外之ヲ牽入ル、コトヲ得ズ但瀝車積込ノ儘通過シ又ハ荒川筋江戸川筋ノ舟行ヲ取リ若クハ品川停車場ヨリ立會川筋以南ヘ直行スルモノハ此限ニアラス犯スモノハ貳圓以上十圓以下ノ罰金ニ處スルノ廳令ヲ發布シ二十年一月九日ヨリ施行ノ旨同廳ヨリ通知越セリ
- 三重縣告示第十三號 廿九年一月十七日
和歌山縣ニ於テ左記ノ通リ獸類傳染病ニ罹リタル旨同縣ヨリ通知越セリ(左書略)
- 三重縣告示第十四號 廿九年一月十七日
靜岡縣ニ於テ左記ノ通リ獸類傳染病ニ罹リタル旨同縣ヨリ通知越セリ(左書略)
- 三重縣告示第十五號 廿九年一月廿一日
本年三月三十一日限リ退任スヘキ縣會議員左記ノ通リニ付右改選ノ爲メ三月五日該郡ニ於テ選舉會ヲ開設ス其開會ハ午前第八時投票函閉鎖ハ午後第三時トス
但一志郡家城村度會郡五ヶ所村北牟婁郡長島村南牟婁郡鶴殿村選舉分會場ノ投票期日ハ同月四日度會郡瀧原村鶴倉村選舉分會場ノ投票期日ハ同月三日トス(期限經過ニ付人名略)
- 三重縣告示第十六號 廿九年一月廿一日
長崎縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ發布セシ昨年十一月同縣々令第四十三號ハ之ヲ廢止シ又全年十一月第四十四號ヨリ以テ第四十一號ニ追加セシ村松村西海郷ニ停止シ之ヲ解除セシ旨同縣ヨリ通知越セリ

- 三重縣告示第十七號 廿九年一月廿一日
和歌山外三縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ左ノ通縣令發布ノ旨通知越セリ(左書略)
- 三重縣告示第十八號 廿九年一月廿八日
和歌山縣伊都郡妙寺村大字中飯降ニ於テ牛疫發生ニ付本月十五日縣令第八號ヲ以テ第六號豫防區域中左記ノ箇所追加ノ旨同縣ヨリ通知越セリ
同郡妙寺村大字中飯降(字高岸ヲ除ク)
- 三重縣告示第十九號 廿九年一月廿八日
栃木縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令ヲ發布セシ旨同縣ヨリ通知越セリ(栃木縣令略)
- 三重縣告示第二十號 廿九年一月三十一日
和歌山縣外二縣ニ於テ牛疫ニ關シ左記ノ縣令發布ノ旨通知越セリ(縣令略)
- 三重縣告示第二十一號 廿九年二月三日
今般廿八年徵募ノ海軍志願兵不足ニ付補足トシテ更ニ信號兵二十二名鐵治四名徵募相成候條右志願ノ者ハ來ル十日限リ郡市役所ヘ願書差出スベシ郡市役所ニ於テハ例規ニ依リ海軍志願兵一覽表ヲ製シ同十三日限リ縣廳ヘ報告スヘシ

- 三重縣告示第二十二號 廿九年二月四日 和歌山枋木兩縣ニ於テ左記之通獸類傳染病ニ罹リタル旨同縣ヨリ通知越セリ(左記略)
- 三重縣告示第二十三號 廿九年二月四日 千葉縣外一府三縣ニ於テ牛疫豫防ニ關シ左ノ通發令ノ旨通知越セリ(縣令略)
- 三重縣告示第二十四號 廿九年二月七日 小學校本科准教員乙種檢定試驗ノ期日並場所等左記ノ通り相定ム試驗ヲ受ケントスルモノハ明治二十五年(三月)本縣令第三十四號小學校教員檢定等ニ關スル細則ニ依リ速ニ願書差出スヘシ
- 但尋常小學校本科准教員受験志願者ニシテ指定區域外ノ試験場ニテ受験ヲ望ムモノハ其旨願書ニ記載スヘシ
- 本試驗ニハ小學校本科准教員ノ試験科目中音樂ヲ缺キ尋常小學校本科准教員ノ試験科目中圖畫、音樂、体操ヲ缺ク(試驗期日經過ニ付場所及試験期日略)
- 三重縣告示第二十五號 廿九年二月七日 和歌山縣ニ於テ左記ノ通獸類傳染病ニ罹リタル旨同縣ヨリ通知越セリ(左記略)
- 三重縣告示第二十六號 廿九年二月七日 福井縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令發布ノ旨同縣ヨリ通知越セリ(縣令略)
- 三重縣告示第二十七號 廿九年二月七日 滋賀縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令及告示發布ノ旨同縣ヨリ通知越セリ(縣令略)

- 三重縣告示第二十八號 廿九年二月七日 日本美術協會ニ於テ來ル四月一日ヨリ春季美術展覽會ヲ開設スヘキニ付實業者及ヒ有志者ハ精精出品スヘシ同會ノ規則ハ左ノ如シ(期限經過ニ付左記略之)
 - 三重縣告示第二十九號 廿九年二月七日 第三師管内ニ屬スル明治二十九年士官候補生及幼年學校生徒志願者ハ本年陸軍省告示第一號ニ據リ其願書類各二通(身上明細表ハ曾通)宛本月末日限リ當廳ヘ差出スヘシ
 - 三重縣告示第二十號 廿九年二月十二日 第三師管内ニ屬スル明治廿九年士官候補生及幼年學校生徒志願者ハ本年陸軍省告示第一號ニ依リ其願書類各二通ツ、來ル三月十日限リ當廳ヘ差出スヘシ
 - 三重縣告示第三十一號 廿九年二月十四日 今般關西鐵道株式會社ニ於テ鐵道支線布設ノ工事計畫準備ノ爲メ左記ノ市町村ヘ立入り起業スヘキ土地ノ檢査又ハ測量ノ義ヲ出願シ之ヲ認可シタリ
- 三重郡 河原田村
 河曲郡 一ノ宮村 河曲村 玉垣村 飯野村
 奄藝郡 白子町 稻生村 榮村 上野村 豐津村 白塚村 栗真村 一身田村 黒田村

津市

- 三重縣告示第三十三號 廿九年二月十四日
愛知縣外三縣ニ於テ牛疫豫防ニ關シ左記ノ通縣令發布ノ旨通知越セリ(縣令略)
- 三重縣告示第三十三號 廿九年二月廿一日
左ノ通リ豫戒命令ヲ執行シタル旨通知アリタリ(人名略)
- 三重縣告示第三十四號 廿九年二月廿一日
和歌山縣ニ於テ左記ノ通獸類傳染病ニ罹リタル旨全縣ヨリ通知越セリ(左書略)
- 三重縣告示第三十五號 廿九年二月廿一日
石川縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令發布ノ旨全縣ヨリ通知越セリ(縣令略)
- 三重縣告示第三十六號 廿九年二月廿一日
和歌山縣外二縣ニ於テ牛疫豫防ニ關シ左記ノ通縣令發布ノ旨通知越セリ(縣令略)
- 三重縣告示第三十七號 廿九年二月廿一日
福井縣ニ於テ牛疫豫防ニ關シ左記ノ縣令發布ノ旨通知越セリ(縣令略)
- 三重縣告示第三十八號 廿九年二月廿一日
富山縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲左記ノ縣令發布ノ旨全縣ヨリ通知越セリ(縣令略)
- 三重縣告示第二十九號 廿九年二月廿一日
志那郡長石井義忱ニ第一區衆議院議員選舉長ヲ命ス

- 三重縣告示第四十號 廿九年二月廿一日
德島縣ニ於テ彙ニ發布セシ全縣々令第六拾三號中愛媛縣ノ三字削除ノ旨全縣ヨリ通知越セリ
 - 三重縣告示第四十一號 廿九年二月廿二日
第三憲兵隊二重首部及津宇治山田各屯所本月二十五日ヨリ勤務實施候旨第三憲兵隊長ヨリ通知アリタリ
 - 三重縣告示第四十二號 廿九年二月廿五日
本縣明野勸農場内ニ高等養蠶傳習所ヲ設置シ其規則左ノ通相定ム
- 三重縣明野高等養蠶傳習所規則
- 第一條 本所ハ蠶業ノ改良進歩ヲ圖ルカ爲メ縣下有志ノ男子ニ蠶業ニ關スル學藝ヲ傳習スルモノトス
 - 第二條 傳習生ヲ分テ甲乙ノ二種トス
 - 第三條 傳習生修業年限ハ甲種ヲ一ケ年乙種ヲ二ケ年トシ其修學期ハ毎年四月ヨリ九月ニ至ルノ間ニ於テ凡ソ百五十日トス始業終業ノ月日ハ毎年之ヲ定ム
 - 但乙種傳習生ニシテ成績拔群ノモノハ第二年目春蠶期ノ終リニ於テ傳習終了スルコトアルヘシ
 - 第四條 傳習生ハ滿十八年以上ニシテ左ノ資格ヲ有スル者ヨリ募集ス

甲種傳習生

- 一 身体強壯品行方正ニシテ蠶業ニ熱心ナルモノ
 - 二 在所中家事係累ナキモノ
 - 三 二ケ年以來本縣下ノ住民トナリタルモノ
 - 四 修業年限四ケ年ノ高等小學校卒業ノ學力及ヒ三ケ年以上蠶業ニ從事セシ經驗ヲ程度トシタル入學試験ニ合格シタルモノ
但修業年限四ケ年ノ高等小學校卒業證書ヲ有スルモノハ其學力ノ試験ヲ除ク
 - 五 入所中徴兵ノ現役ニ關係ナキモノ
 - 六 保證人ノ身元確實ナルモノ
- 乙種傳習生
- 一 身体強壯品行方正ニシテ蠶業ニ熱心ナルモノ
 - 二 在所中家事係累ナキモノ
 - 三 二ケ年以來本縣下ノ住民トナリタルモノ
 - 四 修業年限四ケ年ノ高等小學校卒業ノ學力ヲ程度トシタル入學試験ニ合格シタルモノ
但修業年限四ケ年ノ高等小學校卒業證書ヲ有スルモノハ入學試験ヲ受クルニ及ハス

五 入所中徴兵ノ現役ニ關係ナキモノ

六 保證人ノ身元確實ナルモノ

第五條 傳習生ハ三拾名ヲ以テ定員トス甲種募ニ種集ノ數ハ毎年之ヲ定ム

第六條 定期ノ傳習ヲ了ヘシモノハ成業ノ如何ニ拘ハラズ退所セシム其成業試験ニ合格

ノモノハ甲種乙種傳習生ノ別ナク同一ノ修業證書ヲ附與シ品行端正ニシテ成績優等ノ

モノハ特ニ優等證書ヲ與フ

第七條 在所中私ノ事故ヲ以テ退所スルコトヲ許サスト雖モ品行不正又ハ病氣若クハ成

業ノ見込ナキモノハ退所ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 傳習生寄宿舎ハ無料ヲ以テ貸與シ又授業料ヲ收受セス

第九條 傳習生ハ如何ナル事故アルモ通學スルコトヲ許サス

第十條 傳習生寄宿中食費補助トシテ一人ニ付一日金五錢ヲ給ス

第十一條 本所ハ一定ノ休業日ヲ設ケス臨時休業ノ節ハ其時々揭示スヘシ

第十二條 本所ノ諸規則及教師掛員ノ指圖ニ背戾シタルモノハ其情狀ニ依リ禁足又ハ退

所ヲ命スヘシ

第十三條 傳習生ニ退所ヲ命シタルトキハ其情狀ニ依リ既ニ支給シタル食費補助金ヲ返

納セシムルコトアルヘシ

第十四條 志願者ハ左ノ願書式ニ依リ履歷書ヲ添ヘタル書面ヲ差出スヘシ

入所願

某儀明野高等養蠶傳習志願ニ甲種乙種傳習生トシテ入所御許可被成下度尤モ在所中ハ本人身上ニ係ルコトハ保証人ニ於テ一切引受可申候履歷書相添ヘ連署ヲ以テ此段奉願候也

年月日

族籍

願人 何之誰印

族籍

保証人 何之誰印

三重縣明野高等養蠶傳習所宛

第十五條 生徒寄宿舎規則及生徒心得ハ別ニ之ヲ定ム

○三重縣告示第四十三號 廿九年二月廿五日

今般左記之者ヘ頭書之通リ小學校教員免許狀ヲ授與セリ

小學校本科正教員

小山春三郎
松山馬治

尋常小學校本科准教員

○三重告示第四十四號 廿九年二月廿八日

左ノ通リ豫戒命令ヲ執行シ及ヒ解除シタル旨通知アリタリ(人名畧)

○三重縣告示第四十五號 廿九年二月廿八日

滋賀縣滋賀郡大津町大字松本ニ於テ本月十七十八ノ兩日間ニ年齢十八年ヨリ二十二年迄ノ女三名天然痘ニ罹リタル旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第四十六號 廿九年二月廿八日

長崎縣ニ於テハ牛疫全ク消滅ニ付二十八年十月縣令第四十一號廢止ノ旨全縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第四十七號 廿九年二月廿八日

長野縣ニ於テ牛疫豫防ニ關シ左記ノ縣令發布ノ旨全縣ヨリ通知越セリ(縣令略)

○三重縣告示第四十八號 廿九年二月廿八日

和歌山縣伊都郡妙寺村大字妙寺ニ於テ牝牛膏頭牛疫ニ罹リタル旨全縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第四十九號 廿九年三月三日

明治二十八年三重縣告示第百十四號及本年三重縣告示第五號大隊區徵兵參事員補缺撰舉ノ結果左ノ如シ

桑名郡徵募區

福原資英

三重朝明郡徵募區

伊藤傳八郎

○三重縣告示第五十號 廿九年三月六日

今般南牟婁郡内ニ於テ一等水準測量施行ノ旨陸地測量部ヨリ通知アリタリ

○三重縣告示第五十一號 廿九年三月六日

和歌山縣日高郡切目村ニ年齡二十二年ノ男壹名名田村ニ二十年ノ女壹名客月十七日天然痘ニ罹リタル旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第五十二號 廿九年三月六日

岩手及福井ノ兩縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令發布ノ旨通知越セリ〔縣令略〕

○三重縣告示第五十三號 廿九年三月六日

栃木縣ニ於テ牛疫豫防ニ關シ左記ノ縣令發布ノ旨全縣ヨリ通知越セリ〔縣令略〕

○三重縣告示第五十四號 廿九年三月六日

石川縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ彙ニ發布セシ縣令第六號中長崎縣佐賀縣福岡縣山口縣愛媛縣香川縣ノ六縣ヲ削除セシ旨全縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第五十五號 廿九年三月六日

京都府船井郡須知村ニ於テ牝牛一頭炭疽熱ニ罹リ斃死セシ旨全府ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第五十六號 廿九年三月六日

群馬縣ニ於テ彙ニ發生セシ牛疫ハ最早終熄セシ旨全縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第五十七號 廿九年三月十日

今般左記ノ者ヘ頭書ノ通り小學校教員免許狀ヲ授與セリ

小學校本科正教員

○三重縣告示第五十八號 廿九年三月十三日

木村庫三郎

千葉縣平郡平群村其他ニ於テ本年一月以後牛疫發生ノ處客月四日以來一頭ノ患牛ナク全ク熄滅セシ旨全縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第五十九號 廿九年三月十七日

静岡縣ニテ發生セシ牛疫ハ已ニ熄滅セシ旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第六十號 廿九年三月十七日

長野縣ニ於テ牛疫豫防ニ關スル縣令中刪除ニ關シ左記ノ縣令發布ノ旨同縣ヨリ通知越セリ〔縣令略〕

○三重縣告示第六十一號 廿九年三月十七日

本年一月告示第十五號ニ依リ縣會議員ノ改選ヲ行ヒシ處其當選者左ノ如シ

桑名郡	益生村大字矢田	森茂三郎
員辨郡	長島村大字西外面	伊藤三郎
	笠田村大字下笠田	和波鐵太郎
	梅戸井村大字大井田	藤田謙
三重郡	鷺川原村大字吉澤	重盛信近
	縣村大字赤水	木村周太郎
	楠村大字南五味塚	中村太郎左衛門
鈴鹿郡	野登村大字邊法寺	川戸飛佐治
	高津瀬村大字高宮	小河市五郎

奄 藝 郡	上野村大字上野	伊藤齋太郎
河 曲 郡	河曲村大字須賀	松岡爲造
安 濃 郡	津市大字津新東町	伊藤尙藏
一 志 郡	本村大字本村 雲出村大字本村 中川村大字小川	信藤勘十郎 三井井次郎 笹井祐助
飯 野 郡	榑田村大字瀧水	飯田市藏
度 會 郡	東外城田村大字南原 宇治山田町大字中ノ町	喜多正兵衛 越楫五
阿 拜 郡	上野町大字福井町 府中村大字外山	森川六右衛門 山路清三郎
伊 賀 郡	神戶村大字上神戶	永濱園治
荅 志 郡	鳥羽町大字鳥羽	角利助
英 虞 郡	立 神 村	小崎長助
北 牟 婁 郡	引本村大字引本	速水熊太郎
南 牟 婁 郡	神川村大字尾川	田本高千穂

○三重縣告示第六十二號 廿九年三月廿一日
縣會正副議長常置委員ノ撰舉並左ノ事項議定ノ爲メ來ル四月一日ヨリ臨時縣會ヲ開ク

一 明治廿九年度地方税支出追加豫算
一 同 地方税收入追加豫算

一 自明治廿九年年度聯年支辨土木費豫算更正
一 至 同三十年年度聯年支辨土木費豫算更正
一 物件寄附ノ件

○三重縣告示第六十三號 廿九年三月廿四日
今般海軍志願兵徵募規則ニ依リ左表ノ通臨時徵募相成候條志願ノ者ハ來ル四月五日迄ニ願書調製所屬町村役場ヲ經テ郡市役所ニ差出スヘシ郡市役所ハ例規ノ通海軍志願兵一覽表ヲ製シ同月七日迄ニ縣廳ニ報告スヘシ

水 兵	信 號 兵	機 關 兵	木 工	鍛 冶	看 護	計
六〇人	二五人	一二〇人	二二人	一〇人	八人	二二五人

○三重縣告示第六十四號 廿九年三月廿四日
和歌山縣及長野縣ニ於テ牛疫豫防區域ニ關シ左記ノ縣令發布ノ旨同縣ヨリ通知越セリ
(縣令略)

○三重縣告示第六十五號 廿九年三月廿四日
三重縣神職管理所規約左ノ通改正ノ義認可ヲ與ヘタリ
三重縣神職管理所規約

第一章 總則

第一條 縣社以下神職ノ奉務ヲ嚴肅ニシ學術德行ヲ獎勵シ以テ其職責ヲ全クセンカ爲メ縣下神職ノ協同ヲ以テ茲ニ此規約ヲ制定ス

第二條 此規約ハ本縣知事ノ認可ヲ經テ縣内一般神職ノ遵守實踐スヘキモノトス此規約ヲ改正セントスル時ハ總代會ノ決議ヲ經テ知事ノ認可ヲ請ケ施行スルモノトス

第三條 三重縣神職管理所ヲ三重縣津市ニ設置シ其支所ヲ三重縣神職管理所某郡支所ト稱シ各郡市ニ配置ス但シ數郡市ヲ合シ一ノ支所ヲ置クイヲ得

第四條 本支所ノ經費ハ縣社以下神社及各支所部内ノ負擔トス

第二章 職員

第五條 本支所ニ左ノ職員ヲ置ク

本所

所長 一員

理事 若干員

參事員 七員

書記 若干員

支所

支所長 一員

幹事 若干員

第六條 所長ハ總代會ニ於テ投票ヲ以テ三名ノ候補者ヲ選舉推薦シ其中ニ就テ縣知事ノ選定ヲ請フ但シ投票ハ記名トス

第七條 臨時本所所長ノ推薦ヲ要スルトキハ本所ハ豫メ期日ヲ定メ各郡市支所ニ報告シ

各支所ハ部内神職ノ總代ヲ互選セシム之レヲシテ投票セシム但總代ノ人員數ハ總代會議員選出ノ率ニ據ル

投票ハ支所ニテ取纏メ本所ヘ送附シ本所ハ參事員ヲ會合セシメ開票ノ上參事員ハ各選舉區神職總代ノ名ヲ以テ縣知事ノ選定ヲ請フモノトス

第八條 理事及書記ハ所長之ヲ選任ス但理事ハ參事員及總代會議員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第九條 參事員ハ左ノ區畫内神職ニ於テ互選シ得票多數ノ者ヲ以テ當選トシ所長ヨリ當選狀ヲ交附スルモノトス但參事員ハ總代會議員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第一區壹人 津市 安濃郡 一志郡

第二區壹人 三重郡 鈴鹿郡 奄藝郡 河出郡

第三區壹人 桑名郡 員辨郡 朝明郡

第四區壹人 飯高郡 飯野郡 多氣郡

第五區貳人 度會郡 答志郡 英虞郡 北牟婁郡 南牟婁郡

第六區壹人 阿拜郡 山田郡 名張郡 伊賀郡

第十條 支所長幹事ハ各支所部内神職ニ於テ互選シ當選者ヘハ所長ヨリ當選狀ヲ交附ス但其郡市ノ情況ニ依リ他ヨリ推薦スルトキハ所長ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條 總テ職員ハ名譽職トシ其任期ハ滿二ケ年トス但シ滿期ト選スルコトヲ得

第三章 職務

第十二條 所長ハ此規約ニ據リ一切ノ事務ヲ總理ス

- 第十三條 理事ハ所長ノ命ヲ受テ事務ニ從事シ所長事故アルトキハ其事務ヲ代理ス
 - 第十四條 參事員ハ所長ヲ輔ケテ事務ニ參與シ兼テ出納ヲ監査ス
 - 第十五條 參事員ハ所長ノ命ニ依リ各區ヲ巡視シ區内ニ交渉ヲ要スルトキハ(參事員選舉件ヲ除ク)支所職員ヲ招集シ協議スルコトヲ得但會議ノ實況ハ本所ニ報告スヘシ
 - 第十六條 參事員ハ區内神職ノ非違勤惰ヲ視察シ或ハ經費ノ延滞アラハ之ヲ督促ス
 - 第十七條 書記ハ所長ノ命ヲ受テ庶務會計ニ從事ス
 - 第十八條 支所長ハ所長ノ監督ヲ受テ左ノ事務ヲ處理ス
 - 一 支所一切ノ事務ヲ整理シテ其責ニ任スル事
 - 二 部内神職ノ勤惰ヲ視察シ所長ニ上申スル事
 - 三 部内神職ヲシテ禮典學術等ノ研究ヲナサシメ及神職ヲ招集シテ會議ヲ開ク事
 - 四 部内ノ規約ヲ設ケ所長ノ認可ヲ受クル事
 - 五 部内負擔金ヲ取纏メ之ヲ本所ニ納付スル事
 - 六 部内神職ノ任免轉籍改名死亡等ハ速ニ本所ヘ報告スル事
 - 第十九條 幹事ハ支所長ノ事務ヲ助ケ支所長事故アルトキハ其事務ヲ代理ス
- 第四章 會議
- 第二十條 會議ヲ分テ左ノ三種トス
 - 一 參事員會
 - 二 職員會
 - 三 總代會

- 第二十一條 參事員會ハ豫メ會期ヲ定メ重要事件ノ生シタル都度之ヲ開クモノトス
 - 第二十二條 職員會ハ隔年八月之ヲ開キ諸般ノ事務ヲ協議シ及所長ノ諮問ニ應ズ但要用アルトキハ臨時招集スルコトアルヘシ
 - 第二十三條 總代會ハ毎年三月之ヲ開キ經費ノ豫算其他職員ノ改選重要事件等ヲ議定ス
 - 第二十四條 總代會ニ於テ原案及修正案トモ不成立ノ時所長ハ前年度ノ經費豫算額並ニ既定規約ノ條文ニヨリ所務ヲ執行スルコトヲ得
 - 第二十五條 職員會議員ハ支所長トシ總代會議員ハ各郡市ノ神職九名マテハ一名ヲ出シ九名ヲ増ス毎ニ一名ヲ増出スルモノトス
 - 第二十六條 參事員會及職員會ノ會長ハ所長トシ總代會ノ正副議長ハ互選トス但議事細則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第五章 賞與
- 第二十七條 本所ニ於テ左ノ賞與ヲ行フ
 - 一 褒狀
 - 二 賞與
 - 第二十八條 賞與ハ支所長ノ具申ニヨリ參事員會ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ
- 附則
- 第二十九條 郡ノ廢合ニ依リ參事員撰出區新郡兩撰舉區ニ涉ルトキハ參事員ノ決議ニヨリ之ヲ改定ス

○三重縣告示第六十六號 廿九年三月廿七日
今般左記ノ者へ頭書ノ通リ小學校教員免許狀ヲ授與セリ

小學校本科正教員
尋常小學校本科正教員
同

西澤留吾
田中義博
小森保太郎

○三重縣告示第六十七號 廿九年三月廿七日

朽木縣ニ於テ牛疫豫防ニ關シ左記ノ縣令發布ノ旨同縣ヨリ通知越セリ〔縣令署〕

○三重縣告示第六十八號 廿九年三月廿七日

岐阜縣ニ於テ左記ノ通巡查看守給助例施行細則ヲ發布セシ旨通知アリタリ〔縣令署〕

○三重縣告示第六十九號 廿九年三月廿七日

岩手縣ニ於テ牛疫豫防ニ關シ左記ノ縣令發布ノ旨同縣ヨリ通知越セリ〔縣令署〕

○三重縣告示第七十號 廿九年四月一日

本年法律第四十六號ヲ以テ更ニ定メラレタル三重外五郡々役所位置左ノ如シ

但本日ヨリ開廳執務ス

三重郡役所
河藝郡役所
飯南郡役所

三重郡四日市町
河藝郡白子町
飯南郡松坂町

阿山郡役所

阿山郡上野町

名賀郡役所

名賀郡名張町

志摩郡役所

志摩郡鳥羽町

○三重縣告示第七十一號 廿九年四月一日

本日ヨリ開會ノ臨時縣會議定事項左ノ通追加ス

一明治廿九年度營業稅雜種稅課目課額更正ノ件

一同 備荒儲蓄金取扱規則改正ノ件

一軍氣鐵道軌道布設ノ件諮問

○三重縣告示第七十二號 廿九年四月四日

京都府下船井郡上和知村滋賀縣蒲生郡市原村ノ二ヶ所ニ於テ牡牛各一頭炭疽熱ニ罹リ斃

死セシ旨通知アリタリ

○三重縣告示第七十三號 廿九年四月四日

石川縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲曩ニ發布セシ縣令第六號中岡山千葉福島群馬ノ四縣ヲ削除セ

シ旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第七十四號 廿九年四月七日

本縣第二區第四區第六區衆議院議員選舉長更ニ左ノ者へ任命セリ

第二區 三重郡長酒井禮一

第四區 飯南郡長山本如水
第六區 阿山郡長八尾信夫

○三重縣告示第七十五號 廿九年四月七日
和歌山及新瀉ノ兩縣ニ於テ牛疫豫防ニ關シ左記ノ縣令發布ノ旨通知越セリ(縣令略)
○三重縣告示第七十六號 廿九年四月十日
本月一日ヨリ開會ノ臨時縣會ハ去ル七日閉會セリ
○三重縣告示第七十七號 廿九年四月十日
本月一日ヨリ開設セシ臨時縣會ニ於テ正副議長及常置委員並同豫備員ヲ選舉セシニ左記ノ者當選セリ

- 議長 海野 鎌次郎
- 副議長 角 利助
- 常置委員 竹原 樸一
奥村 要藏
深山 始三郎

- 同豫備員 重盛 信近
三井 次郎
下田 亨三
木村 周太郎
福永 岩次郎

○三重縣告示第七十八號 廿九年四月十日
左ノ通り豫戒命令ヲ執行シ並ニ命令者改名ノ旨通知アリタリ(人名略)
○三重縣告示第七十九號 廿九年四月十四日
和歌山縣下西牟婁郡江住村ニ於テ客月二十九日ヨリ全三十一日迄ニ左記ノ男女天然痘ニ罹リ内女一名死亡セシ旨同縣ヨリ通知越セリ(左記略)
○三重縣告示第八十號 廿九年四月十四日
京都府船井郡上和知村ニ於テ牡牛一頭炭疽熱ニ罹リ斃死シタル旨全府ヨリ通知越セリ
○三重縣告示第八十一號 廿九年四月十四日
明治廿七年報告第三十四號中員辨郡多氣郡稻作試驗田ノ位置擔當人左ノ通變更セリ

郡名	町村名	大字名	小字名	擔當人氏名
員辨	阿下喜村	瀬木	井水東	佐藤清右衛門

多 氣 上 御 絲 村 坂 本 厄 町 山 路 十 兵 衛

○三重縣告示第八十二號 廿九年四月十四日

本縣尋常師範學校教員講習科二種生八名募集候條志願ノ者ハ來ル五月廿八日限リ願書ヲ同校へ差出シ六月一日午前第八時試驗用具携帶同校へ出頭スヘシ

但本試驗ニハ教育、圖書、音樂、体操ノ四科目欠ク(本年告示八十四號ヲ以テ圖書ヲ削除ス)

○三重縣告示第八十三號 廿九年四月十七日

飯南郡神山村役場位置ヲ大字下蛸路ニ變更ス

○三重縣告示第八十四號 廿九年四月廿一日

本年(四月)本縣告示第八十二號但書欠科目中教育ヲ削除ス

○三重縣告示第八十五號 廿九年四月廿一日

本縣農事試驗場ニ於ケル事業ノ全部若クハ其一部ニ就キ實地研究セント欲スルモノハ左ノ規程ニヨリ之ヲ許可スルコトアルヘキニヨリ其研究セントスル事項ヲ記載シタル願書ヲ本廳へ差出スヘシ

研究生規程

一 研究生ハ男子十八年以上女子十六年以上タルヘシ

但事業ノ種類ニヨリ本項年齡未滿ノモノト雖モ特ニ許可スルコトアルヘシ

一 研究生ハ該場掛員ノ指揮監督ニ屬シ漫ニ手ヲ施設ノ事業ニ下スヘカラス

一 農耕及製造用ノ器具器械ハ之ヲ貸與スルコトアルヘキモ其他ハ都テ自辨タルヘシ

一 養蠶研究生ニ限リ場内ニ宿泊スルコトヲ許スヘシ

○三重縣告示第八十六號 廿九年四月廿一日

和歌山縣下那賀郡ニ於テ左記ノ通天燈ニ罹リタル旨全縣ヨリ通知越セリ(左記略)

○三重縣告示第八十七號 廿九年四月廿一日

奈良縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ發布セシ廿八年(十二月)縣令第七十二號今般廢止ノ旨通知越セリ

○三重縣告示第八十八號 廿九年四月廿八日

本年海軍省告示第五號ヲ以テ海軍志願兵徵募人員告示相成候ニ付テハ右志願ノ者ハ來ル五月末日迄ニ願書ヲ郡市役所ニ差出スヘシ郡市役所ハ海軍志願兵一覽表ヲ製シ六月五日迄ニ縣廳ニ報告スヘシ

○三重縣告示第八十九號 廿九年四月廿八日

長野、岩手ノ兩縣ニ於テ牛疫豫防ニ關シ左記ノ縣令發布ノ旨通知越セリ(左記略)

○三重縣告示第九十號 廿九年四月廿八日

石川縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ發布セシ縣令第六號中東京府和歌山縣削除ノ旨通知越セリ

○三重縣告示第九十一號 廿九年四月廿八日
 愛知縣ニ於テ發布セシ牛疫豫防ニ關スル縣令第二號中神奈川縣ヲ除クノ外渾テ解除セシ旨通知越セリ

○三重縣告示第九十二號 廿九年五月一日
 京都府船井郡上和知村ニ於テ飼牛牝牡各壹頭炭疽熱ニ罹リ斃死シタル旨同府ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第九十三號 廿九年五月五日
 明治廿五年(四月)當縣告示第三十一號陸軍召集旅費郡市役所所在地外支給場所中志摩郡鵜方村役場ノ一項削除ス

○三重縣告示第九十四號 廿九年五月五日
 枋木、長野兩縣ニ於テ牛疫豫防ニ關スル左記ノ縣令發布ノ旨同縣ヨリ通知越セリ(左記略)

○三重縣告示第九十五號 廿九年五月五日
 京都府船井郡下和知村ニ於テ牝牛一頭炭疽熱ニ罹リ斃死セシ旨同府ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第九十六號 廿九年五月五日
 多氣郡長ヲシテ管理セシメタル多氣郡黒部村及飯南郡西黒部村連係ノ黒部井井堰普通水利組合ハ本月二日ヨリ多氣郡東黒部村長ヲシテ管理セシム

○三重縣告示第九十七號 廿九年五月八日

一志郡ハッ山村大字古市ニ於テ年齢四十六ノ男一名本月三日天然痘ニ罹レリ

○三重縣告示第九十八號 廿九年五月八日
 今般左ノ工事準備ノ爲メ起業地ニ立入測量スルコトヲ認可セリ

起業者 伊賀鐵道株式會社
 工事種類 瀛車鐵道

起業地 阿山郡 新居村 三田村

○三重縣告示第九十九號 廿九年五月十二日
 德島縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ發布セシ縣令ハ自今廢止ノ旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第一百號 廿九年五月十二日
 大阪府西成郡中津村大字光立寺ニ於テ兵庫縣下葺合村ヨリ輸入セシ牝牛壹頭牛疫ニ罹リ斃死セシ旨同府ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第一百一號 廿九年五月十五日
 左記之者聯隊區徵兵參事員辭職ニ付キ補闕ノ爲メ來ル六月二十三日該郡ニ於テ選舉會ヲ開設ス其選舉開會ハ午前第八時投票函閉鎖ハ午後三時トス

桑名郡 徵募區 小林兼太郎

○三重縣告示第一百二號 廿九年五月十五日
 岐阜縣各務郡ノ男一名(廿九年)京都府相樂郡大河原ニ出稼中本月二日天然痘ニ罹リタル

モ覺知セス本月九日原籍へ歸途桑名ニ於テ醫師ノ診斷ニ依リ同病タルヲ發見シ目下避病院ニ於テ治療中

○三重縣告示第百三號 廿九年五月十五日

和歌山縣下ニ於テ客月廿六日ヨリ本月三日迄ニ左記ノ通天然痘ニ罹リタル旨同縣ヨリ通知越セリ(人名略)

○三重縣告示第百四號 廿九年五月十五日

京都府及徳島、枋木ノ二縣ニ於テ牛疫豫防方ニ關シ左記ノ通り發令セシ旨該府縣ヨリ通知越セリ(左書略)

○三重縣告示第百五號 廿九年五月十五日

新瀧縣ニ於テ疊ニ發布セシ牛疫豫防ニ關スル縣令中牛羊豚輸入停止地區ヨリ東京千葉長野ノ三府縣ヲ削除シ群馬縣ヲ追加セシ旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第百六號 廿九年五月廿二日

内務省起業ニ係ル木曾川支川ノ内揖斐川改修工事準備ノ爲メ左記ノ村ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スヘキ旨其筋ヨリ通知アリタリ

桑

名 郡

七 取 村

野 代 村

○三重縣告示第百七號 廿九年五月廿六日

明治廿九年度津市内ニ於ケル所得納稅者ノ住所氏名左ノ如シ(津市内へ告示ニ付納稅者氏名略)

○三重縣告示第百八號 廿九年五月廿九日

本年第三師管豫備後備役下士卒簡閱點呼ハ來月一日ヨリ執行候旨該師團長ヨリ通知アリ

○三重縣告示第百九號 廿九年五月廿九日

今般農商務省營業講習所本科生五十名募集ノ旨全所ヨリ通牒有之候條志願ノモノハ傳習規則第十四條ニ依リ來月六月三十日迄ニ其願書並ニ履歷書ヲ當廳へ差出スヘキ

(參照)農商務省營業講習所傳習規則ハ本年本月十三日官報産業欄内ニアリ

○三重縣告示第百十號 廿九年五月廿九日
新瀧縣ニ於テ疊ニ發布セシ牛疫豫防ニ關スル縣令中牛羊豚輸入停止區域へ大坂府及兵庫縣ヲ追加セシ旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第百十一號 廿九年五月廿九日

今般左記ノ者へ頭書ノ通り小學校教員免許狀ヲ授與セリ

尋常小學校本科正教員

全 藤原千代丸

全 野間彌太郎

全 田中英太郎

全 本科准教員 久保万助

○三重縣告示第百十二號 廿九年六月九日

大坂府下西成郡上福島村ニ於テ去月二十四日飼牛壹頭炭疽熱ニ罹リ斃死セシ旨全府ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第百十三號 廿九年六月九日
今般左記ノ者所有ノ小學校教員免許狀ヲ褫奪セリ

三重縣南牟婁郡有井村大字有馬平民

檜作賢太郎

○三重縣告示第百十四號 廿九年六月十二日
石川縣ニ於テ彙ニ發布セシ牛疫豫防ニ關スル縣令第六號自今廢止ノ旨同縣ヨリ通知越セ

○三重縣告示第百十五號 廿九年六月十二日
左ノ通豫戒命令ヲ執行シ及ヒ解除シタル旨通知アリタリ

玉村丑之助 外十二名

○三重縣告示第百十六號 廿九年六月十九日
河藝郡栗真村役場位置ヲ全村大字町屋ニ移ス

○三重縣告示第百十七號 廿九年六月十九日

第二回水産博覽會へ出品ヲ出願セント欲スルモノハ左ノ手續ニ依ルヘシ(期限經過ニ付左記略)
○三重縣告示第百十八號 廿九年六月廿六日

奈良縣高市郡白樺村ニ於テ本月十日飼牛一頭炭疽熱ニ罹リ斃死セシ旨同縣ヨリ通知越セ

○三重縣告示第百十九號 廿九年六月三十日

内務省ノ起業ニ係ル宮川並同支派川改修工事計畫準備ノ爲メ左記ノ町村民有地へ立入測
量ヲナスヘキ旨内務大臣ヨリ通知アリタリ

度會郡

御園村

宇治山田町

城田村

宮本村

神社町

豐濱村

大湊町

下外城田村

濱郷村

小俣村

北濱村

○三重縣告示第百二十號 廿九年六月三十日
明治廿三年(六月)三重縣告示第七十三號通河錢取立手續第二條中「瀧谷」トアルヲ「明豆」
ト改ムルコトヲ許可セリ

○三重縣告示第百廿一號 廿九年六月卅日
京都府丹波國天田郡細見村ニ於テ本月十四日飼牛一頭炭疽熱ニ罹リ斃死セシ旨全府ヨリ
通知越セリ

○三重縣告示第百廿二號 廿九年七月三日
桑名鐵道停車場道外五道左ノ通假定縣道ニ編入ス

一 桑名鐵道停車場 桑名郡大山田村大字桑名ニテ假定縣道美濃街道ヨリ分岐シ桑名停車場ニ至ル

一 富田鐵道停車場 三重郡富田村大字東富田ニテ國道東海道ヨリ分岐シ富田停車場ニ至ル

一 高宮鐵道停車場 鈴鹿郡高津瀬村大字高宮ニテ國道東海道ヨリ分岐シ高宮鐵道停車場ニ至ル

一 相可鐵道停車場 多氣郡相可村大字相可ニテ假定縣道能野街道ヨリ分岐シ相可鐵道停車場ニ至ル

一 宮川鐵道停車場 度會郡小俣村ニテ國道伊勢街道ヨリ分岐シ宮川鐵道停車場ニ至ル

一 南 島 街 道 度會郡宇治山田町大字辻久留町ニテ國道伊勢街道ヨリ分岐シ宮川鐵道停車場ニ至ル

○三重縣告示第百廿三號 廿九年七月三日
今般左記ノ者ヘ頭書ノ通り小學校教員免許狀ヲ授與セリ

尋常小學校本科正教員
同 菊 地 正 哲
同 小 林 助 次 郎
同 水 谷 鐵 藏
同 伊 藤 拾 次 郎

○三重縣告示第百廿四號 廿九年七月三日
橫濱築港内船舶ニ關スル規程左ノ通制定施行候旨神奈川縣ヨリ通知越セリ

橫濱築港内ニ於ケル船舶ハ動物ノ死体荷足石炭灰燼塵芥膏油其他之ニ類スル物件ヲ海中ニ投棄シ又ハ墜落セシムヘカラス違フ者ハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

○三重縣告示第百廿五號 廿九年七月三日
長野縣ニ於テ癩ニ發布セシ牛疫豫防ニ關スル縣令第二號自今廢止ノ旨全縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第百廿六號 廿九年七月三日
大阪府三島郡清水村ニ於テ去月十八日飼牛一頭炭疽熱ニ罹リ斃死セシ旨全府ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第百廿七號 廿九年七月七日
本年(五月)三重縣告示第百一號聯隊區徵兵參事員補選舉會ニ於テ左記ノ者當撰セリ

桑名郡 長島村
桑名郡 徵募區 伊 藤 貴 平

○三重縣告示第百廿八號 廿九年七月七日
今般左記者ヘ頭書之通小學校免許狀ヲ授與セリ

尋常小學校本科正教員
山下 辰 次 郎 外廿九名

○三重縣告示第百廿九號 廿九年七月十四日
新潟縣ニ於テ癩ニ發布セシ牛疫豫防ニ關スル縣令第七號今般廢止ノ旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第百三十號 廿九年七月十四日

京都府ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ發布セシ府令ハ本月六日限り廢止ノ旨同縣ヨリ通知越セリ
 ○三重縣告示第百卅一號 廿九年七月十四日
 京都府船井郡須知村ニ於テ牡牛三頭炭疽熱ニ罹リ本月四日斃死セシ旨同縣ヨリ通知越セリ
 ○三重縣告示第百卅二號 廿九年七月廿七日
 明治廿九年度地方稅收入支出追加豫算議定ノ爲メ昨廿六日常置委員會ヲ開キ議事結了即
 日閉會セリ
 ○三重縣告示第百卅三號 廿九年七月廿八日
 福井縣及枋木縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ發布セシ縣令ハ自今廢止ノ旨通知越セリ
 ○三重縣告示第百卅四號 廿九年八月四日
 令般左記ノ者ヘ頭書之通小學校教員免許狀ヲ授與セリ
 尋常小學校本科正教員 長谷川 修一
 同 朝比奈 巳之助
 同 本科准教員 增田 新太郎
 外四十三名
 ○三重縣告示第百三十五號 廿九年八月十四日
 縣下赤痢病患數ハ此頃俄カニ其數ヲ増加シ本年初發ヨリノ患者數ハ左表ノ通りニシテ其
 總數三百二十四人之レヲ昨年今時ノ總患者數ニ比スレハ百九十三人ヲ増スノミナラス猶

漸時蔓延セントスルノ兆アルニ依リ此際各自飲食物ニ注意ヲ加ヘ且家屋ノ内外ヲ洒掃シ
 井戸下水ノ修理浚渫便所芥溜ヲ掃除ヲ怠ラス努メテ病毒ヲ未萌ニ防キ慘害ニ罹ラサル様
 充分ニ注意警戒ヲ要ス(要略)
 ○三重縣告示第百三十六號 廿九年八月十八日
 第三憲兵隊三重分隊屯所名稱及巡察區左記之通改定候旨第三憲兵隊長ヨリ通知アリタリ
 三重分隊屯所名稱及巡察區

屯所名稱	巡察區
津市屯所	津市 志濃郡 賀山郡 阿名郡
四日市町屯所	桑名郡 名賀郡 三員郡 鈴鹿郡
宇治山田町屯所	飯多郡 多氣郡 南氣郡 會郡

改稱屯所名	位	置
三重憲兵警察區津市屯所	津市	大字地頭領町
同日市町屯所	三重郡	四日市町
同 宇治山田町屯所	度會郡	宇治山田町

志摩郡 北牟婁郡 南牟婁郡

○三重縣告示第百三十七號 廿九年八月廿五日
本年十月施行スヘキ小學校正教員乙種檢定試驗ニハ尋常小學校本科正教員試驗科目中音樂ヲ缺ク

○三重縣告示第百三十八號 廿九年八月廿五日
小學校本科准教員乙種檢定試驗ノ期日並場所等左記ノ通相定ム試驗ヲ受ケントスルモノハ明治廿五年(三月)本縣令第三十四號小學校教員檢定等ニ關スル細則ニ依リ速ニ願書差出スヘシ

但尋常小學校本科准教員受驗志願者ニシテ指定區域外ノ試驗場ニテ受驗ヲ望ムモノハ其旨願書ニ記載スヘシ

本試驗ニハ小學校本科准教員ノ試驗科目中音樂ヲ缺キ尋常小學校本科准教員ノ試驗科目中圖書、音樂、体操ヲ缺ク(期限經過ニ付試驗場所及試驗期日略)

○三重縣告示第百三十九號 廿九年八月廿五日
滋賀縣蒲生郡北比都佐村ニ於テ去月廿二日牝牛一頭炭疽熱ニ罹リ斃死セシ旨全縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第百四十號 廿九年八月廿五日
德島縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令發布ノ旨全縣ヨリ通知越セリ(左記縣令略)

○三重縣告示第百四十二號 廿九年八月廿八日
左記ノ通り豫戒命令ヲ執行シ及解除シタル旨通知アリタリ

令第二條第一第二第三

佐賀縣杵島郡西川登村大字神六字
矢筈四百六十番地平民無職業

六月十日佐賀縣執行

川浪常吉
慶應元年六月生
外廿九名

○三重縣告示第百四十三號 廿九年八月廿八日
本月廿七日ヨリ當廳ニ臨時檢疫部ヲ開設シ檢疫豫防ニ關スル一切ノ事務ヲ掌理セシム

- 三重縣告示第四百四十四號 廿九年九月一日
奈良縣ニ於テハ米質改良ノ目的ヲ以テ大和米改良組合取締規則ヲ發布シ同縣下ニ田地ヲ所有シ若クハ米作ヲナシ又ハ米穀商ヲ營ムモノハ該規則ニ依リ組合ヲ設ケシムル旨同縣ヨリ通知アリタリ
- 三重縣告示第四百四十五號 廿九年九月一日
岐阜縣大野郡黒野村ニ於テ牡馬一頭皮疽病ニ罹リタル旨同縣ヨリ通知越セリ
- 三重縣告示第四百四十六號 廿九年九月七日
明治廿九年度地方稅收入支出追加豫算議定ノ爲昨六日常置委員會ヲ開キ議事結了即日閉會セリ
- 三重縣告示第四百四十七號 廿九年九月八日
奈良縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令發布ノ旨同縣ヨリ通知越セリ(奈良縣令略)
- 三重縣告示第四百四十八號 廿九年九月十一日
京都府ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令發布ノ旨通知越セリ(左記府令略)
- 三重縣告示第四百四十九號 廿九年九月十八日
原種用蠶種検査所ヲ本廳内ニ開設シ來ル十月一日ヨリ検査ス受験者ハ本月廿五日ヨリ同廿八日迄ニ所轄郡市役所ニ蠶種ヲ差出スヘシ
- 三重縣告示第四百五十號 廿九年九月廿日

明治廿九年度地方稅收入支出追加豫算ノ議定ヲ要シ本月十八日ヨリ常置委員會ヲ開キ同十九日議事結了閉會セリ

- 三重縣告示第五百一十一號 廿九年九月廿三日
今般左記ノ者ヘ頭書之通小學校教員免許狀ヲ授與セリ
尋常小學校本科正教員
長 井 彌 五 郎
- 三重縣告示第五百一十二號 廿九年十月十三日
本年(五月)第二回水産博覽會事務局告示第一號同會規則第二十條及第二十三條ノ規定ニ據リ出品ノ交換ヲナスヲ得ルモノハ別記ノ品數ニ限ルヘキ旨同會副總裁ノ命ニ依リ同會事務官長ヨリ通知アリタリ(期限經過ニ付別記略ス)

- 三重縣告示第五百一十三號 廿九年十月十三日
今般蠶業講習所ニ於テ別科傳習生六拾名募集可相成ニ付志願ノモノハ本月廿五日迄ニ願書ニ通ヲ所屬市役所又ハ町村役場ヘ差出スヘシ
但傳習規則要望ノ者ハ郵券(二錢)ヲ添ヘ蠶業講習所東京府北豐島郡ヘ請求スヘシ
- 三重縣告示第五百一十四號 廿九年十月十三日
津市丸ノ内角谷庄吉所有ノ畜牛一頭炭疽熱ニ罹リ本月二日斃死セシ旨届出タリ
- 三重縣告示第五百一十五號 廿九年十月十三日
客年五月京都府ニ於テ豫戒命令ヲ執行シタル本縣平民前川龜吉ニ對シ本月七日本縣ニ於テ

命令ヲ解除セリ

○三重縣告示第五百五十六號 廿九年十月廿日
左記ノ通り豫戒命令ヲ執行シ及ヒ解除シタル旨通知アリタリ

令第二條第二第三

高知縣高知市新町字田淵九拾番地平民當時東京市
本郷區春木町二丁目二十二番地寄留雜業

八月四日警視廳執行

宮地 茂平

万延元年七月生
外十二名(略)

○三重縣告示第五百五十八號 廿九年十月廿七日

今般左記ノ者所有ノ小學校教員免許狀ヲ褫奪セリ

三重縣員辨郡治田村大字垣内平民

岡田 鐵吾

○三重縣告示第五百五十九號 廿九年十月三十日

本廳内ニ開設セシ原種用蠶種檢査所ハ本月三十一日限り之ヲ閉ツ

○三重縣告示第六十號 廿九年十月三十日
今般左記ノ者へ頭書ノ通り小學校教員免許狀ヲ授與セリ

尋常小學校本科正教員

海野 榮三郎 外七名

○三重縣告示第六十一號 廿九年十一月十七日

本月二十五日ヨリ通常縣會ヲ開ク

○三重縣告示第六十二號 廿九年十一月二十日

度會郡東外城田村大字田宮寺ニ於テ三十三年ノ男一人本月三日天然痘ニ感染セリ

○三重縣告示第六十三號 廿九年十一月廿四日

京都府乙訓郡新神足村ニ於テ本月二日三日兩日各一頭宛牛疫發生ニ付左記府令發布ノ旨

同府ヨリ通知越セリ(左記略)

○三重縣告示第六十四號 廿九年十一月廿七日

和歌山縣東牟婁郡色川村ニ於テ左記ノ通り天然痘ニ罹リ目下治療中ノ旨同縣ヨリ通知越

セリ(左記略)

○三重縣告示第六十五號 廿九年十一月廿七日

小學校令第六十五條ニ依リ左記ノ者所持本縣小學校教員免許狀ヲ褫奪セリ

三重縣三重郡常磐村大字赤堀

近藤 謹五郎

○三重縣告示第六十六號 廿九年十一月廿七日

左記ノ者へ今般頭書ノ通り本縣小學校教員免許狀ヲ授與セリ

小學校本科正教員

石田 鉄太郎 外六名

○三重縣告示第六十七號 廿九年十二月一日

德島縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ左記縣令發布ノ旨同縣ヨリ通知越セリ(左記縣令略)

○三重縣告示第六十八號 廿九年十二月四日

京都府乙訓郡新神足村ニ發生セシ牛疫ハ已ニ撲滅セシニ依リ彙ニ發布セシ府令第五十五號ヲ廢止セシ旨同府ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第六十九號 廿九年十二月四日

今般陸軍戸山學校ニ於テ陸軍軍樂生徒三十名召募シ官費入學差許シ候條志願ノ者ハ別紙入學檢査格例並志願者心得ニ據リ其願書類ハ來ル明治三十年一月三十一日限リ當廳へ差出スヘシ(期限經過ニ付別紙署ス)

○三重縣告示第七十號 廿九年十二月八日

度量衡器ノ製作者、修復者、又ハ販賣者ノ身元保証金ハ本縣下ニ本店ヲ設置スル株式會社組織ノ銀行並ニ株式會社第一銀行及ヒ合名會社三井銀行ノ預リ証券卜定ム

(參照)農商務省令第十一號 度量衡法施行規則(明治二十四年八月十九日)中抄錄

第三十八條第二項 身元保証金ハ通貨若ハ公債證書ヲ地方長官ノ指定スル銀行ニ預ケ入レ其預リ證券ヲ地

方應ニ納メ置クヘシ

但シ公債証書ハ時價ニ依リ其割ヲ増シテ納ムベシ

○三重縣告示第七十一號 廿九年十二月十一日

本年海軍省告示第十二號ヲ以テ海軍志願兵徵募人員告示相成候ニ付テハ右志願ノ者ハ來ル明治三十年二月三十一日限リ郡市長へ願出ヘシ郡市長ハ海軍志願兵一覽表ヲ製シ同年二月五日限リ縣廳ニ報告ス

○三重縣告示第七十二號 廿九年十二月十一日

愛知縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ發布セシ縣令第二號自今廢止ノ旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第七十三號 廿九年十二月十五日

德島縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ發布セシ縣令ハ本月八日限リ廢止ノ旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第七十四號 廿九年十二月十八日

和歌山縣海草郡中ノ島村ニ於テ本月五日牝牛一頭牛疫ニ罹リタルニ依リ左記ノ縣令發布ノ旨同縣ヨリ通知越セリ(左記縣令略)

○三重縣告示第七十五號 廿九年十二月十九日

本縣臨時檢疫部ハ本月廿日限リ閉鎖ス

○三重縣告示第七十六號 廿九年十二月廿二日

縣會常置委員重盛信近辭任ニ付豫備員下田亨三其缺ヲ補ヒ就職セリ

○三重縣告示第七十七號 廿九年十二月廿二日
左記ノ通豫戒命ヲ執行シ及ビ解除シタル旨通知アリタリ

令第二條第一第二第三

群馬縣綠野郡藤岡町境六百七番地平民當時静岡縣志太郡
燒津村新屋百五十番地居住

十一月一日静岡縣執行

永岡啓三郎

慶應三年三月生

外十四名

○三重縣告示第七十八號 廿九年十二月廿二日

德島縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令發布ノ旨同縣ヨリ通知越セリ
德島縣令第七十二號 廿九年十二月十一日

和歌山縣ニ於テ牛疫發生ニ付該縣ヲ發シ又ハ通過シタル牛畜ノ輸入ヲ停止ス違フモノハ
貳圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

○三重縣告示第七十九號 廿九年十二月廿五日

明治廿九年通常縣會本月廿二日閉會セリ

○三重縣告示第八十號 廿九年十二月廿五日

常置委員豫備員下田亨三常置委員ニ就職シタルニ付本年通常縣會ニ於テ豫備員一名ヲ補
缺撰舉セシニ左記ノ者常撰セリ

森川 六右衛門

○三重縣告示第八十一號 廿九年十二月廿五日

京都府ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ發布セシ府令第三十六號中兵庫縣ノ下ニ和歌山縣ノ四字挿
入ノ旨同府ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第八十二號 廿九年十二月廿九日

左記ノ事項議定ノ爲メ明治三十年一月十三日ヨリ臨時縣會ヲ開ク

一 明治二十九年地方稅土木費市町村土木補助費土木費借入金償却費追加豫算

一 全 地方稅收入追加豫算

一 備荒儲蓄金借入ノ件

一 縣稅徵收法施行細則中改正ノ件

一 地方稅賦課方法中改正ノ件

一 勸業資金貸附ノ件諮問

一 土木費特別補助ノ件諮問

一 土木費支辦法中改正ノ件諮問

一 工事請負ノ件諮問

一 地所寄附ノ件

○三重縣告示第百八十三號 廿九年十二月廿九日
今般左記ノ者ハ頭書ノ通リ小學校教員免許狀ヲ授與セリ

小學校本科正教員

尋常小學校本科正教員

同 本科准教員

岡本英之助
西村 恭心
大河内 一郎

○三重縣告示第百八十四號 廿九年十二月廿九日

阿山郡壬生野村大字川東地内宮ノ井堰普通水利組合ヲ設置シ同村長ヲシテ管理セシム

○三重縣告示第百八十五號 廿九年十二月廿九日

奈良縣ニ於テ牛疫豫防ノ爲メ發布セシ縣令第六十七號中兵庫縣下ノ次へ和歌山縣下ノ五字追加ノ旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第百八十六號 廿九年十二月廿九日

奈良縣平群郡平群村大字西宮ニ於テ本月十六日飼牛一頭牛疫ニ罹リタル旨同縣ヨリ通知越セリ

○三重縣告示第百八十七號 廿九年十二月廿九日

明治三十三年(七月)本縣告示第八十九號ハ本年十二月三十一日限り之ヲ廢止ス

(參照) 明治三十三年(七月)本縣告示第八十九號抄錄

明治二十三年(七月)三重縣告示第八十九號抄錄

縣社以下神官試驗ノ儀ハ今般内務省伺濟別紙ノ通リ學階授與規則相定メ自今以後該規則及細則ニ據リ施行候旨皇典講究所幹事長櫻井能監ヨリ届出タリ(別紙略ス)

○三重縣令達全書第十一編

○自明治三十年一月二日
至全 年十二月三重縣令之部

○三重縣令第一號 三十年一月六日

明治廿九年度備荒儲蓄金取扱規則第二條第五項左ノ通改正ス

但シ此改正ハ明治廿九年七月以後ノ風害ニ罹リタルモノニモ適用ス(原達訂正左書略)

○三重縣令第二號 三十年一月廿六日

明治二十八年(十二月)本縣令第五十三號明治廿九年度地方稅賦課方法縣會ノ決議ヲ經テ

第十七條へ左ノ一號ヲ追加ス

十一 左ニ掲クル船車

耕作又ハ非常専用ノ船車

倉庫船並ニ船橋ノ組成又ハ橋梁ニ換へ渡場ノミニ用サレル船

本船附屬ノ傳馬船「バッテリー」船ノ類

育兒専用ノ車並ニ祭典専用ノ山車ノ類

船車製造人等所有ニ係ル販賣品

○三重縣令第三號 三十年一月二十六日

明治廿六年(二月)本縣令第六號縣稅徵收法施行細則第八條縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通り改

明治三十年一月 三重縣令

正ス

第八條 市町村長ニ於テ收入シタル税金ハ徵收期限後三日以内ニ納付スヘシ

○三重縣令第四號 三十年一月二十九日

現行土木費支辨法ニ定メタル地方稅補助ノ範圍外ニ屬スル市町村主權ノ道路橋梁及堤防ニシテ明治二十九年七月以降同年九月ニ至ルノ間ニ於ケル風水害ノ爲メ破壞流亡損傷等ヲ生シ之レガ臨時工事ヲ緊急ナリト認メ且其ノ工費町村地租ノ十分ノ四以上ニ達スルモノハ其超過額ニ限リ地方稅ヨリ補助スルコトアルヘシ

但本文町村負擔算定方ハ現行土木費支辨法ニヨリ地方稅ノ補助ヲ受クル工費負擔ヲ差繼クモノトス

○三重縣令第五號 三十年一月二十九日

明治二十九年七月以降同年九月ニ至ルノ間ニ於テ風水害ニヨレル市町村臨時工事ニ就テハ明治二十七年(十二月)本縣令第六拾五號土木費支辨法第三條第六項但書ハ之ヲ適用セ

○三重縣令第六號 三十年一月廿九日

市町村及其大字一區又ハ公共組合ニ於テ設置支持スル溜池井堰用悪水路樋管^{地方稅補助範圍外ノモノヲ云フ}ニシテ明治二十九年七月以降同年九月ニ至ルノ間ニ於テ風水害ニ罹リ決潰流亡毀損等ヲ生シ之レカ臨時工事費多額ヲ要シ其ノ負擔ニ堪ヘ難シト認ムルモノハ願ニ依リ地方稅別額

濟ニ屬スル資金ヨリ工費ノ全部又ハ一部ヲ貸付スルコトアルヘシ

○三重縣令第七號 三十年一月廿九日

明治三十年度地方稅係ル收入支出豫算縣會ノ決議ヲ經テ左ヲ通り相定ム

明治三十年度地方稅收入豫算

△印ハ朱書

一金八萬九千五百四拾六圓三錢八厘

地 租 割

△內

△金五拾五錢五厘

徵 收 過

此 譯

金五百六拾五圓五拾七錢四厘

市 分

金八萬八千九百八拾圓四拾六錢四厘八毛

町 村 分

但本年地租豫算高百拾六萬九千八百七拾貳圓

營 業 稅

一金四萬千八百六拾壹圓五錢

營 業 稅

此 譯

金三萬貳千六百三拾圓拾錢

商 業 稅

金九千貳百三拾圓九拾五錢

工 業 稅

一金八萬四千七百八拾四圓五拾四錢貳厘

雜 種 稅

明治三十年一月 三重縣令

此譯

金六百九圓	料理屋稅
金三圓六拾錢	芝居茶屋稅
金三千貳拾五圓貳拾錢	飲食店稅
金八百四圓五錢	湯屋稅
金千四百七拾五圓六拾四錢	理髮人稅
金六拾六圓五錢	遊藝師匠稅
金三百拾七圓三拾五錢	遊藝人稅
金三圓六拾錢	相撲稅
金五拾壹圓	俳優稅
金壹萬四千五百拾貳圓九拾錢	藝妓稅
金千四百貳拾六圓六拾錢	諸興行稅
金九拾五圓四拾五錢五厘	遊覽場所稅
金貳百三圓	遊技場稅
金九拾四圓八拾錢	遊人寄席稅
金六千九百貳拾七圓貳拾六錢	遊人寄席稅
金四萬七千貳百九拾九圓四拾五錢	遊人寄席稅

金貳千貳百五拾四圓二拾九錢五厘	水車稅
金貳百貳拾六圓八拾錢	乘馬稅
金貳千五拾八圓八拾錢	屠畜稅
金貳千八百八拾八圓五拾四錢	漁業稅
金壹圓四拾錢	採礦稅
金百貳拾八圓	自轉車稅
金九拾八圓七拾錢	筏乘稅
金貳圓八拾五錢	西洋形蒸氣船稅
金五拾五圓九拾錢	西洋形帆船稅
金千貳百拾四圓貳拾錢貳厘	日本形船積石以上稅
金壹萬千五百五拾五圓貳拾八錢	營業稅附加稅

此譯

金九百九拾三圓五拾壹錢壹厘
但本年度營業稅豫算高五千八百七拾八圓七拾六錢壹厘
 市

金壹萬五百六拾壹圓七拾六錢九厘
但本年度營業稅豫算高五萬貳千八百八圓八拾四錢六分
 町

一金二萬九千百拾八圓九拾錢貳厘
但本年度營業稅豫算高五萬貳千八百八圓八拾四錢六分
 村

戶數割

此 譯

金千七拾五圓五拾九錢

市 戶數 五千六百六拾一分

金三萬八千四拾三圓三拾壹錢貳厘

町 村 戶數 十六萬六千二百二十八戶

一 金拾萬三千九百三拾七圓三拾八錢六厘

雜 收 入

此 譯

金千貳拾壹圓九拾貳錢八厘

警察 費 雜 入

金三百貳拾壹圓七拾三錢

警察廳舍建築修繕費雜入

金千八百三拾六圓五拾七錢七厘

土木 費 雜 入

金貳圓五拾錢

縣會議諸費雜入

金五拾三圓四拾九錢三厘

衛生及病院費雜入

金六千三百拾九圓三拾錢壹厘

教育 費 雜 入

金五拾壹圓六拾九錢三厘

郡廳舍建築修繕費雜入

金九拾五圓六拾六錢八厘

郡吏員給料旅費及廳中諸費雜入

金五拾錢

諸達書及揭示諸費雜入

金百五拾九圓五拾九錢貳厘

勸業 費 雜 入

金三百四拾九圓四拾壹錢三厘

縣廳舍建築修繕費雜入

金貳萬四百九拾八圓九拾三錢壹厘

縣監 獄 費 雜 入

金貳千二百九拾八圓九錢

縣監獄建築修繕費雜入

金七萬八百七圓七拾七錢

地所物件賣却代

一金六百拾貳圓四拾八錢四厘

貸座敷娼妓賦金

此 譯

前々年度繰越金

金六百拾壹圓拾八錢四厘

地 方 稅

金壹圓三拾錢

監獄費中慈惠費ニ充ツヘキ分

一金壹萬七千五百五拾三圓八拾五錢六厘

國庫 下 渡 金

一金貳拾貳圓

集治監ニ入ルヘキ囚徒費

一金貳百九拾五圓

寄 附 金

合計金三拾八萬九千貳百八拾六圓五拾三錢八厘

△內

△金五拾五錢五厘

徵 收 過

○明治三十年度地方稅支出豫算

一金拾萬四千九百八拾五圓八拾五錢四厘

警 察 費

△內
 △金八萬七千貳百七拾七圓五拾三錢七厘
 △金壹萬七千四百五拾五圓五拾錢七厘
 △金貳百五拾貳圓八拾壹錢

地方稅
 國庫下渡金
 請願巡查費

此譯

金六萬四千貳拾九圓六拾錢
 金貳萬五千八百五拾八圓貳拾貳錢七厘
 金壹萬三千五百九拾八圓貳錢七厘
 金千五百圓
 一金五百九拾圓九錢五厘

俸給
 雜給
 廳費
 警察機密費
 警察廳舍建築修繕費

△內

△金四百九拾壹圓七拾四錢六厘
 △金九拾八圓三拾四錢九厘

地方稅
 國庫下渡金

此譯

金五百九拾圓九錢五厘
 二金五萬五百三拾貳圓五拾八錢六厘

修繕費
 土木費

此譯

金壹萬四千七百五拾三圓五拾貳錢五厘
 金貳萬四千五百七拾七圓六拾壹錢五厘
 金壹萬千貳百壹圓四拾四錢六厘
 一金壹萬四千貳百九拾圓貳拾壹錢六厘
 一金五千九百六圓五拾三錢五厘

道路橋梁費
 治水堤防費
 雜費
 市町村土木補助費
 縣會議諸費

此譯

金貳千貳百七圓四拾錢
 金三千三百四圓九拾錢
 金三百九拾四圓貳拾三錢五厘
 一金壹萬九千百拾六圓四拾七錢三厘

俸給
 雜給
 衛生及病院費

此譯

金千百貳拾壹圓貳拾五錢三厘
 金壹萬三千九百拾八圓三拾八錢
 金四百七拾三圓七拾四錢
 金三千六百三圓拾錢
 一金三萬五千四百貳拾三圓六拾六錢五厘

衛生費
 徵毒病院費
 傳染病豫防費
 檢徵費
 教育費

此譯

金貳萬貳千九百三拾二圓七拾錢五厘

金壹萬九百五拾九圓拾七錢

金貳百拾七圓拾錢

金三百拾三圓六拾九錢

一金九千三百五拾三圓七拾三錢

△內

△金九千五拾八圓七拾三錢

△金貳百九十五圓

此譯

金九千百三拾三圓四拾七錢三厘

金貳百貳拾圓貳拾五錢七厘

一金四万七千六百三拾圓九拾四錢

此譯

金貳萬七千四百六拾八圓

金壹萬九百七圓四拾壹錢

金九千貳百五拾五圓五拾三錢

一金四百六拾圓

尋常師範學校費

尋常中學校費

學事諸費

小學校教員檢定并教科用圖書審查費

郡廳舍建築修繕費

地方附金

寄附金

建築費

修繕費

郡吏員給料旅費及廳中諸費

俸給

雜給

應給

救育費

一金五圓七拾錢

一金五百六拾五圓貳拾四錢八厘

此譯

金五百四十五拾錢八厘

金六拾四圓七拾四錢

一金六千貳拾七圓八拾五錢貳厘

一金九千百六拾四圓七拾四錢三厘

一金三百八拾九圓五拾五錢

此譯

金三百八拾九圓五拾五錢

一金七萬三千六拾圓五拾貳錢四厘

△內

△金七万三千三拾九圓三拾錢三厘

△金三拾一圓貳拾貳錢壹厘

此譯

金貳萬千七百五拾六圓三拾錢

金九千二百壹圓四拾五錢三厘

難破船諸費

諸達書及揭示諸費

諸達書費

揭示諸費

勸業費

地方稅取扱費

縣廳舍建築修繕費

修繕費

縣監獄費

地方稅

集治監ニ入ルヘキ囚徒費

俸給

雜給

金貳千八百五拾四圓貳拾八錢七厘 廳 費
 金三萬九千貳百四拾八圓四拾八錢四厘 在 監 人 諸 費
 一金千八百八拾三圓二拾四錢貳厘 縣 監 獄 建 築 修 繕 費
 △內
 △金千八百八拾貳圓五拾六錢三厘 地 方 稅
 △金七拾七錢九厘 集 治 監 二 入 ル ヘ キ 囚 徒 費
 此 譯
 金貳百五拾五圓四拾八錢三厘 建 築 費
 金九百貳拾七圓八拾五錢九厘 衆 議 院 議 員 撰 舉 費
 一金七拾四圓 市 稅 負 擔
 一金五千五百圓 土 木 費 借 入 金 償 却 費
 一金五千圓 豫 備 費
 合計金三拾八萬九千貳百八拾五圓九拾八錢三厘
 ○明治三十年度小學校教員恩給基金收入豫算
 一金貳千貳百五拾貳圓貳拾貳錢八厘 小 學 校 教 員 恩 給 基 金
 內

金千百貳拾六圓拾壹錢四厘 小 學 校 教 員 納 金
 金千百貳拾六圓拾壹錢四厘 市 町 村 納 金
 ○明治三十年度小學校教員恩給金收入豫算
 收 入
 一金千九拾圓九拾五錢三厘 小 學 校 教 員 恩 給 金
 內
 金五百貳拾七圓八拾九錢六厘 小 學 校 教 員 恩 給 基 金 利 子
 金五百六拾三圓五錢七厘 國 庫 給 與 金
 支 出
 一金八百八拾圓 小 學 校 教 員 恩 給 金
 內
 金貳百八拾圓 退 職 給 與 金
 金貳百六拾圓 扶 助 金
 金貳百四拾圓 退 隱 料
 金百圓 扶 助 料
 ○明治三十年度衛生資金收入豫算更正
 收 入
 (本年縣令第四十八號
 更正ノ分)

一金百四拾圓拾八錢八厘

內

衛生資金收入

金五圓

金百三拾五圓拾八錢八厘

公債證書利子
貸出金利子

支出

一金百四拾圓拾八錢八厘

衛生資金支出

內

金百四拾圓拾八錢八厘

痘病費

○明治三十年度病院資金收出豫算更正

(本年縣令第四十八號
更正ノ分)

收入

一金三百三圓六拾九錢

病院資金收入

內

金七圓五拾錢

公債證書利子

金貳百九拾六圓拾九錢

貸出金利子

支出

一金二百三圓六拾九錢

病院資金收出

金參百壹圓參拾五錢
金貳圓參拾四錢

公債證書購入代
雜費

○明治三十年度勸業資金收出豫算更正

(本年縣令第四十八號
更正ノ分)

收入

一金五千百六拾八圓七拾四錢貳厘

勸業資金收入

此譯

金千貳百五拾五圓

公債證書利子

金貳千貳拾四圓拾參錢七厘

貸出金利子

金千八百八拾九圓六拾錢五厘

明野勸農場雜收入

支出

一金五千百六拾八圓七拾四錢貳厘

勸業資金支出

此譯

金貳千四百八圓七拾參錢貳厘

明野勸農場費

金貳千七百五拾七圓六拾七錢

公債證書購入代

金貳圓參拾四錢

雜費

○三重縣令第八號 三十年二月三日

明治三十年度營業稅雜種稅課目課額縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通り相定ム

明治三十年度營業稅雜種稅課目課額

市ノ部

營業稅

年稅

一戶ニ付

金壹圓三拾五錢

工業

年稅

一人ニ付

金壹圓拾五錢

洋服仕立

三味線直シ

時計直シ

鏝職

佛佛彫刻

縫箱

上繪師

陶器繪師

籠甲細工

佛佛具師

杜氏職

蔣繪師

料理人

西洋菓子師

金七拾錢

二等

晒職

皮揉

印刷

表具師

指物職

疊刺

箔打

繪圖師

鍛冶職

石工

叩師

左官

煉積

大工

船工

車工

庭師

仕立

木造

塗工

鐵砲直シ

庭師

瓦立

洗濯

靴師

西洋洗濯

鑄物師

板屋根葺

洗張

靴師

金四十五錢

三等

木挽

柳

機織

本張綴

傘張

提燈張

煙草刻

卷煙草

紙漉

桶工

瓦工

煉化工

綿打

葺屋根葺

鋸目立

素麵職

染工

麴師

菓子師

陶器師

煙草入籠

フリッキ職

籠職

下駄職

竹細工職

形紙彫

樽材割

樟腦焚

櫛工

紙揉

四等

三等以上ノモノヲ除ク外諸工業

金參拾錢

雜種稅

料理屋

年稅

一戶ニ付

金四圓五拾錢

待合茶屋

月稅

一戶ニ付

金六拾錢

遊船宿

月稅

一戶ニ付

金四拾錢

芝居茶屋

月稅

一戶ニ付

金四拾錢

飲食店

年稅

一戶ニ付

金壹圓八拾錢

湯屋

年稅

一戶ニ付

金貳圓五錢

理髮人

月稅

一人ニ付

金拾錢

但下剃下梳ノミニシテ全業ヲナス能ハサルモノハ半額ヲ課稅ス

遊藝師匠	月	稅	一人ニ付	金三拾五錢
遊藝稼人	月	稅	一人ニ付	金五拾錢
一 等	年齡十五歲以上ノ者		一人ニ付	金五拾錢
二 等	年齡十五歲未滿ノ者		一人ニ付	金貳拾五錢
相撲(行司共)	月	稅	一人ニ付	金五拾錢
俳 優	月	稅	一人ニ付	金壹圓
一 等	年齡十五歲以上ノ者		一人ニ付	金五拾錢
二 等	年齡十五歲未滿ノ者		一人ニ付	金貳圓拾錢
幫 間	月	稅	一人ニ付	金貳圓拾錢
藝 妓	月	稅	一人ニ付	金貳圓拾錢
一 等	年齡十五歲以上ノ者		一人ニ付	金貳圓拾錢
二 等	年齡十五歲未滿ノ者		一人ニ付	金壹圓貳拾五錢
諸 興 行	日	稅	木戶錢大人四人分 棹代上等四分 但木戶錢ノ一方ヲ受クルモノハ木戶錢大人六人分ヲ課シ棹代ノ一方ヲ受クルモノハ其一方ニ就キ又棹ヲ設ケヌ場代ヲ受クルモノハ二人分ヲ一棹ト見做シ課稅ス	
遊覽所	日	稅	見料五人分	

遊妓場	月	稅	玉突大弓半弓揚 弓室內射的銃 吹矢投扇投毬 機關的ノ類	一ヶ所ニ付 一ヶ所ニ付 一ヶ所ニ付	金四拾五錢 金貳拾貳錢 金四拾五錢
人 寄 席	月	稅		一ヶ所ニ付	金四拾五錢
船	年	稅	船小廻船及五十石未滿日本形海船 但長三間以上一問ヲ加フル每ニ金貳拾錢ヲ增加ス 長三間以下 一 艘ニ付 金四拾錢	一 艘ニ付	金四拾錢
漁 船	年	稅	但長三間以上ヲ加フル每ニ金拾六錢ヲ增加ス 長三間以下 一 艘ニ付 金七拾九錢	一 艘ニ付	金七拾九錢
遊 船	年	稅	但長三間以上一問ヲ加フル每ニ金參拾九錢ヲ增加ス	一 艘ニ付	金七拾九錢
車	年	稅	二匹立以上馬車 一匹立馬車 二人乘人力車 一人乘人力車	一輛ニ付 一輛ニ付 一輛ニ付 一輛ニ付	金四圓六拾錢 金參圓拾錢 金貳圓七拾錢 金壹圓五拾錢

明治三十年二月

三重縣令

二〇

荷積大車	荷積尺積拾四坪以上	一輛ニ付	金壹圓五拾錢
荷積小車	荷積尺積拾四坪未滿	一輛ニ付	金七拾八錢
荷積牛車		一輛ニ付	金壹圓七拾錢
荷積馬車		一輛ニ付	金壹圓七拾錢
水車			
挽白		一白ニ付	金貳拾五錢
春白		一白ニ付	金拾四錢
製糸車		鍋十個ニ付	金八錢
紡績車		紡錘十個ニ付	金參錢五厘
乘馬	但水利ノ都合ニ依リ引續キ六ヶ月以上休業スルモノハ半額ヲ減ス	一頭ニ付	金壹圓六拾錢
屠畜	但農馬ト雖モ乘馬ニ兼用スルモノハ課稅ス		
牛		一頭ニ付	金九拾錢
馬		一頭ニ付	金六拾錢
羊豚ノ類		一頭ニ付	金四拾五錢
漁業		一人ニ付	金拾七錢

以下商業稅
三關スル部
六十年令第
分テ改更ノ

採掘	年稅	一人ニ付	金拾七錢
自轉車	年稅	一輛ニ付	金五拾錢
筏乘	年稅	一人ニ付	金貳拾五錢
西洋形蒸氣船	年稅	百噸ニ付	金拾貳圓六拾五錢
全風帆船	年稅	百噸ニ付	金八圓五拾錢
日本形船積石五十噸以上	年稅	百石ニ付	金壹圓七拾錢
營業稅	町村ノ部		
一等地	年稅	一戸ニ付	金壹圓參十五錢
桑名郡	桑名町		
河藝郡	神戸町		
飯南郡	松阪町		
度會郡	宇治山田町		
阿山郡	上野町		
名賀郡	名張町		
志摩郡	鳥羽町		
北牟婁郡	尾鷲町		

明治三十年二月

三重縣令

二二

二等地

南牟婁郡	木ノ本町	一戸二付	金壹圓五拾錢
桑名郡	益生村		
鈴鹿郡	龜山町		
河藝郡	一身田村		
安濃郡	新居町		
一志郡	久居町		
多氣郡	大淀村		
度會郡	神社町		
北牟婁郡	引本村	長島村	
三重郡	富洲原村	一戸二付	金壹圓
河藝郡	白子町	富田村	
一志郡	矢野村	戸木村	
飯南郡	西黒部村	田丸町	
飯南郡	東二見村	錦村	
度會郡	二郷村	相賀村	

三等地

四等地

桑名郡	赤須賀村	一戸二付	金九拾錢
員辨郡	大泉原村	阿下喜村	
三重郡	日永村	鹽濱村	
鈴鹿郡	關野町	菰野村	
河藝郡	上野村	椋本村	
一志郡	松ヶ崎村	若松村	
飯南郡	柿野村	玉垣村	
多氣郡	丹生村	東黒部村	
度會郡	大湊町	濱郷村	
阿山郡	東柘植村	相可村	
志摩郡	的矢村	濱島村	
北牟婁郡	三ノ瀬村	九鬼村	
南牟婁郡	荒坂村	新鹿村	
桑名郡	長島村	一戸二付	金八拾錢

員辨郡	梅戸井村	海藏村	櫻村	大矢知村
三重郡	小山田村			
鈴鹿郡	石藥師村			
安濃郡	藤水村			
一志郡	雲出村	倭村	豐田村	大三村
	米ノ庄村	中川村	鵠村	小野江村
	家城村	高茶屋村	天白村	川合村
	中原村	粥見村	花岡村	松江村
飯南郡	大河内村	大石村	港代村	宮ノ前村
	神戶村	射和村	漕代村	
	櫛田村			
多氣郡	齋宮村	五ヶ所村	島津村	宿田曾村
度會郡	小俣村	瀧原村	南海村	
北牟婁郡	吉津村			
六等	桂城村			
桑名郡	楠村	一戸二付	金七拾錢	多度村

員辨郡	深谷村	大山田村	城南村	伊曾島村
	木曾岬村			
	神田村	大長村	南石加村	七和村
	大泉村	笠田村	白瀬村	西藤原村
	東藤原村	治田村	北石加村	久米村
	稻部村	丹生川村	河原田村	常磐村
三重郡	川島村	四郷村	千種村	神前村
	三重村	内郡村	朝日村	川越村
	鷺川原村	羽津村	朝上村	竹永村
鈴鹿郡	縣村	下野村	國府村	榎尾村
	高津瀬村	莊野村	川崎村	加太村
	畫生村	神邊村	牧田村	
	井田川村	久間田村	天名村	高野尾村
河藝郡	栗真村	白塚村	豐津村	稻生村
	明里村	飯野村	一ノ宮村	箕田村
	大里村			
	河曲村			

安濃郡	片田村	塔世村	高宮村	神戸村
安東村	雲林院村	櫛形村	長野村	
安地村	河内村	高岡村	多氣村	
八幡村	本井村	八知村	伊勢地村	
川口村	本園村	阿坂村	七栗村	
波瀨村	下ノ川村	阿坂村	中栗村	
竹原村	太郎生村	宇氣郷村	稻葉村	
柳原村		神山村	川俣村	
松尾村	鈴止村	茅廣江村	森村	
伊勢寺村	波瀨村	三瀬谷村	明星村	
機殿村	川添村	中島村	東外城田村	
五ヶ谷村	上御絲村	豊濱村	柏崎村	
佐奈村	穂原村	神原村	七保村	
北濱村	大内山村			
城北村	宮本村			
小川郷村				

阿山郡	一之瀬村	四郷村	有田村	下外城田村
城南村	小田村	九柱村	府中村	
柄田村	新居村	河合村	玉瀧村	
西柘植村	長田村	中瀬村	島ヶ原村	
花ノ木村	山田村	藏持村	比奈知村	
阿保村	錦生村	猪田村	依那古村	
瀧川村	箕曲村	神戶村	古山村	
美濃波多村	花垣村			
上津村				
志摩郡	坂手村	安乘村	荅志村	磯部村
布施田村	甲賀村	御坐村	越賀村	
片田村	和具村	船越村	長岡村	
鏡浦村	加茂村	鵜方村	神明村	
船津村				
北牟婁郡	相野谷村	南輪内村	鵜殿村	尾呂志村
南牟婁郡	北輪内村	市木村	入鹿村	御船村
	阿田和村		有井村	飛鳥村

阿山郡	度會郡	飯南郡	安濃郡	河藝郡	鈴鹿郡	三重郡	員辨郡	桑名郡	七等地
友生村	御園村	朝見村	辰水村	野登村	坂下村	水澤村	立田村	山郷村	古濱村
布引村	西三見村	津田村	安西村	合川村	深伊澤村	保々村	十社村	野代村	野代村
三田村	內城田村	荻原村	草生村	白川村	白川村	中里村	桑部村	桑部村	桑部村
壬生野村	沼木村	大領內村	明合村	椿村	椿村	三里村	三里村	三里村	三里村

鐵砲直シ	車工	叩師	疊刺	晒職	二等	杜氏職	縫箔	洋服仕立	工業
庭師	左官	箔打	皮揉	上繪師	一人ニ付	蒔繪師	三味線直シ	一人ニ付	一等
瓦仕立	煉化積	繪圖師	印刷	料理人	金八拾五錢	西洋菓子師	時計直シ	金壹圓參十五錢	南牟婁郡
洗張	木造	鍛冶職	表具師	佛具師	佛具師	佛具師	陶器繪師	佛具師	北牟婁郡
靴師	塗工	石工	指物職	佛具師	佛具師	佛具師	蒔繪師	佛具師	志摩郡

西洋洗濯	鑄物師	一人ニ付	金五拾四錢
三 等	木 挽	機 織	本 綴
提燈張	煙草刻	卷煙草	紙帳 漉
瓦 工	煉化工	綿 打	藁屋根葺
素麵職	染 工	麴 師	菓子師
煙草入縫	ブリッキ職	籠 職	下駄職
形 紙	樽材割	樟腦焚	櫛 工
四 等	一人ニ付	金參拾五錢	紙 揉
三 等以上ノモノヲ除ク外諸工業			
料理屋	年 稅		
一 等 地	桑名町	一戸ニ付	金四圓五拾錢
三 重 郡	四日市町		
飯 南 郡	松坂町		
度 會 郡	宇治山田町		

阿山郡	上野町	一戸ニ付	金參圓五拾錢
二 等 地	桑名郡		
鈴鹿郡	龜山町	關 町	
河 藝 郡	新 戸 町	一身田村	
安 濃 郡	久 居 町	松ヶ崎村	
一 志 郡	鳥 羽 町		
志 摩 郡	名 張 町		
名 賀 郡	尾 鷲 町		
北 牟 婁 郡	木ノ木町		
南 牟 婁 郡	三 等 地	一戸ニ付	金貳圓五拾錢
桑名郡	長島村		
三 重 郡	菰野村		
河 藝 郡	白子町		
一 志 郡	矢野村		
多 氣 郡	相可村		

度會郡	神社町	田丸町
志摩郡	的矢村	
北牟婁郡	引本村	
南牟婁郡	荒坂村	
四等地	一戸ニ付	金貳圓
三等以上ヲ除クノ外各地		
待合茶屋	月 稅	一戸ニ付 金七拾錢
遊船宿	月 稅	一戸ニ付 金四拾五錢
芝居茶屋	月 稅	一戸ニ付 金四拾五錢
飲食店	年 稅	一戸ニ付 金壹圓八拾錢
一等地		一戸ニ付 金壹圓參拾錢
二等地		一戸ニ付 金九拾錢
三等地		一戸ニ付 金七拾錢
四等地		一戸ニ付 金貳圓參拾錢
湯屋	年 稅	一戸ニ付 金貳圓參拾錢
一等地		

料理屋ノ一等地	一戸ニ付	金壹圓八拾五錢
二等地	一戸ニ付	金壹圓參拾錢
三等地	一戸ニ付	金拾貳錢
同 三等地四等地		
但藥湯温泉及海水温浴ハ總テ一等地ノ稅額ヲ課ス		
理髮人	月 稅	一人ニ付 金拾貳錢
一等地		
料理屋ノ一等地二等地	一人ニ付	金八錢
二等地	一人ニ付	金四拾錢
同 三等地四等地		
但下制下梳ノミニシテ全業ヲナス能ハサルモノハ半額ヲ課稅ス		
遊藝師匠	月 稅	一人ニ付 金六拾錢
遊藝稼人	月 稅	一人ニ付 金參拾錢
一等地 年齡十五歲以上ノ者		一人ニ付 金六拾錢
二等地 年齡十五歲未滿ノ者		一人ニ付 金參拾錢
相撲(行司共)	月 稅	一人ニ付 金六拾錢

俳優 月 稅 一人ニ付 金壹圓貳拾錢

一等 年齡十五歲以上ノ者 一人ニ付 金六拾錢

二等 年齡十五歲未滿ノ者 一人ニ付 金貳圓五拾錢

藝妓 月 稅 一人ニ付 金貳圓五拾錢

一等地 年齡十五歲以上ノ者 一人ニ付 金貳圓五拾錢

二等 年齡十五歲未滿ノ者 一人ニ付 金壹圓五拾錢

桑名郡 桑名町 金壹圓五拾錢

三重郡 四日市町 金壹圓五拾錢

飯南郡 松坂町 金壹圓五拾錢

度會郡 宇治山田町ノ内宇治 金壹圓五拾錢

二等地 年齡十五歲以上ノ者 一人ニ付 金貳圓拾錢

一等 年齡十五歲未滿ノ者 一人ニ付 金壹圓參拾錢

一等地ヲ除ク外各地 諸興行 日 稅 木戶錢大人五人分粹代上等五粹分

但木戶錢ノ一方ヲ受クルモノハ木戶錢大人七人分ヲ課シ粹代ノ一方ヲ受クルモノハ其一方ニ就キ又粹ヲ設ケス場代ヲ受クルモノハ二人分ヲ一粹ト見做シ課稅ス

遊覽所 日 稅 見料六人分

遊技場 月 稅 玉突大弓半弓揚 一ヶ所ニ付 金五拾錢

一等 弓室內射的銃 一ヶ所ニ付 金貳拾五錢

二等 吹矢投扇投毬機 一ヶ所ニ付 金五拾錢

人寄席 月 稅 關的ノ類 一ヶ所ニ付 金五拾錢

年 稅 一ヶ所ニ付 金五拾錢

船 年 稅 船 一艘ニ付 金四拾六錢

解船小廻船及五十石未滿日本形海船 長三間以下 一艘ニ付 金參拾八錢

但長三間以上一間ヲ加フル毎ニ金貳拾參錢ヲ增加ス

漁船 長二間以下 一艘ニ付 金九拾錢

但長二間以上一間ヲ加フル毎ニ金拾九錢ヲ增加ス

遊船 長三間以下 一艘ニ付 金五圓五拾錢

但長三間以上二間ヲ加フル毎ニ金四拾五錢ヲ增加ス

車 年 稅 二匹立以上馬車 一輛ニ付 金五圓五拾錢

二匹立馬車	乘臺橫巾曲尺	一輛ニ付	金參圓六拾五錢
二人乘人力車	乘臺橫巾曲尺	一輛ニ付	金參圓拾壹錢
一人乘人力車	乘臺橫巾曲尺	一輛ニ付	金壹圓七拾四錢
荷積大車	荷臺尺積拾	一輛ニ付	金壹圓七拾四錢
荷積小車	荷臺尺積拾	一輛ニ付	金九拾錢
荷積牛車	四坪未滿	一輛ニ付	金壹圓九拾貳錢
荷積馬車	四坪未滿	一輛ニ付	金壹圓九拾貳錢
水車			
挽白		一白ニ付	金三拾錢
春白		一白ニ付	金拾六錢
製絲車		鍋十個ニ付	金拾錢
紡績車		紡錘十個ニ付	金四錢
乘馬	但水利ノ都合ニ依リ引續キ六ヶ月以上休業スルモノハ半額ヲ減ス	一頭ニ付	金壹圓八拾錢
屠畜	但農馬ト雖モ乘馬ニ兼用スルモノハ課税ス		

牛	稅金	一頭ニ付	金壹圓
馬	稅金	一頭ニ付	金七拾錢
羊豚ノ類	稅金	一頭ニ付	金五拾錢
漁業	稅	一人ニ付	金貳拾錢
採掘者	稅	一人ニ付	金貳拾錢
自轉車	稅	一輛ニ付	金六拾錢
筏乘	稅	一人ニ付	金三拾錢
西洋形蒸氣船	稅	百噸ニ付	金拾五圓
全風帆船	稅	百噸ニ付	金拾圓
日本形船	積石五十以上	百石ニ付	金貳圓

○三重縣令第九號 三十年二月三日
 明治三十年度地方稅賦課方法縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通り相定ム

地方稅賦課方法
 第一章 地租割

第一條 地租割ハ收入豫算ノ賦課定率ニ依リ徵收期末日現在ノ地租額ニ賦課ス

第二條 地租割ハ徵收期日後地租額ニ増減ヲ生スルモ追徵又ハ還付セス

第三條 備荒儲蓄金ヨリ地租ノ補助又ハ貸與ヲ受ケタルモノハ其地租額ニ當ル地租割ヲ課セス

第四條 地租割徵收期末日以前荒地ト成リ未タ地租免除ノ許可ヲ得サルモノト雖モ免租トナルヘキ土地ハ申立ニ依リ地租割ヲ免除スルコトアル可シ

第二章 營業稅雜種稅

第五條 營業稅雜種稅ハ別ニ定ムル課目課額ニ依リ營業稅法ニ依ル營業稅ノ賦課ヲ受ケサルモノニ之ヲ賦課ス

第六條 商業稅料理屋稅飲食店稅ハ課目課額ニ指定スル市町村ニ於テ其市町村內營業戶數ニ相當スル稅額ヲ以テ更ニ市町村會ノ議ニ付シ各戶ノ等級課額ヲ定ムヘシ市町村會ニ於テハ主トシテ賣上金收入金等ヲ標準トシ毎年三月三十一日ヲ限リ議定スヘシ其臨時徵收ニ係ルモノハ徵收期日ノ十五日前ヲ限リトス

但通常課額議定ノ際其課率ヲ臨時徵收ニ適用スルコトヲ議定スルヲ得

第七條 前條ニ依リ議定スル各戶ノ課額ハ左ノ制限ヲ超ユルヲ得ス
商。業。稅。 金。貳。圓。五。拾。錢。
物。品。販。賣。業。ノ。內。卸。賣。 金。三。圓。
席。貨。業。 金。三。圓。

本縣令
第六十號
以十號
分號令
更正

印。刷。業。 金。四。圓。
寫。真。業。 金。五。圓。
運。送。業。 金。六。圓。
旅。人。宿。業。 金。六。圓。
以上ヲ除クノ外

料。理。屋。稅。 金。三。圓。五。拾。錢。
飲。食。店。稅。 金。六。圓。五。拾。錢。

第八條 湯屋稅ハ土地ノ狀況ニ依リ第六條ヲ適用スルコトヲ得

第九條 市町村會ニ於テ各戶ノ等級課額ヲ定ムル營業ニシテ其課額決定以後新ニ開業スルモノハ其市町村所定ノ等級課額ヲ以テ賣上金若クハ收入金ノ見積額ニ依リ課稅ス但他ノ市町村ニ於テ其年度課額ノ決定シタル後轉任シタルモノハ仍ホ其決定額ニ依ル

市町村會ニ於テハ第六條ノ議定ヲ爲ス際新起營業者ニ課稅ノ爲メ等級課額決定ノ現營業者ニ比準シ每等級課額ニ對スル賣上金收入金ノ見積額ヲ議定スヘシ

第十條 物品ヲ製造シテ販賣スルモノハ單ニ商業稅ヲ課ス

第十一條 他人ノ依頼ヲ受ケ物品ヲ製造シ若クハ裝飾修理シテ其工料ヲ受クルモノ又ハ技術ヲ以テ備錢手間賃ヲ得ルモノハ家族ト弟子トヲ問ハス各工業稅ヲ課ス

但前條ニ依リ商業稅ヲ納ムルモノ及ヒ其ノ家族弟子(雇人ヲ)ニシテ其家ニ寢食スルモノ本條ノ業ヲ營ムモ工業稅ヲ課セス

第十二條 左ニ掲クルモノハ仍ホ商業稅ヲ課ス

一 諸請負ヲ業トスルモノ

二 一定ノ製造所ヲ設ケ他人ノ米麥ヲ精ケ其料金を受クルモノ及染物業

三 牛乳搾取場及畜鶏場

第十三條 本店ノ外別ニ支店又ハ出張所ヲ設ケ營業スルモノハ各別ニ課稅ス

但ヒニ露店ヲ出シ若クハ行商呼賣スルモノハ通シテ一戸ト爲シ課稅ス

第十四條 工業稅中ノ數業ヲ兼ヌルモノ及左ニ掲クルモノハ稅額ノ重キ一方ニ就テ課稅ス

一 遊藝師匠ニシテ遊藝稼人ヲ兼ヌルモノ

二 藝妓ニシテ遊藝師匠ヲ兼ヌルモノ

三 漁業ニシテ採藻ヲ兼ヌルモノ

第十五條 興行ノ人寄席ニ於テスルモノハ課稅セス

第十六條 年稅ヲ賦課スヘキ營業及物件ハ開起九月以前ニアルモノハ全額十月以後ニアルモノハ半額ヲ課シ其廢止九月以前ニアルモノハ半額十月以後ニアルモノハ全額ヲ課ス

第十七條 月稅ヲ賦課スヘキ營業ハ開業十五日以前ニアルモノハ全額十六日以後ニアル者ハ半額ヲ課シ廢業十五日以前ニアルモノハ半額十六日以後ニアルモノハ全額ヲ課ス

第十八條 左ニ掲クルモノハ營業稅雜種稅ヲ賦課セス

一 自家所得ノ農產物ニ製作ヲ加ヘ店舗ヲ設ケス販賣スルモノ

二 露店若クハ呼賣ノモノヲ以テ營業トスルモノ

三 工業或ハ漁業採藻者ニシテ十七歲未滿及六十歲以上ノモノ並ニ婦女

四 煙管々替及下駄草履直シ職

五 遊藝師匠遊藝稼人ニシテ盲目及ヒ自用ヲ辨スル能ハサル不具者

六 場所ヲ指定メサル視目鏡及吹矢投毬ノ類

七 老幼廢疾等ニシテ官ノ救助ヲ受クルモノ及赤貧者ニシテ市町村費ノ救助ヲ受クルモノ

八 納稅期日前水火風震ノ災害ニ罹リ家屋ヲ亡失シ又ハ納稅人死亡若クハ廢疾ニ罹リ

其業ヲ相續スルモノナクシテ廢業シタルモノ

九 製茶ニ從事スルモノ

左ニ掲クル船車

十 耕作又ハ非常專用ノ船車

倉庫船并ニ船橋ノ組成又ハ橋梁ニ換ヘ渡場ノミニ用ヰル船

本船附屬ノ傳馬船「バツテラ」船ノ類
育兒専用ノ車并ニ祭典専用ノ山車ノ類
船車製造人等所有ニ係ル販賣品

第十九條 他府縣在籍ノモノ本縣内ニ寓居又ハ旅宿シテ營業スルトキハ其在籍府縣へ納
稅濟ノ証ナキモノハ本法ニヨリ課稅ス

第三章 戶數割

第二十條 戶數割ハ收入豫算ノ賦課定ニ依リ率徵收期末日ニ於ケル現住各戸ニ賦課ス
但同居異業ノモノ及銀行會社ノ類ハ各一百ト見做ス

第二十一條 戶數割ハ其市町村内總戶數ニ負擔スル稅額ヲ以テ更ラニ市町村會ノ議ニ付シ
各戸ノ等級課額ヲ定ムルコトヲ得
前項ノ議定ハ毎年二月二十八日ヲ限リトス其臨時徵收ニ係ルモノハ徵收期日ノ十日前
ヲ限リトス

但通常課額議定ノ際其課率ヲ臨時徵收ニ適用スルコトヲ議定スルヲ得

第二十二條 前條ニ依リ等級課額ヲ設クル市町村ニ於テ等級課額決定以後徵收期以前増
加セシ戸數ハ一戸ノ定率額ヲ課ス

第二十三條 戶數割ハ徵收後戶數ニ増減ヲ生スルモ追徵又ハ還付セス

第二十四條 第十八條第七ハ戶數割ニモ適用ス

第四章 追徵

第二十五條 稅金ヲ逋脱シタル者ヲ發見スルトキハ其逋脱年間ノ稅金ヲ一時ニ追徵ス
○三重縣令第十號 三十年二月三日

明治三十年度備荒儲蓄金取扱規則縣會ノ決議ヲ經内務大藏兩大臣ノ認可ヲ得テ左ノ通り
相定ム

備荒儲蓄金取扱規則

第一章 管守

第一條 備荒儲蓄金ハ縣廳ニ於テ之ヲ保管ス
但現金ハ第五國立銀行ニ預ケ置クモノトス

第二章 支給

第二條 備荒儲蓄金穀ヲ支給シ及貸與スルモノハ左ノ各項トス

第一項 非常ノ凶荒不慮ノ災害(水火風震 流行病等)ニ罹リ自カラ生存スル能ハサル者ニハ男

一人一日玄米五合七十歳以上十五歳未満ノ女同四合ノ定メヲ以テ其被害ノ狀況ニ

依リ三十日以内ノ食料ヲ給ス

第二項 不慮ノ災害ニ罹リ家屋亡失墮倒シ自カラ小屋掛ヲ營ム能ハサル者ニハ左ノ

等級ニ依リ小屋掛料ヲ支給ス

但同居居住ノモノニハ給セズ

壹等

金七圓五拾錢

家屋全ク燒失流亡シタルモノ

貳等

金五圓

家屋燒失流亡又ハ壞倒スルモ尙小屋掛ヲ營ム用ニ充ツル幾何ノ古材ヲ存スルモノ
三等 金貳圓五拾錢

借屋居住ノモノニシテ一等二等ニ掲クル如キ場合ニ在テ他ニ身ヲ寄スル所ナキ者
尤一戸内ニ甲乙相借家ヲナス者ハ甲乙ヲ通シテ一戸分ヲ給ス

第三項 不慮ノ災害ニ罹リタル區域廣濶ナルトキハ左ノ制限ニ依リ十日以内ニ於テ
焚出米ヲ給シ又ハ假小屋等ヲ設ケ一時ノ急ヲ救フコトアルヘシ

但水災等ニシテ其害十日以上ニ及フトキハ尙十日以内繼續スルコトアルヘシ
焚出ノ米額ハ一人一日白米三合五勺トシ男女老幼其雜費ハ一人一日金壹錢以内ト
ス

焚出米ノ給與ヲ受ケタルモノハ更ニ食料ヲ請フトキハ第一項ニ照シ焚出米ヲ給シ
タル日數ヲ扣除シ其残り日數ノ食料ヲ支給ス

假小屋等ノ費用ハ一戸金貳圓五拾錢以内トス
第四項 不慮ノ災害ニ罹リ農具ヲ失ヒ購求スル能ハサル者ニハ罹災當時ニ必要ナル

農具ノ料金ヲ給ス

但其金額ハ種穀料ヲ合シ金貳拾圓以内トス

第五項 播種ノ季節ニ際シ不慮ノ災害ニ罹リ種穀ヲ失ヒ植付ニ着手スル能ハサル者
ハ其耕作ノ反別ニ應シ種穀料ヲ給ス

但其金額ハ農具料ヲ合セ金貳拾圓以内トス

第六項 地租ヲ補助シ及貸與スルモノハ罹災ノ爲メ土地及居住ノ家屋ヲ賣却スルニ
アラサレハ完納スル能ハサルモノニ限ル

第三條 第二條第一項ノ米代金ハ前月ノ下米相場ニ全第五項ノ種穀代ハ上米相場(一升ハ玄米ノ割)
ニ依リ第四項ノ農具料ハ下等品ノ代價ニ依ル

第三章 請願

第四條 食料小屋掛農具料種穀料ノ支給ヲ請フモノハ罹災ノ實況ヲ具シ二十日以内ニ
市町村長ニ差出シ市町村長ハ其事實ヲ証明シ郡市長ハ事實ヲ審査シ之ニ意見書ヲ付シ知
事ニ差出スヘシ

但食料農具料種穀料ヲ請フ時ハ市町村長ニ於テ任譯書ヲ作り願書ト共ニ差出スヘシ
尤第二條第一項第三項ノ場合ニ於テ急施ヲ要シ縣廳ニ稟請スル違ナキトキハ直ニ郡
市長ニ於テ施行ニ着手シ同時ニ其旨縣廳ニ具狀シ指揮ヲ請フコトヲ得

第五條 第二條第六項地租ノ補助貸與ヲ出願スルモノハ其罹災ノ實況ヲ具シ市町村長ニ

差出シ市町村長ハ其ノ事實ヲ証明シ又郡市長ハ資産ノ有無等詳細取調意見書ヲ付シ知事ニ差出スヘシ知事ニ於テハ官吏ヲ實地ニ派遣シ之ヲ檢査ヲナシ其金額ヲ定ムルモノトス

但貸與ハ知事ニ於テ其返納年限ヲ定メ借用証書ヲ差出サシム

第四章 貸與金返納

第六條 貸與金返納年限ヲ定ムル左ノ如シ

- 地租ノ全額ヲ貸與セシモノ 十ヶ年賦
- 同九分以上ヲ貸與セシモノ 九ヶ年賦
- 同八分以上ヲ貸與セシモノ 八ヶ年賦
- 同七分以上ヲ貸與セシモノ 七ヶ年賦
- 同六分以上ヲ貸與セシモノ 六ヶ年賦
- 同五分以上ヲ貸與セシモノ 五ヶ年賦

以下此割ニ倣ヒ順次一ヶ年遞減ス

第七條 貸與ノ年賦金額ハ毎年三月三十一日限リ上納スヘシ

第八條 貸與金返納未済ノモノ死亡跡相續又ハ生存者ノ家督相續ニ係ルトキハ貸與金返納証書ノ書換ヲナスヘシ

第九條 貸與金返納期限内ニ於テ一時返納ヲ請願スルトキハ九月前後ノ區分ヲ以テ元高

ハ半年或ハ全年五分利引ノ計算ヲ以テ本額ヲ減シ返納セシムヘシ

第十條 年賦返納期限内ニ其土地ヲ賣却スルトキハ貸與ノ金額ヲ一時ニ返納スヘシ

但シ本條ノ場合ニ於テモ第九條ノ例ニヨリ利引ノ計算ヲ以テ本額ヲ減シ返納セシムヘシ

第十一條 貸與金返納未済中再ヒ罹災ノ爲メ貸與ヲ受クル者ハ其年以後舊割賦ノ返納未済金ヲ棄損スル者トス

第五章 利殖

第十二條 備荒儲蓄金ヨリ生スル收入金ノ内其年度ノ經費ヲ除キ其餘ノ金員ハ總テ利付公債証書ヲ購入スヘシ

第六章 雜則

第十三條 公債証書購入若クハ交換ニ關スル雜費即チ送金及証書購入又ハ交換ノ手数料通信料運搬費新聞紙公告料等及第四章第九條第十條ニ係ル利引額同第十一條ノ棄損金並ニ公債証書當籤又ハ賣却ニ係ル損金ハ備荒儲蓄金ノ内ヨリ支出スルモノトス

第十四條 非常ノ災害ニ罹リ支給ノ金員多額ヲ要シ又ハ土木費貸出シ等ノ場合ニ於テ收入金ヲ以テ支辨スル能ハサルコトアルトキハ其要スヘキ金額ニ應シ既ニ貯藏スル所ノ公債証書ヲ賣却スルモノトス

○三重縣令第十一號 三十年二月三日

明治二十年度備荒儲蓄金收出豫算縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通り相定ム

明治三十年度備荒儲蓄金收出豫算

一金五萬四千貳百拾圓四拾七錢五厘

收入高

内譯

金四拾七錢五厘

地租貸與返納金

金五萬四千貳百拾圓

益金

一金五萬四千貳百拾圓四拾七錢五厘

支出高

内譯

金貳千五百四拾貳圓六拾五錢參厘

救助費

金參拾貳圓參拾壹錢九厘

地租貸與

金七拾壹圓五拾四錢五厘

儲蓄費

金五萬五千五百六拾參圓九拾五錢八厘

公債証書買入代

○三重縣令十二號 三十年二月三日

明治三十一年度請願巡查費徵收法縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通り相定ム

請願巡查費徵收法

明治三十年度請願巡查費ハ巡查一人ニ對シノ額ヲ徵收ス

但請願期限一ケ年ニ滿タルモノハ被服費并備品新調費ヲ除クノ外月割ヲ以テ計算ス

旅給

金百拾貳圓四拾錢(本年縣令第四十三號ヲ以テ點分改正)

給助賜金

實際往復ノ日數及里程ニ依ル

勉勵賜金

金四圓四拾壹錢

被服費

金九拾六錢五厘

備品費

金拾五圓參拾九錢貳厘

消耗品費

金壹圓貳拾參錢八厘

但新ニ請願スルモノハ本額ノ外尙備品新調費トシテ金參圓四拾七錢四厘ヲ加フ

○三重縣令第十三號 三十年二月三日

明治二十六年(二月)三重縣令第六號縣稅徵收法施行細則第十六條縣會ノ決議ヲ經テ左ノ

通り改正ス

第十六條 市町村徵稅費ハ前期分ハ其年十月五日迄ニ後期分ハ翌年四月五日迄ニ請求書

ヲ作リ町村長ハ郡長ニ市長ハ知事ニ差出スヘシ

郡長ハ前項町村長ノ請求書ニ據リ更ニ別一町村ノ仕譯書ヲ作リ其月十五日以内ニ知事

ニ差出スヘシ

○三重縣令第十四號 三十年二月九日

明治二十六年(三月)三重縣令第三十號第二條ハ休職滿期ニ依リ退職シ及校務ノ伸縮ニ依

リ退職ヲ命シタル場合ニモ適用ス

明治三十年二月 三重縣令

明治三十年二月 三重縣令

五〇

退隱料ハ本職最終ノ俸額ニ依リ之ヲ算定ス
 ○三重縣令第十五號 三十年二月十六日
 明治廿七年(三月)本縣令第二十五號ヲ以テ採定シタル小學校教科用圖書ノ内左記ノ圖書
 ハ成規ノ手續ヲ經テ其定價ヲ變更シタルニ付明治廿九年文部省令第十一號ニ依リ文部大
 臣ノ許可ヲ受ケ更ニ審査ヲ要セス仍採定ノ効力ヲ有セシム

尋常小學校用

圖書名	卷冊	檢定年月日	著譯編述者	發行者	從前ノ定價	今般變更ノ定價
尋常小學修身書 生徒用	全四冊	明治二十六年 八月十九日	伯爵 東久世通禧	西澤之助	〇三二二	〇三二二
同 教師用上	全四冊	明治二十七年 三月十日	同	同	〇四八〇	〇五七六
尋常小學修身書 生徒用	全四冊	明治二十六年 八月十九日	重野安釋	八尾新助	〇二六〇	〇三二二
同 教師用上	全四冊	同	同	同	〇四八〇	〇五七六
同 教師用上	全四冊	同	八尾編輯所	同	〇五〇〇	〇六〇〇

尋常小學修身書 生徒用	全八冊	明治二十六年 八月二十四日	井上頼園	坂上半七	〇四九〇	〇五八八
聖旨道德 尋常小學修身書 生徒用	全四冊	明治二十六年 九月十八日	教育學館	大日本圖書 株式會社	〇三二五	〇三八四
同 教師用上	全四冊	同	同	同	〇七二〇	〇八六〇
帝國讀本	全八冊	同	學海指針社	小林八郎	〇六七五	〇八一〇
讀書入門	全一冊	文部省 編輯局	文部省	〇〇四二	〇〇五〇
尋常小學讀本	全七冊	同	同	〇五三五	〇六四二
小學國文讀本	全八冊	明治二十六年 十月三日	山縣悌三郎	小林義則	〇六五〇	〇七八〇
單級 小學尋常日本讀本	全八冊	明治二十六年 九月十八日	渡邊政吉	金港堂書籍 株式會社	〇六五〇	〇七八〇

明治三十年二月 三重縣令

五一

尋常小學習字帖	尋常小學算教科書	日本地理初歩	日本地理大要	高等小學校用			圖書名	卷冊	檢定年月日	著譯編述者	發行者	從前定價	今般變更定價
全八冊	全九冊	全三冊	全三冊	全四冊	全四冊	全四冊	全八冊	全四冊	全四冊	全四冊	全八冊	全四冊	全四冊
明治二十六年十二月廿三日	明治二十六年十二月廿八日	明治二十六年八月二十九日	明治二十四年九月二十八日	明治二十六年八月十九日	明治二十七年一月十七日	明治二十七年一月十七日	明治二十七年一月十六日	明治二十六年八月十九日	明治二十六年八月十九日	明治二十六年八月十九日	明治二十六年八月十九日	明治二十六年八月十九日	明治二十六年八月十九日
香川 熊藏	竹貫登代多	學海指針社	田中 登作	重野 安釋	東久世通禧	伯爵	井上 賴因	重野 安釋	重野 安釋	東久世通禧	西澤之助	西澤之助	西澤之助
坂上 半七	白井 練一	小林 八郎	辻 太	八尾 新助	西澤之助	西澤之助	坂上 半七	八尾 新助	八尾 新助	西澤之助	西澤之助	西澤之助	西澤之助
〇三五〇	〇三六〇	〇一九〇	〇二四〇	〇四四〇	〇三八八	〇三八八	〇五八〇	〇四四〇	〇四四〇	〇三八八	〇三八八	〇三八八	〇三八八
〇四二〇	〇四三二	〇二二八	〇二八五	〇五二八	〇四六四	〇四六四	〇六九六	〇五二八	〇五二八	〇四六四	〇四六四	〇四六四	〇四六四

末松修身女訓	同 教師用上	新編高等日本讀本	高等讀本	新編高等小學讀本	高等小學習字帖	日本地理初歩
全四冊	全四冊	全八冊	全八冊	全八冊	全八冊	全二冊
明治二十六年九月十八日	明治二十七年一月十六日	明治二十六年九月十八日	明治二十七年四月十日	明治二十七年三月十七日	明治二十六年十二月廿三日	明治二十六年八月十九日
末松 謙澄	同 上	三宅 米吉	山縣悌三郎	育英 舍	香川 熊藏	學海指針社
末松 謙澄	同 上	金港堂書籍株式會社	小林 義則	坂上 半七	坂上 半七	小林 八郎
〇〇四〇	〇五〇〇	一三〇〇	一三〇〇	一二〇〇	〇四五〇	〇二八〇
〇四八〇	〇六〇〇	一五六〇	一五六〇	一三三〇	〇五四〇	〇三三六

高等科 復習用 日本地理	全一冊	明治二十七年 一月十七日	同	上	同	上	○二四〇	○二八八
小學校用 日本地理 甲種	全一冊	明治二十七年 一月十六日	三宅	米吉	金港堂書籍 株式會社	上	○二三〇	○二七六
同 乙種	全一冊	同	同	上	同	上	○二四〇	○二八八
同 補習	全一冊	同	同	上	同	上	○一六〇	○一九二
萬國地理 初步	全二冊	明治二十七年 一月十七日	學海指針社	小林	八郎	上	○二九〇	○三四八
小學校用 外國地理	全一冊	明治二十七年 一月十六日	三宅	米吉	金港堂書籍 株式會社	上	○一六〇	○一九二
小學校用 日本歷史 前編	全三冊	明治二十七年 一月十六日	同	上	同	上	○二八〇	○三三六
同 後編	全四冊	同	同	上	同	上	○五〇〇	○六〇〇

高等 外國 史	全三冊	明治二十七年 三月十二日	伯爵 東久世通禧	西澤之助	○五七〇	○六八四
日本 歷史 初步	全二冊	明治二十七年 一月二十四日	天野 爲之	小野英之助	○二六〇	○三一二
小學理科 新書 甲種 生徒用	全四冊	明治二十六年 十月十九日	學海指針社	小林 八郎	○四九〇	○五八八
同 教師用	全四冊	同	同	上	一〇〇〇	一二〇〇
小學 理科 生徒用	全四冊	明治二十七年 三月十七日	西村正三郎	辻 太	○五八〇	○六九〇
初等 農學	全三冊	明治二十六年 十二月十五日	橫井 時敬	大日本圖書 株式會社	○三二〇	○三八〇
商業 新書	全三冊	明治二十七年 三月一日	山本邦之助	小林 八郎	○三九〇	○四六八

農業新書	全二冊	明治二十七年六月十四日	諏訪 鹿三	小林 八郎	〇三六〇	〇四三二
高等小學修身書 教師用	全四冊	明治二十七年七月二十五日	伯爵 東久世通禧	西澤之助	一〇〇〇	一二〇〇

尋常小學校補習科用

圖書名	卷冊	檢定年月日	著譯編述者	發行者	從前ノ定價	今般變更ノ定價
尋常科 補習用 帝國讀本	全四冊	明治二十七年三月三十一日	學海指針社	小林 八郎	〇五五〇	〇六六〇
小學校補習讀本	全四冊	明治二十六年九月十八日	福地 復一	辻 太	〇五〇〇	〇五九〇
小學校 日本史談 甲種	全二冊	明治二十六年九月十八日	黒木 安雄	小林 八郎	〇二六〇	〇三一二

○三重縣令第十六號 三十年二月廿三日

明治二十六年(平二月)三重縣令第九十五號小學校校長及教員任用解職其他進退ニ關スル細則中左ノ通改正ス

第一條 郡市長ニ於テ市町村立小學校教員ヲ推薦スルトキハ左ノ事項ヲ記載シテ上申ス

ヘシ

一 本人ノ住所氏名年齢并履歴

二 學校名

三 本人勤務ノ區別

但專科教員ハ其ノ教授スヘキ教科目及學級

第二條 專科教員及補助教授スル本科准教員ヲ推薦スルトキニ當リ其ノ俸給額未タ確定

セス又ハ其ノ確定額ヲ超過スル場合ニ在リテハ市長ニ於テハ市參事會郡長ニ於テハ町

村長ノ意見ヲ徵シ前條上申書ニ添付スヘシ

本令ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○三重縣令第十七號 三十年二月廿三日

明治二十五年(二月)三重縣令第三十六號小學校校長及教員職務及服務細則第九條ニ左ノ一項ヲ追加ス

疾病ニテ缺勤二週日間ヲ過クルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添へ學校長ニ在リテハ市町村長

ニ教員ニ在リテハ學校長ニ届出テ爾後二週日間毎ニ同様届出ツヘシ

○三重縣令第十八號 三十年二月廿三日

本年勅令第二號實施ニ就テハ小學校專科教員及補助教授スル本科准教員ノ俸給額ハ明治

三十年四月一日現在支給ノ俸給額ヲ以テ同令第五條ノ手續ヲ經タルモノト同視シ之ヲ確定ス

○三重縣令第十九號 三十年二月廿二日

本年(二月)文部省令第一號同第二號ニ依リ市町村立小學校及同補習科ニ於テ學級編制若クハ變更ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ例ニ依ルヘシ

一 小學校ニ於テ學級ヲ編制セントスルトキハ其ノ學年ノ始メ各學級ニ編制スヘキ學年別及其ノ人員ヲ詳記シ毎年四月一日以前ニ於テ許可ヲ受クヘシ

二 小學校補習科ニ於テ學級ヲ編制シ及教員ヲ配置セントスルトキハ其ノ學年ノ始メ各學級ニ編制スヘキ學年別及其ノ人員并配置スヘキ教員ノ資格員數ヲ詳記シ毎年四月一日以前ニ於テ許可ヲ受クヘシ

三 第一項第二項ニ依リ學級編制及教員配置ノ許可ヲ受ケタル後之ヲ變更セントスルトキハ第一項第二項ニ準シ其ノ事由ヲ詳記シ其ノ都度許可ヲ受クヘシ

四 第一項第二項ニ依リ學級編制及教員配置ノ許可ヲ受ケタル後學級ニ變更ナキモ人員ニ異動ヲ生シタル場合ニハ其ノ事由ヲ詳記シ其ノ都度市町村長ヨリ知事ニ上申スヘシ(三十年縣令第四十號ヲ以テ本項追加)

五 明治二十四年(十一月)文部省令第十二號第二條第一項第一款及第三條第一項第一款ニ依リ學級ヲ編制スルトキハ其ノ學年ノ始メニ於テ各學年及其ノ人員ヲ詳記シ毎年

四月一日以前市町村長ヨリ知事ニ上申スヘシ

六

市町村立小學校補習科ノ教授時間ヲ通常教授時間外ニ定ムルノ許可ヲ受ケタルモノニシテ其ノ學級ヲ編制シ及教員ヲ配置スルトキハ其ノ學年ノ始メ各學級ニ編制スヘキ學年別及其ノ人員并配置スヘキ教員ノ資格員數ヲ詳記シ毎年四月一日以前市町村長ヨリ知事ニ上申スヘシ(三十年縣令第四十號ヲ以テ本項追加)

○三重縣令第二十號 三十年二月廿六日

明治二十九年年度地方稅收入追加豫算ニ係ル地租割戸數割中左ニ記載スル分ハ明治三十年度地租割戸數割前期納期ニ於テ之ヲ徵收ス

明治廿八年(十二月)縣令第五十一號ニ係ル半額

明治二十九年(五月)縣令第廿一號ノ全部

同年(十二月)縣令第四十八號ノ全部

○三重縣令第二十一號 三十年二月廿六日

明治廿七年(二月)本縣令第二十五號ヲ以テ採定シタル小學校教科用圖書ノ内左記ノ圖書ハ成規ノ手續ヲ經テ其定價ヲ變更シタルトモ明治二十九年文部省令第十一號ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ受ケ更ニ審査ヲ要セス仍採定ノ効力ヲ有セシム

尋常小學校用

圖書名	卷冊	檢定年月日	著譯編述者	發行者	從前ノ定價	今般變更ノ定價
初等日本歷史	全二冊	明治二十六年九月十六日	今泉 定介	大橋新太郎	〇一六〇	〇一九〇
小學新習畫帖	共四冊	同八月二十三日	角井 厚吉	三浦 源助	〇二九〇	〇三四八
實用毛筆畫	共八冊	明治二十七年三月八日	松原三五郎	石井鈎三郎 水口龍之助	〇五四〇	〇六四八
高等小學校用						
圖書名	卷冊	檢定年月日	著譯編述者	發行者	從前ノ定價	今般變更ノ定價
小學新習畫帳	共四冊	明治二十六年八月廿三日	角井 厚吉	三浦 源助	〇三六〇	〇四三二
實用毛筆畫	共八冊	明治二十七年三月八日	松原三五郎	石井鈎三郎 水口龍之助	〇六二〇	〇七四四
小學簿記學	全一冊	明治二十六年八月廿九日	森島脩太郎	金港堂書籍 株式會社	〇一八〇	〇二〇〇

尋常小學校補習科用

圖書名	卷冊	檢定年月日	著譯編述者	發行者	從前ノ定價	今般變更ノ定價
初等日本地理	全一冊	明治二十六年九月廿八日	山崎 彦八	大橋新太郎	〇一二〇	〇一四〇

○三重縣令第二十二號 三十年三月十六日
 明治二十九年(六月二十日)本縣令第二十六號ハ廢止ス(改訂)
 ○三重縣令第二十三號 三十年三月廿六日
 本年(二月)三重縣令第二十號ニ係ル明治二十九年地方稅收入追加豫算地租割戶數割ノ徵收期左ノ通變更ス

徵收期限

明治三十年三月二十一日ヨリ同月三十一日限
 ○三重縣令第廿四號 三十年三月廿六日
 明治二十六年(二月)三重縣令第十六號地方稅徵收期限第一條第一號及ヒ同第二條左ノ通改正ス
 但明治三十年度前期分ニ係ル營業稅雜種稅及營業稅附加稅ハ七月二十一日ヨリ同月三

十一日限リトス

第一條

前期 四月一日ヨリ同月十日限

第二條 營業稅雜種稅ノ年稅ニ係ルモノ及ヒ營業稅附加稅ハ二期ニ區分シ每期半額ヲ徵收ス其期限左ノ如シ

前期 五月三十一日ヨリ同月三十一日限

後期 十一月三十一日ヨリ同月三十一日限

○三重縣令第二十五號 三十年三月廿六日

明治二十三年(一月)三重縣令第一號娼妓貸座敷賦金規則第一條中貸座敷賦金左ノ通り改正シ來ル四月一日ヨリ施行ス

第一項

一等場所 貸座敷一ヶ月金三圓七拾五錢

二等場所 金參圓拾五錢

三等場所 金貳圓五拾錢

四等場所 金壹圓八拾五錢

第二項

一等場所 娼妓一人ニ付金貳拾錢

二等場所	全	金拾五錢
三等場所	全	金拾貳錢
四等場所	全	金拾錢

○三重縣令第廿六號 三十年三月廿六日

明治二十九年度土木費并ニ市町村土木補助費ニ關スル出納規程左ノ通相定ム

第一條 明治二十九年度土木費并ニ市町村土木補助費ニ屬スル收入支出ニ關スル事務ハ九月三十日迄ニ完結スヘシ

第二條 前條土木費并ニ市町村土木補助費ヲ精算シテ仕拂命令ヲ發スルハ八月三十一日限リトス

第三條 前條ニ依リ發シタル仕拂命令ノ執行期限ハ命令發行ノ日ヨリ十日間トス

第四條 土木費并ニ市町村土木補助費ニ屬スル收入支出ヲ縣金庫ニ於テ出納スルハ九月十日限リトス

第五條 內務部第二課ニ於テハ九月三十日迄ニ前條收入支出ニ屬スル決算書ヲ調製シ內務部第四課へ送付スヘシ

第六條 內務部第四課ニ於テ調製スヘキ明治二十九年地方稅收入支出精算報告書ハ十月十五日迄ニ知事ノ裁定ヲ受クベシ

第七條 前各條規定ノ外ハ明治二十八年縣令第九號地方稅會計規則ニ依ル

○三重縣令第廿七號 三十年三月廿六日
明治二十九年地方稅收入支出追加豫算縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通り相定ム

○明治二十九年地方稅收入追加豫算

一金貳千五百貳拾壹圓四錢七厘

雜 收 入

一金貳拾壹萬千圓

國 庫 補 助 金

一金貳拾五萬三千圓

備荒儲蓄金ヨリ借入金

一金四萬八千五百圓

勸業資金ヨリ借入金

一金三千九百拾八圓

寄 附 金

合計金五拾壹萬八千九百三拾九圓四錢七厘

○明治廿九年地方稅支出追加豫算(△印ハ朱書)

一金三拾九萬貳千四百八拾貳圓八拾貳錢四厘

土 木 費

△內

△金貳拾貳萬八千七百五拾四圓八拾貳錢四厘

地 方 稅

△金拾六萬三千七百貳拾八圓

國 庫 補 助 金

此譯

金六萬千五百六拾貳圓七拾七錢五厘

道 路 橋 梁 費

金三拾萬三千三百九圓九拾貳錢九厘

治 水 堤 防 費

金貳萬七千六百拾圓拾貳錢

雜 費

一金拾貳萬四千四百拾壹圓六拾四錢

市町村土木補助費

△內

△金七萬六千八百六拾九圓六拾四錢

地 方 稅

△金四萬七千貳百七拾貳圓

國 庫 補 助 金

一金貳千三百拾四圓五拾八錢三厘

土木費借入金償却費

合計金五拾壹萬八千九百三拾九圓四錢七厘

○三重縣令第二十八號 三十年三月廿七日

明治二十五年(三月)三重縣令第二十九號市町村立小學校教員ノ給料額及旅費額ノ標準并ニ給料旅費其他諸給與ノ支給方法左ノ通り改正シ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

市町村立小學校教員ノ給料額及旅費額ノ標準并ニ給料旅費其他諸給與ノ支給方法

第一章

第一條

市町村立小學校教員給料額標準并支給方法

市町村立小學校教員給料額ノ標準ハ左ノ通り

正 教 員

准 教 員

高等小學校	男	六十圓以下十圓以上	二十五圓以下七圓以上
	女	六十圓以下八圓以上	二十五圓以下五圓以上
尋常小學校	男	五十圓以下八圓以上	二十圓以下五圓以上
	女	五十圓以下六圓以上	二十圓以下四圓以上

専科教員ニ限リ其給料額ハ標準ノ範圍外ニ減スルコトアルヘシ

第二條 給料ハ毎月下旬之ヲ支給スヘシ

第三條 給料ハ新任増給減給トモ總テ發令ノ翌日ヨリ計算スルモノトス

第四條 退職休職又ハ死亡ノトキハ其月給料ノ全額ヲ支給スヘシ

第五條 退職休職事務引續殘務調理ノ爲メ特ニ命ヲ承ケテ校務ニ従事シ翌月ニ涉ルト

キハ其間日割ヲ以テ尙從前ノ給料ヲ支給ス

第六條 他校ヲ兼務スル教員ノ俸給ハ其勤務ノ時間ニ應シテ分割シ本務兼務兩校ヨリ之ヲ支給スルモノトス

第七條 轉任ノモノハ前任學校ニ於テハ其辭令書受領ノ當日マテ新任學校ニ於テハ其翌日ヨリ日割ヲ以テ其月ノ給料ヲ支給スヘシ

第八條 病氣ノ爲メ執務セサルコト二十日ヲ踰ユルモノハ日割ヲ以テ給料ノ半額ヲ減シ

六十日ヲ踰ユルモノハ同其三分ノ二ヲ減ス九十日ヲ踰ユルモノハ其給料ヲ支給セス

但職務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹ルモノハ此限ニアラス

第九條 私事ノ故障ニ由リ執務セサルコト十五日ヲ踰ユルモノハ日割ヲ以テ其給料ノ半額ヲ減シ三十日ヲ踰ユルモノハ其給料ヲ支給セス

第十條 正當ノ理由ナクシテ缺勤スルモノハ其間俸給ヲ支給セス

第十一條 學校休業又ハ忌引ノ場合ト第八條第九條ノ場合ト連續スルトキハ其學校休業若クハ忌引ノ日數ヲ扣除ス

第十二條 日割計算法ハ其月ノ現日數ニ依ル給料ヲ支給スルニ當リ計算上厘位未滿ノ端數ハ切捨トス

第十三條 徴兵令第十三條第三項ニ依リ陸軍現役ニ服スルモノハ其服役中日割ヲ以テ給料ノ半額ヲ支給スヘシ

第十四條 小學校令第六十條第三項ニ依リ土地ノ使用又ハ物品ヲ以テ給料ニ換給スルノ歩合ハ現給料三分ノ一以上ニ超過スルヲ得ス

第十五條 前條ノ物品ハ穀物薪炭等日用必須ノ物品ニ限ルヘシ

第十六條 換給セントスル物品ノ評價ハ其地ノ三ヶ年平均相場ニヨリ市町村ニ於テ之ヲ算定シ會計年度開始前三十日マテニ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條 職務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルニ依リ休職ヲ命シタルモノハ現

給料三分ノ一ヲ支給シ其他ノ事由ニ依リ休職ヲ命シタルモノニハ給料ヲ支給セス
第二章

市町村立小學校教員旅費額ノ標準并支給方法
第十八條 市町村立小學校教員旅費額ノ標準左ノ如シ

瀛車賃	瀛船賃	車馬賃	日當
一哩毎ニ	一海里毎ニ	一里毎ニ	一日毎ニ
金三錢以上 四錢以下	金四錢以上 五錢以下	金六錢以上 十錢以下	金四十錢以上 七十錢以下

第十九條 瀛車賃ハ瀛車旅行瀛船賃ハ瀛船旅行車馬賃ハ陸路旅行日當ハ休泊料及其他ノ諸費ニ充ツル爲メ之ヲ支給ス

第二十條 日當ハ陸路六里未滿瀛車十哩未滿及瀛船十海里未滿ノ旅行ニハ支給セサルモノトス但公務ノ都合ニ依リ宿泊ヲ要スルトキハ宿泊ノ數ニ應シテ日當ヲ支給スヘシ

第二十一條 瀛車賃瀛船賃及車馬賃ハ路程ノ總數ヲ合算シテ之ヲ支給スヘシ但其一位未滿ノ端數ハ切捨トス

第二十二條 赴任旅費ハ舊任地ヨリ新任地ニ至ル迄本職相當ノ車馬賃瀛船賃ノ二倍ヲ支給スヘシ

第二十三條 退職ノ際事務引繼殘務調理其他公務ノ爲メ旅行セシムルトキハ前職相當ノ旅費ヲ支給スヘシ

第二十四條 旅行中私事ノ爲メ許可ヲ得テ迂路ヲ通過スルトキト雖モ順路ノ里程ニ應シタル旅費ノ外支給セサルヘシ

第二十五條 旅行中死亡又ハ廢校若クハ學校編制ノ變更ニヨリ退職シタルモノハ前職相當ヲ以テ舊任地マテノ旅費ヲ支給スヘシ

第二十六條 旅行中川留雪支等ノ爲メ他所ヲ迂回シ若シハ滞在シ又ハ疾病ノ爲メ滞在シタルトキハ旅費ヲ支給スヘシ此場合ニ於テハ川留雪支ハ確實ナル証明書ヲ取り疾病ハ醫師ノ診斷書ヲ取り差出スヘシ前項ノ證書又ハ診斷書ヲ差出サルトキハ其旅費ヲ支給セス

第二十七條 途上病ニ罹リ公用地ニ到ルヲ得スシテ歸ルト雖モ旅費ハ支給スヘシ

第三章

諸給與支給方法

第二十八條 教員中特ニ勤勞アルモノハ知事ノ許可ヲ經テ手當金等ヲ給與スルコトヲ得
第二十九條 教員執務時間ノ制限以外ニ補習科ノ教授ヲ担任スル場合ニ於ケル報酬ハ月給三分ノ一以内トシ知事ノ許可ヲ經テ之ヲ支給スヘシ

○三重縣令第二十九號 三十年三月三十一日

明治二十八年(十二月)本縣令第五十號明治二十九年地方稅ニ係ル收入支出豫算中縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通り更正ス

○明治二十九年衛生資金收出豫算

收 入

一金四千貳百拾圓

衛生資金收入

內

金四千圓

公債証書賣却代

金貳百拾圓

公債証書利子

支 出

一金四千貳百拾圓

衛生資金支出

金貳百拾圓

痘 苗 費

金四千圓

貸 出 金

○明治二十九年病院資金收出豫算

收 入

一金七千五百五拾七圓五拾錢

病院資金收入

內

金七千貳百圓

公債証書賣却代

金三百五拾七圓五拾錢

公債証書利子

支 出

一金七千五百五拾七圓五拾錢

病院資金支出

內

金七千貳百圓

貸 出 金

金三百五拾五圓拾六錢

公債証書購入代

金貳圓三拾四錢

雜 費

○明治廿九年度勸業資金收出豫算

收 入

一金六万三千五百九拾貳圓八拾三錢

勸業資金收入

此 譯

金五万八千八百圓

公債証書賣却代

金貳千七百三拾圓

公債証書利子

金貳百貳圓八錢三厘

貸 出 金 利 子

金千八百六拾圓七拾四錢七厘

明野勸農場雜收入

支 出

一金六万三千五百九拾貳圓八拾三錢

勸業資金支出

此 譯

金貳千八百八拾九圓貳拾貳錢
 金五万九千貳圓八錢三厘
 金貳千三百九拾九圓拾八錢七厘
 金貳圓三拾四錢

明野勸農場費
 貸出金
 公債證書購入代
 雜費

○三重縣令第三十號 三十年四月九日

明治廿九年(一月)三重縣令第一號本縣郡市長委任條件中へ左ノ一項ヲ追加ス(改訂)

十三 獸疫豫防法ニ於ケル評價ニ關スル事

○三重縣令第三十一號 三十年四月九日

明治廿三年(八月)法律第七十一號軌道條例ニ依ラサルモノニシテ道路又ハ堤塘上ニ軌道ヲ布設セントスルモノハ事由ヲ詳具シ尙工事設計書及平面實測圖近傍景況ヲモ撰寫スルヲ要ス常廳へ願出ツヘシ

○三重縣令第三十二號 三十年四月十三日

本縣農會規則左ノ通り相定ム

農會規則

第一條 農會ハ農業ノ改良進歩ヲ圖ルヲ以テ目的トスヘシ

第二條 農會ハ縣農會郡農會市町村農會ノ三種トス

第三條 市町村農會ハ一市町村ヲ以テ一區域トシ其市町村ニ於テ農業ヲ營ムモノ並ニ耕地山林原野ヲ所有スルモノヲ以テ組織スヘシ但他市町村ニ住居スルモノハ農會ニ加入セサルモ妨ナシト雖モ農會規約並ニ其決議事項ヲ遵守スヘシ

町村農會ハ土地ノ狀況ニ依リ數町村合同シテ之ヲ設クルコトヲ得

第四條 郡農會ハ郡内ノ町村農會ヲ以テ組織シ縣農會ハ郡市農會ヲ以テ組織スヘシ

第五條 各農會ニ於テ調査講究又ハ施行スヘキ事項ノ概目左ノ如シ

一 農事講 及講習

二 農事模範場及試作場

三 農產物及林產物ノ改良繁殖

四 種苗交換及汎布

五 利水及排水

六 田區ノ改正

七 農具肥料ノ改良

八 肥料種苗農具ノ共同購入及農產物共同販賣

九 家畜家禽ノ改良繁殖

十 山林ノ保護繁殖

十一 虫害豫防驅除

十二有益鳥獸保護

十三勤勉貯蓄

十四農家副業

十五農事ニ關スル官廳ノ諮問應答

十六農事功勞者ノ表彰

十七農事統計

十八農談會及農產品評會

十九其他必要ト認ムル事項

第六條 農會ハ會長其他必要ノ役員ヲ置キ其會ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

第七條 左ニ掲クル事項ハ規約ニ於テ之ヲ定ムヘシ

一 農會ノ名稱及事務所ノ位置

二 役員選舉法及權限

三 會議ニ關スル規定

四 費用收支ニ關スル規定

第八條 農會ハ其會ノ決議ニ依リ規約其他必要ノ規定ヲ設ケ町村農會ニ在テハ郡長郡市農會及縣農會ニ在テハ知事ノ認可ヲ受クヘシ其變更ヲ要スルトキ又同シ

第九條 農會經費ノ收支豫算ハ決議ノ都度町村農會ニ在テハ郡長ニ郡市農會及縣農會ニ在テハ知事ニ報告スヘシ

第十條 農會役員ノ住所氏名ハ町村農會ハ郡長ニ郡市農會及縣農會ハ知事ニ報告スヘシ

第十一條 縣農會ハ毎年十二月前年ニ於ケル各農會ノ事蹟ヲ調査シ知事ニ報告スヘシ

第十二條 市町村農會ノ費用ハ其會々員ノ資格ヲ有スルモノ之ヲ負擔シ郡農會ノ費用ハ其郡内各町村農會之ヲ負擔シ縣農會ノ費用ハ各郡市農會之ヲ負擔スヘシ

第十三條 各農會ハ其會ノ決議ヲ以農業上學識經驗又ハ功勞アルモノヲ推撰シテ特別會員トナスコトヲ得

第十四條 各農會創立準備ノ事務ハ市町村農會ハ市町村長ニ於テ創立委員五名以上ヲ指定シ郡農會ハ郡長ニ於テ郡内各町村農會ヨリ代表者ヲ招集シ之ヲ組織セシムヘシ郡市農會ハ知事ヲ招集シ依リ代表者各一名ヲ出シ縣農會ヲ組織スヘシ前項ノ費用ハ本則第十二條ニ依リ負擔スヘシ

○三重縣令第三十三號 三十年四月二十日

銃砲射的取締規則左ノ通相定ム

銃砲射的取締規則

第一條 銃砲射的ヲナサントスル者ハ左ノ書類ニ現場及附近ノ圖面ヲ添ヘ所轄警察署若

シハ警察分署ヲ經由シ縣廳ニ願出テ許可ヲ受ケ落成ノ上ハ更ニ警察署若クハ警察分署ニ届出テ検査ヲ受クヘシ

其變造改造セントスルキ亦全シ

一 目的及方法書(方法書ニハ期日用銃ノ種類員數等ヲ詳記ス)

二 射的場ノ位置及構造方法書

三 射的場附近ノ居住者并ニ地主(建造物アルトキハ其所有者)ノ承諾書

第二條 射的場ノ構造ハ後ニ示ス所ノ圖案及方法書ニ據ルヘシ

天然ノ丘阜ニ據リ射的場ヲ築キ若クハ放鳥等ノ射擊ヲナスモノニシテ人家道路等遠隔ニテ危險少虞ナキ場所ハ前項ニ據ルノ限リニアラス但其周圍ニハ相當ノ區域ヲ設クヘシ

第三條 發射時間ハ日出ヨリ日没迄トス

第四條 射的場ニハ主幹ヲ定メ其族籍住所身分氏名年齢ヲ所轄警察署若クハ警察分署ニ届出ツヘシ

主幹ハ滿年齢二十年以上ノ男子ニシテ銃砲取扱ニ熟達ノモノタルヘシ

第五條 主幹ハ場内一切ノ取締ヲナシ且ツ射手彈藥ノ裝填照準發射ノ方法ヲ監視シ及銃器ヲ検査シ危險ノ虞アルモノハ之レヲ取除クヘシ

第六條 射的場ニ於テハ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

一 十五歳未滿者白痴風癩者酩酊者ハ場内ニ入ラシムルヘカラス

二 發射ニ熟達セサルモノハ百「メートル」以内ノ距離ニ在テ射的ヲナサシムヘシ

三 賭博ニ類似スル所行ヲナシ若クハナサシムヘカラス

第七條 警察官吏ニ於テ危險若クハ風俗ヲ害スル虞アリト認ムルキハ一時射的ノ中止ヲ命スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テハ其情狀ニ依リ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第八條 此規則第一條第三條第四條第五條第六條及第七條第一項警察官吏ノ命令ニ従ハサルモノハ一日以上十日以下ノ拘留又ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

射的場構造方法及圖面

一 的阜ノ后ロ千五百「メートル」兩側五百「メートル」ノ空地ヲ設ケ置クヘシ若シ其空地ナキキハ覆道又ハ射場前十五「メートル」ノ所ヨリ的阜前二十五「メートル」ノ間ニ於テ十「メートル」毎ニ射門ヲ建設スヘシ

二 的阜ノ構造ハ第一圖ノ如クスヘシト雖標的三個以上ヲ用フルモノハ其一個毎ニ的阜幅二十四尺ヲ伸長スルモノトス

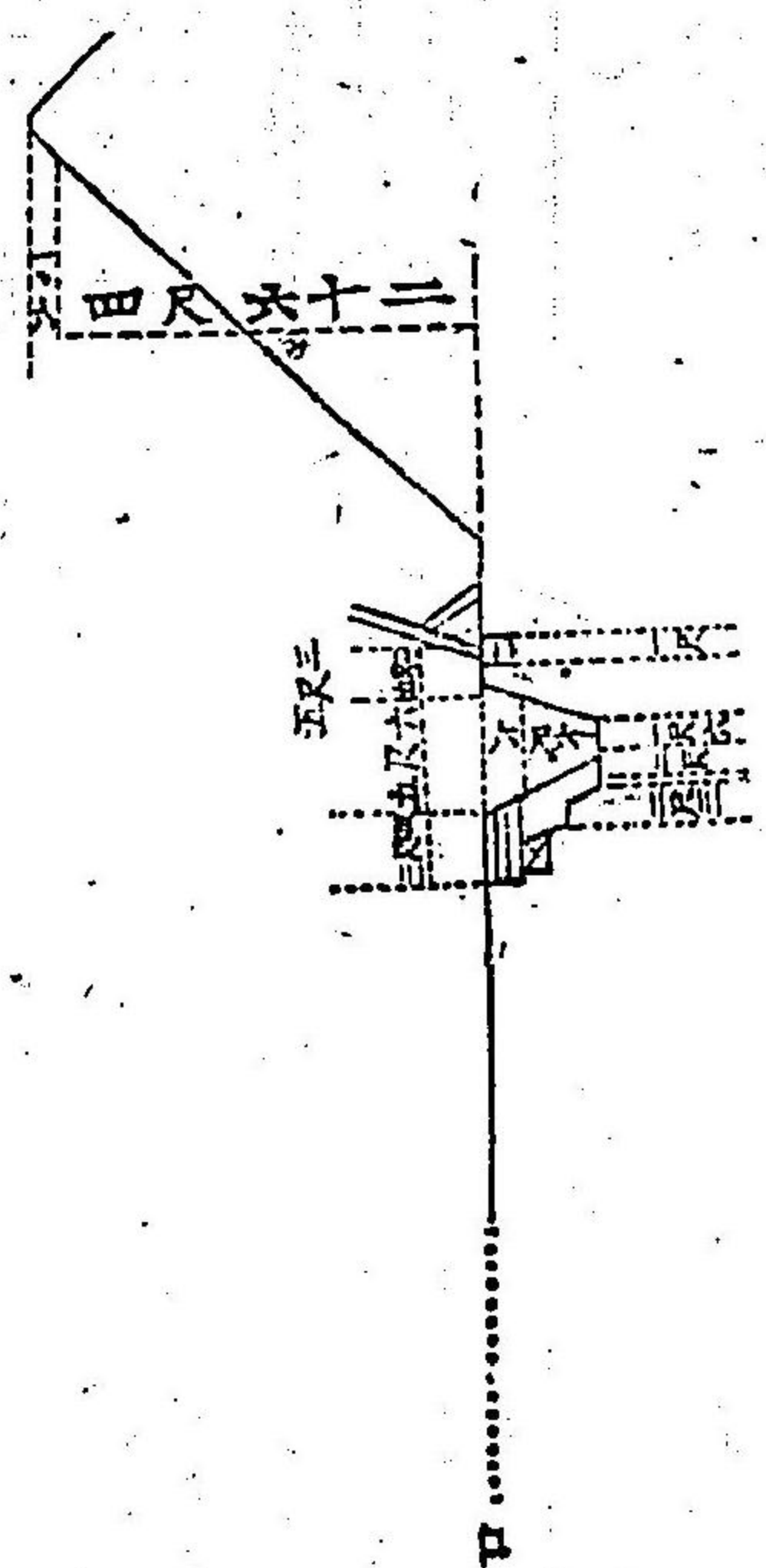
但免許銃射的ニ用フル的阜ハ其地ノ景狀ニ依リ縱橫各三尺乃至六尺ヲ減縮スルコトヲ得

三 的阜ノ四面傾斜高度ハ概テ四十五度ヲ法トス尤モ土性殊ニ粘膠質ナルモノハ側面ノ傾斜ヲ四十四度乃至四十三度ニ減縮スルコトヲ得

明治三十年四月 三重縣令

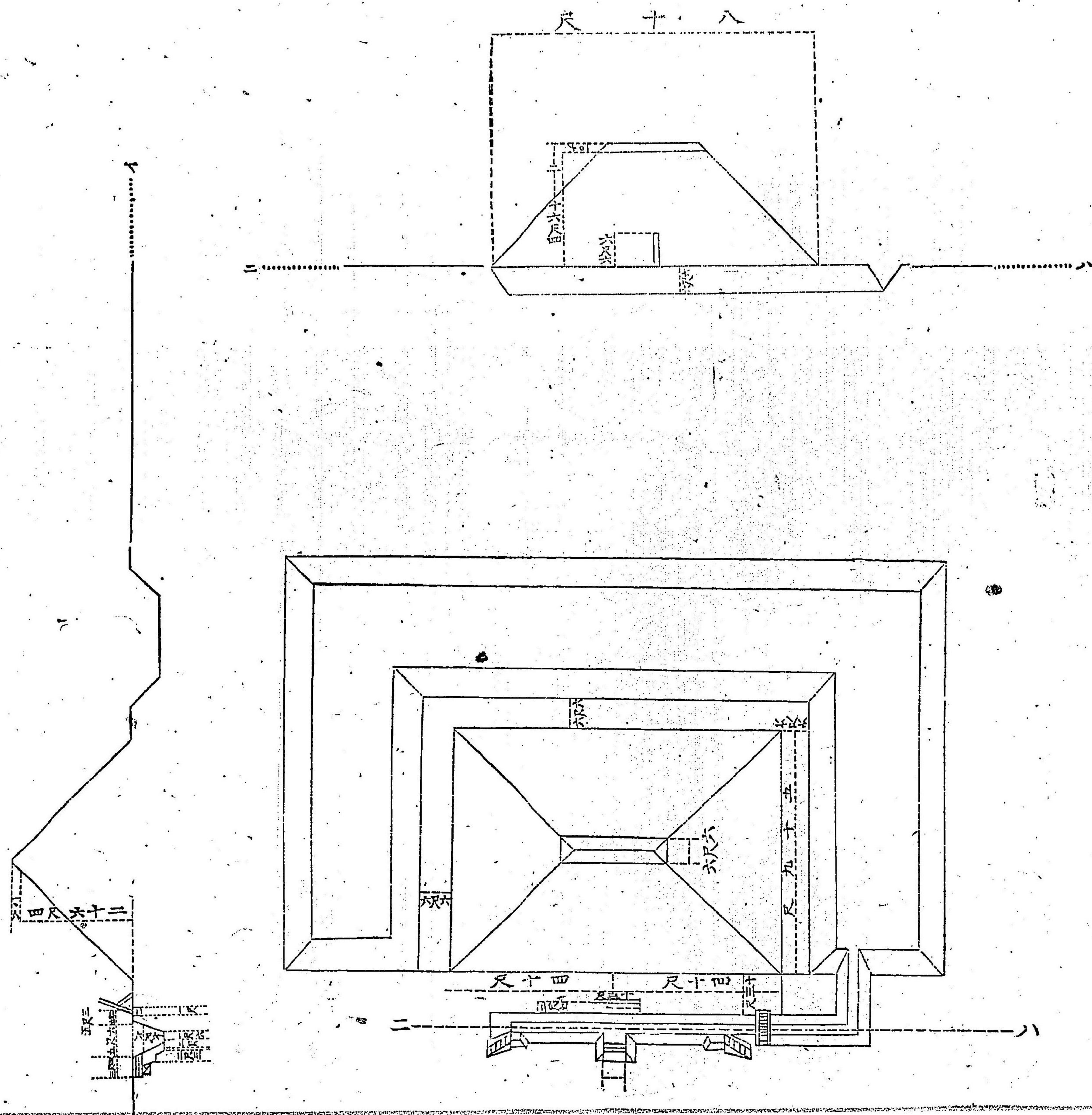
七七

- 四 的阜築造用ノ土性脆軟質ナド片ハ其中眞ニ土俵ヲ積ミ若クハ亂抗ヲ立列シテ崩壞ヲ防クヘン
- 五 射門ノ構造ハ第二圖ノ如ク長サ一尺五寸ノ木材ヲ疊積シ衝擊毀壞ヲ防ク爲メ釘又ハ鏝ノ類ヲ以テ所々貫綴スヘシ
- 六 標的二個以上ヲ用エル射門ハ第三圖ノ如ク其一個毎ニ之ヲ連綴スヘシ
- 七 射的場ノ周圍ニハ高六尺以上ノ土手又ハ柵ヲ建設スヘシ



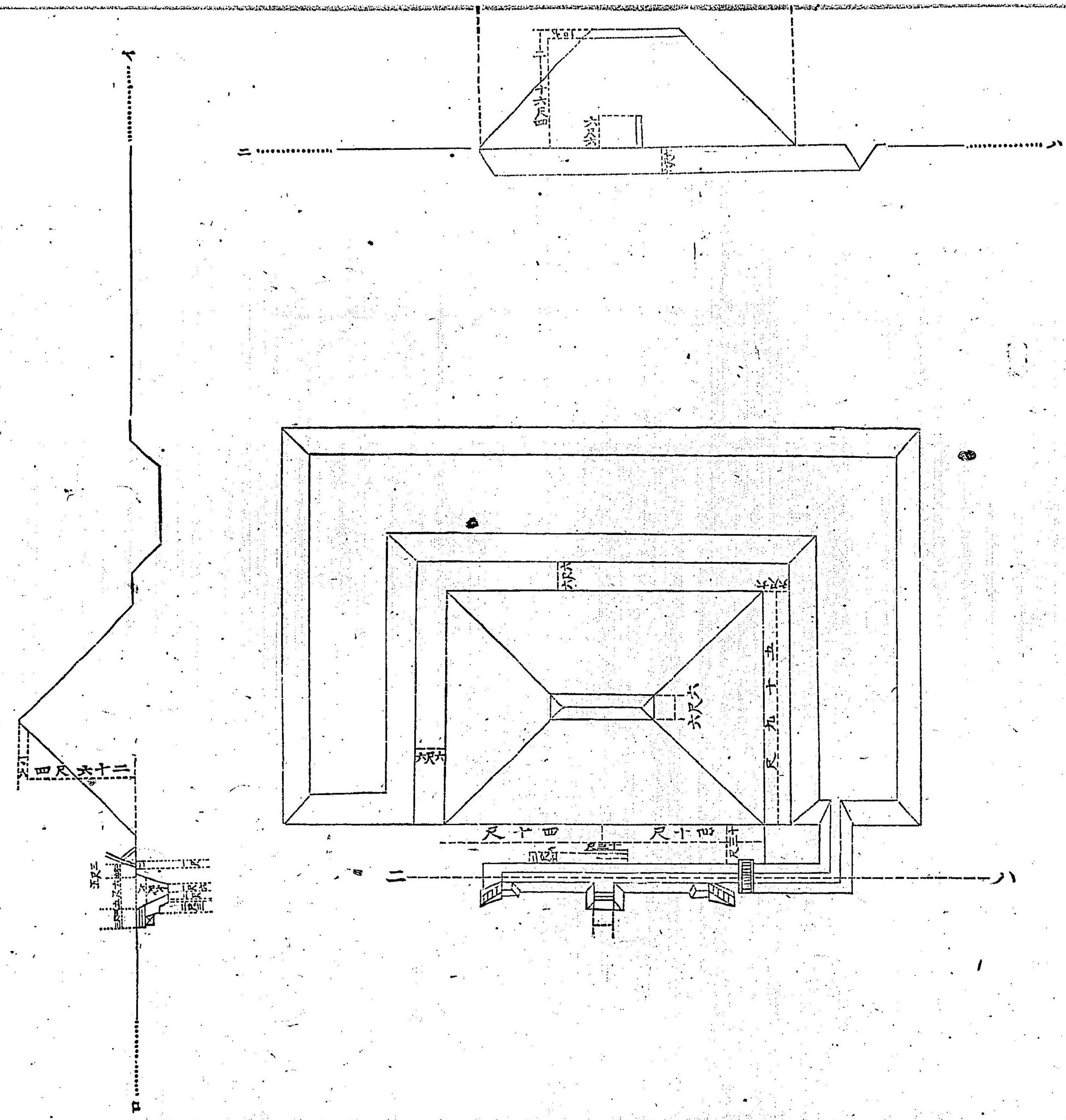
第一圖 的 阜

小 鏡 的 阜 四 百 分 一 圖

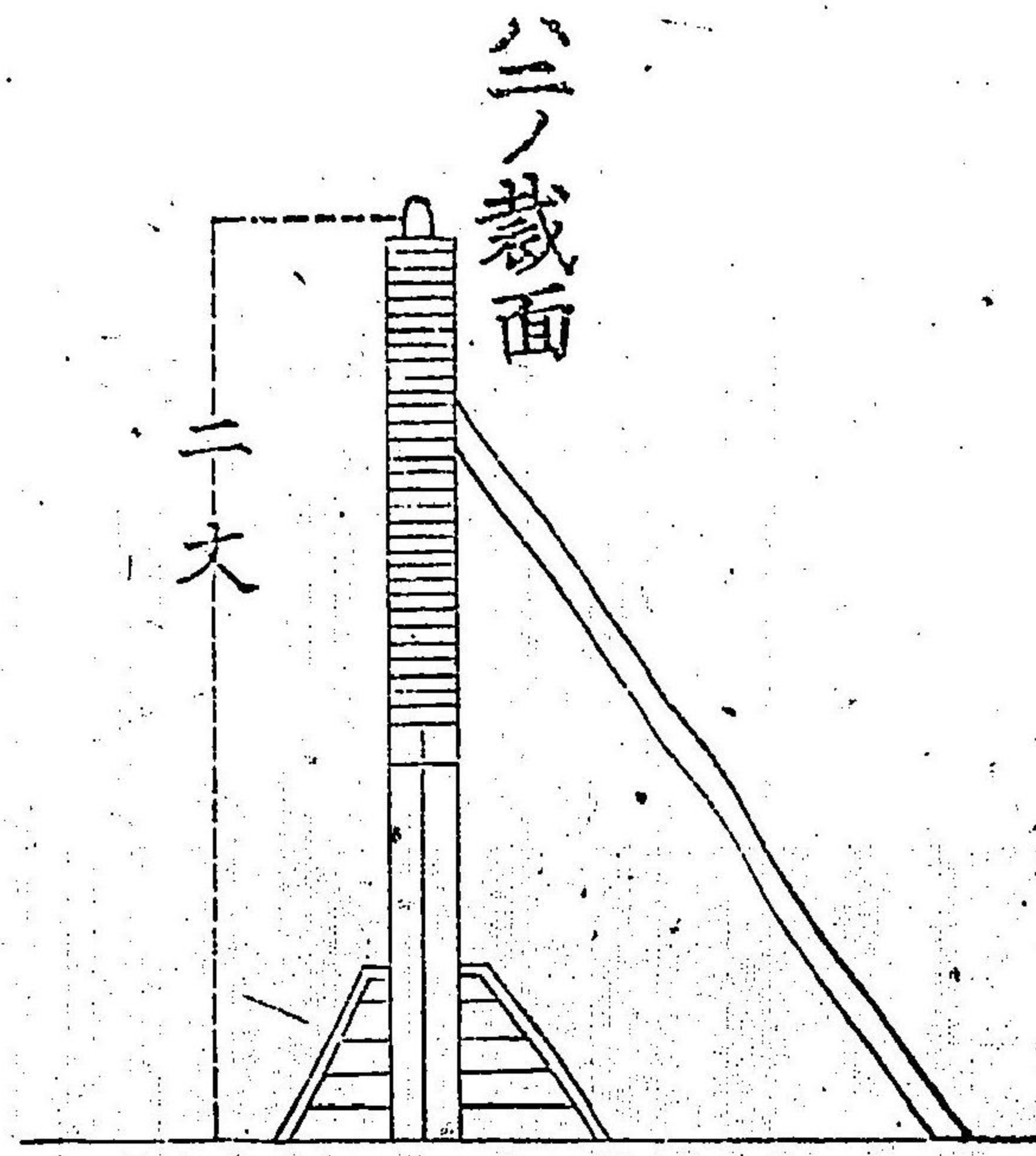
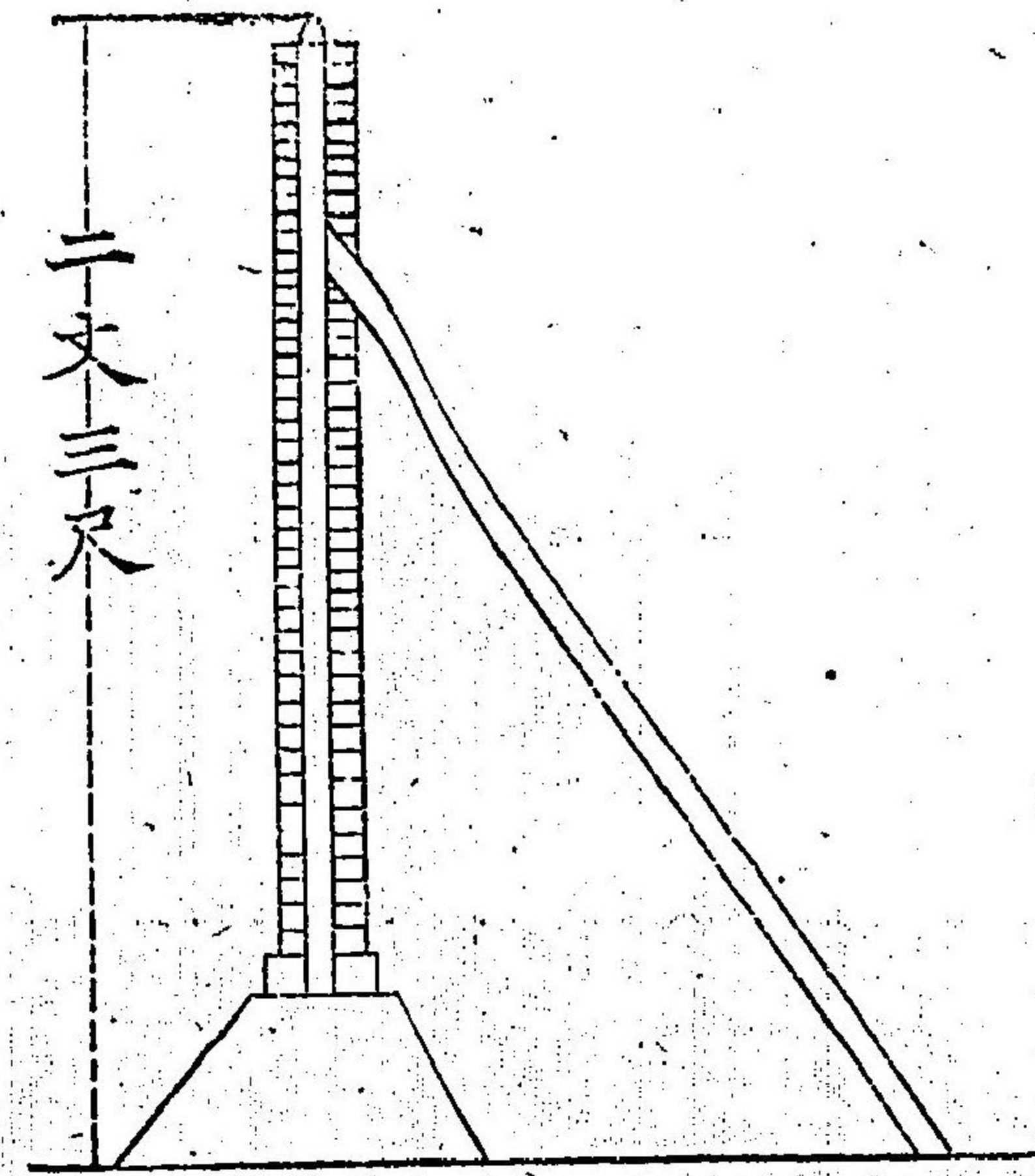


一圖的阜

四百分一ノ圖

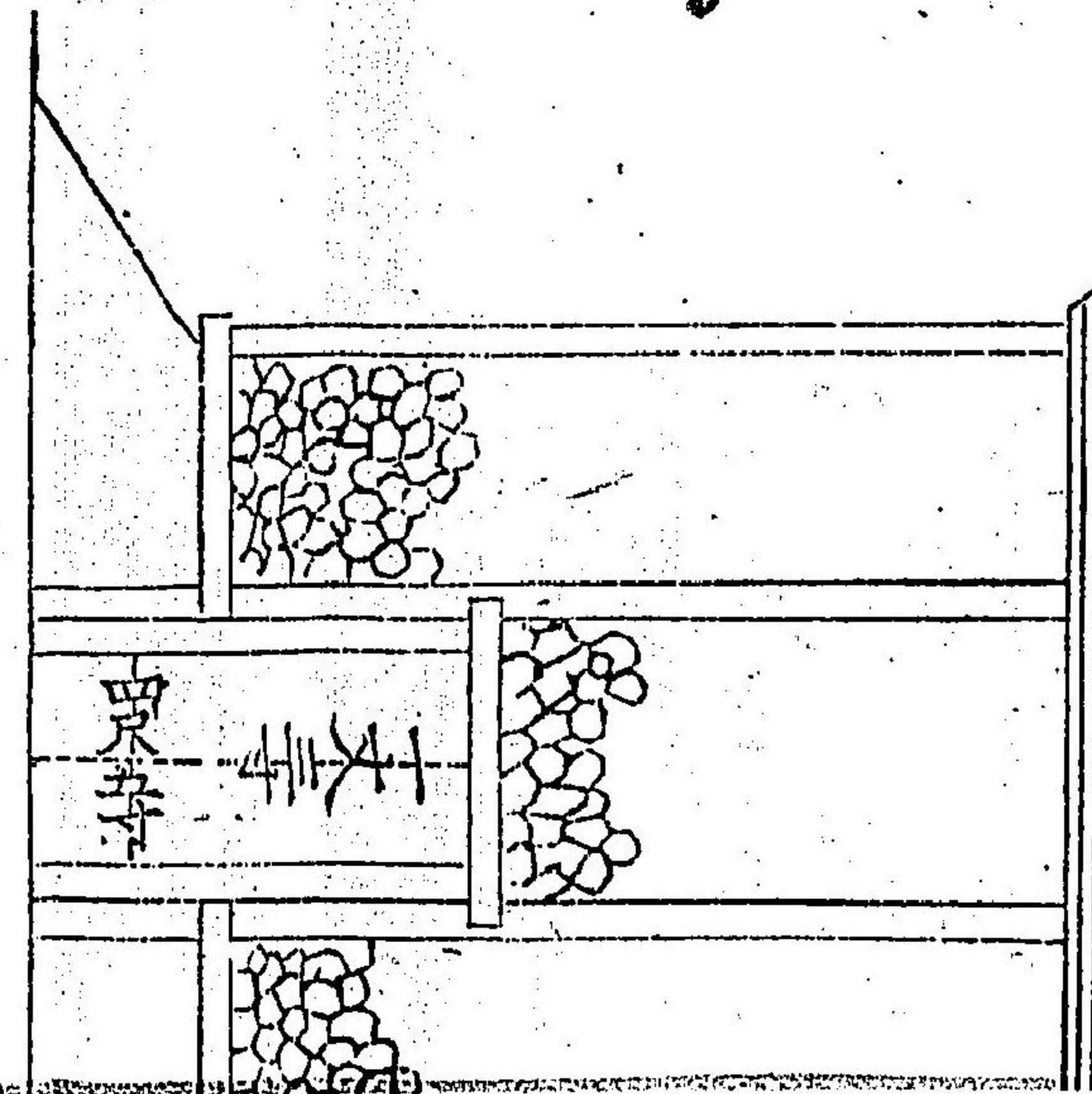
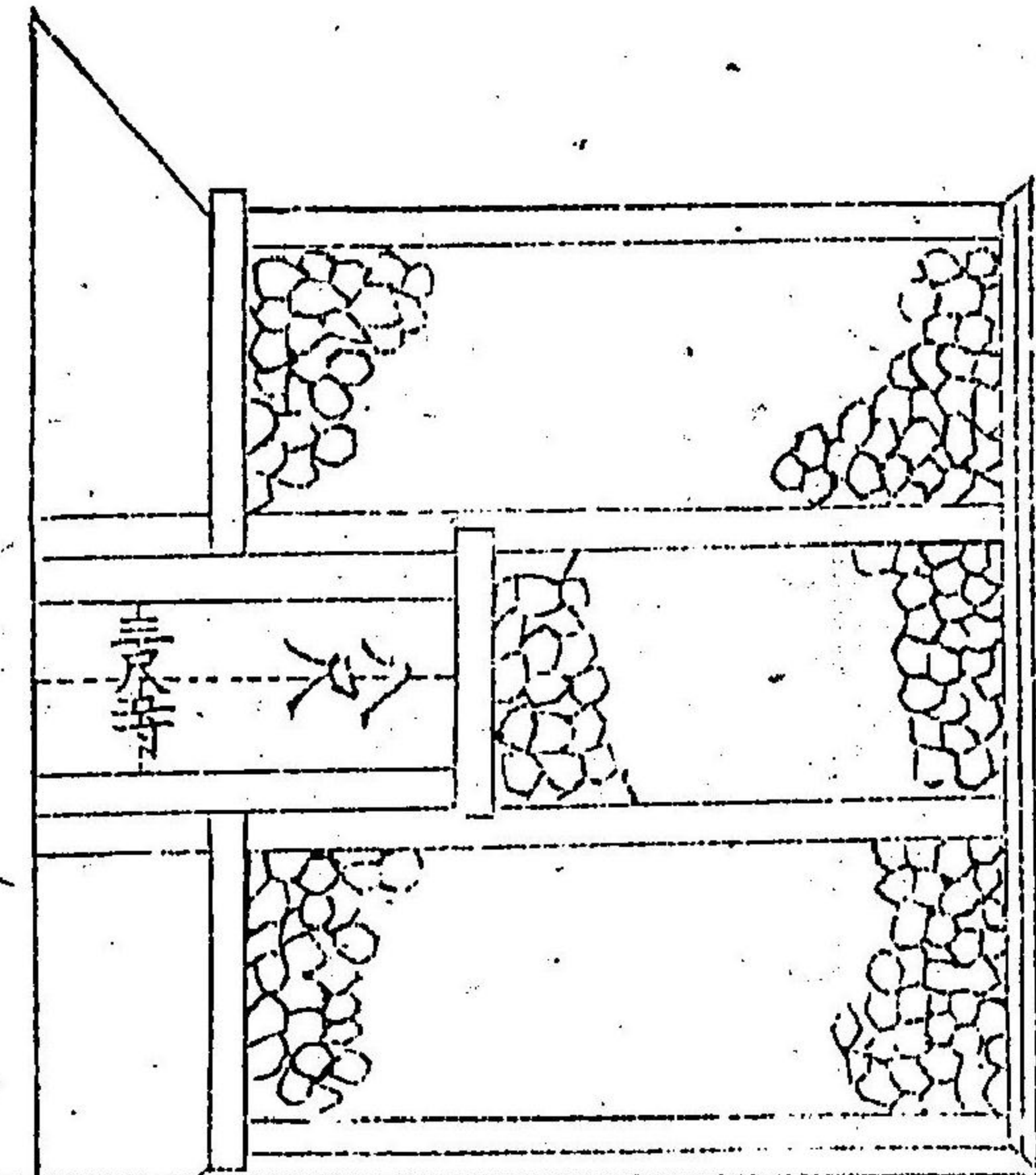


第二圖 ロハ的阜前二十五メートルノ所ニ建設スルモノトス

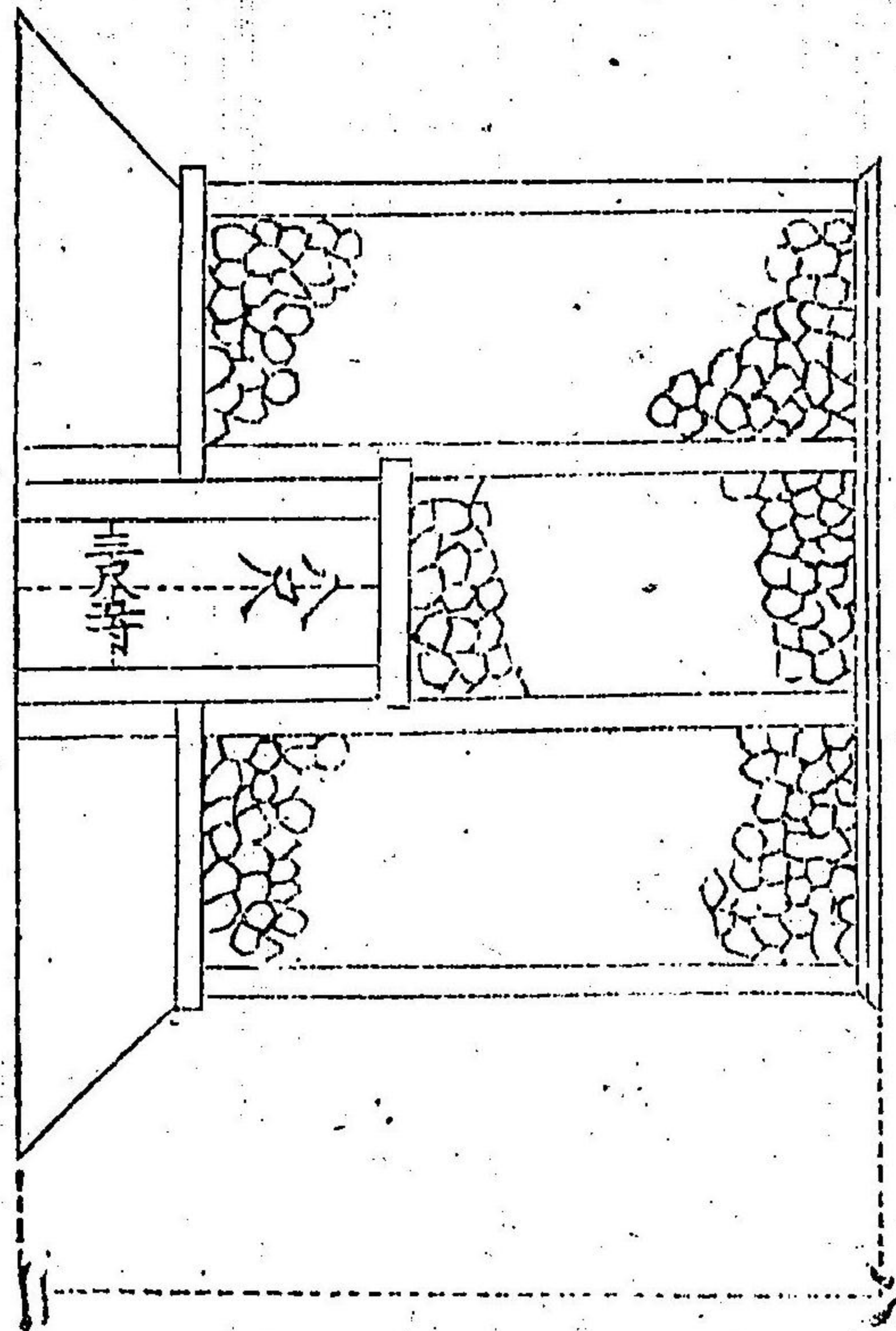
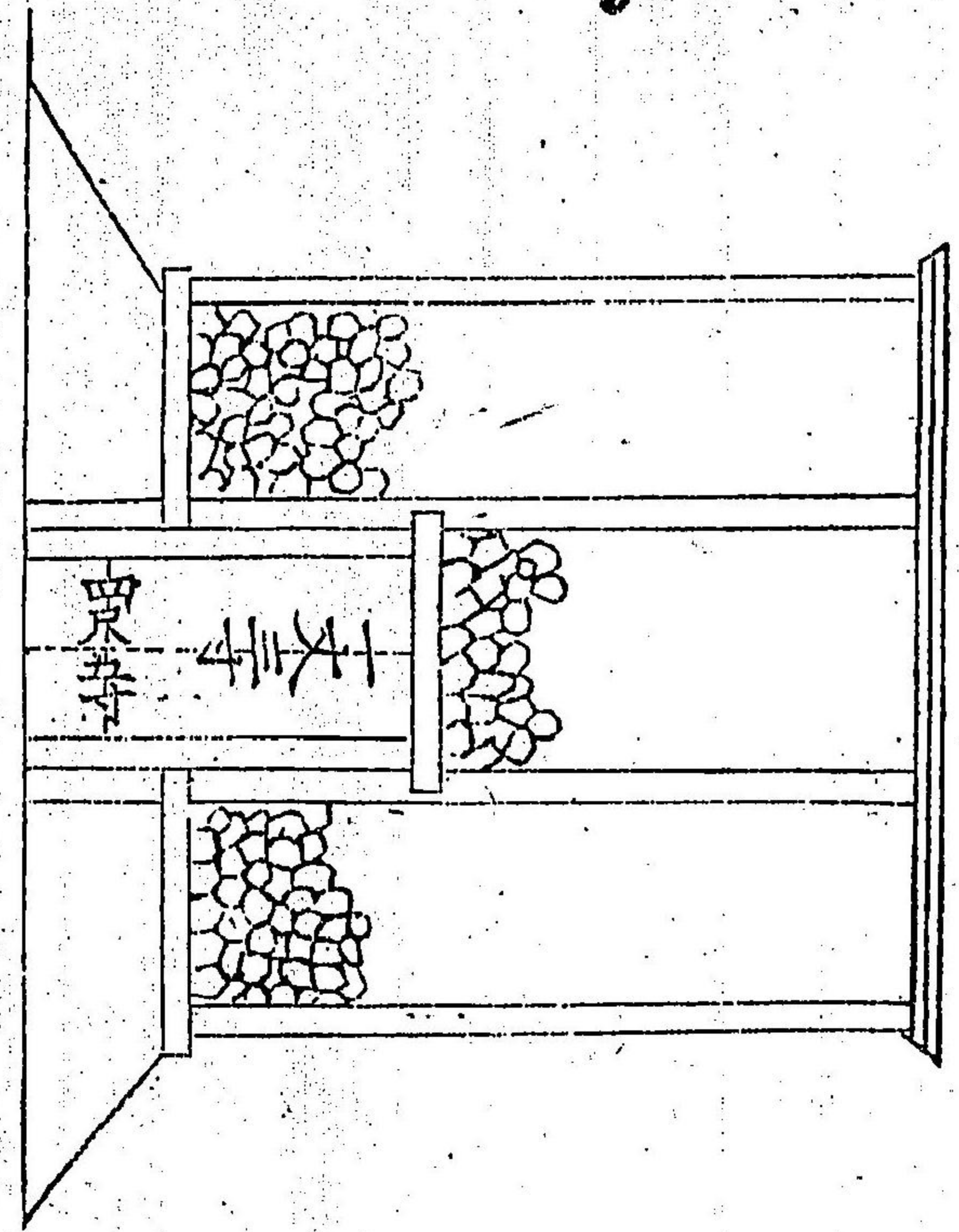
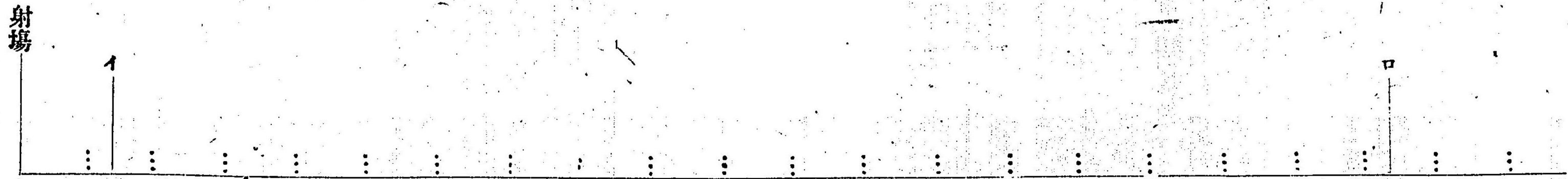
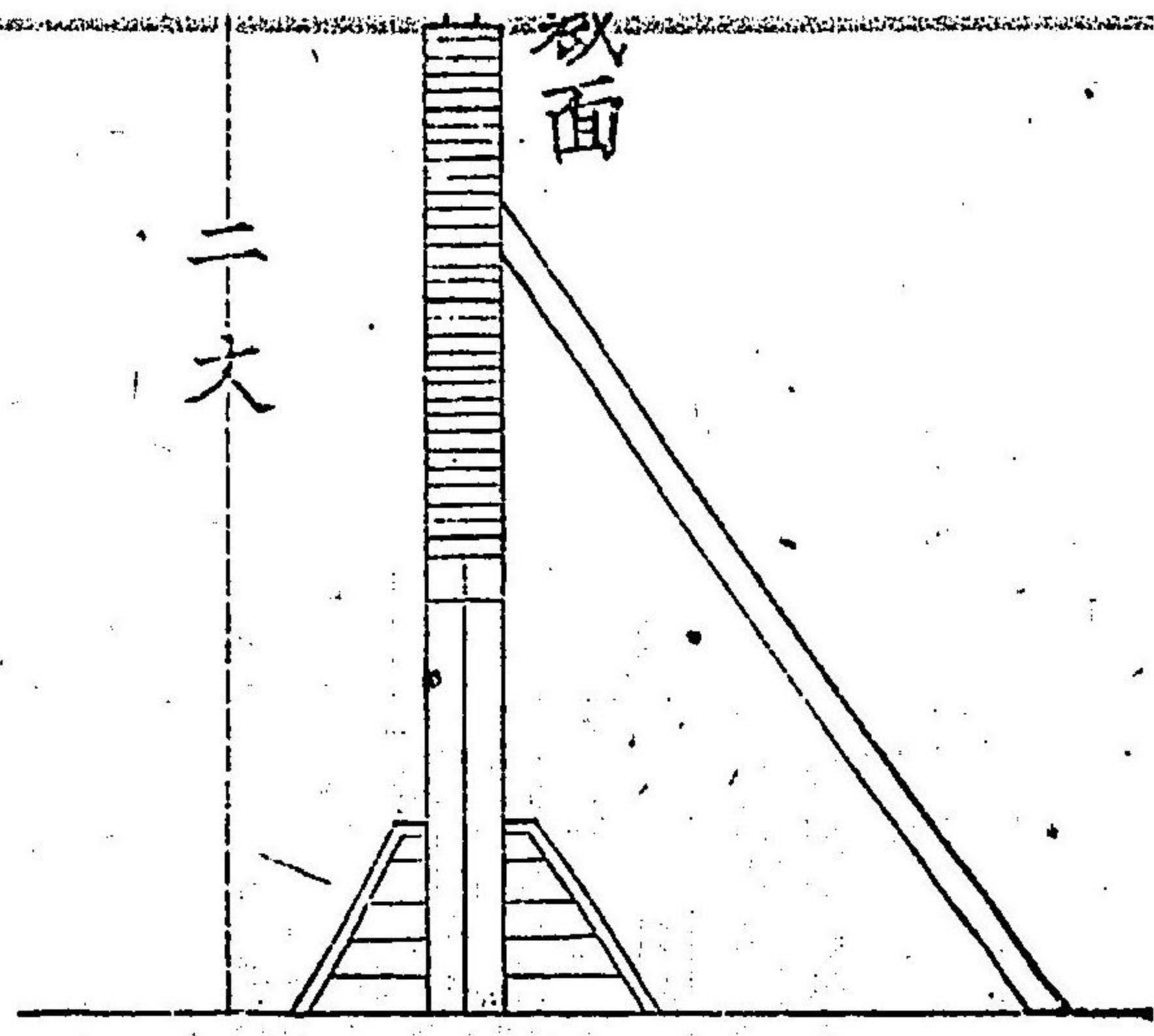
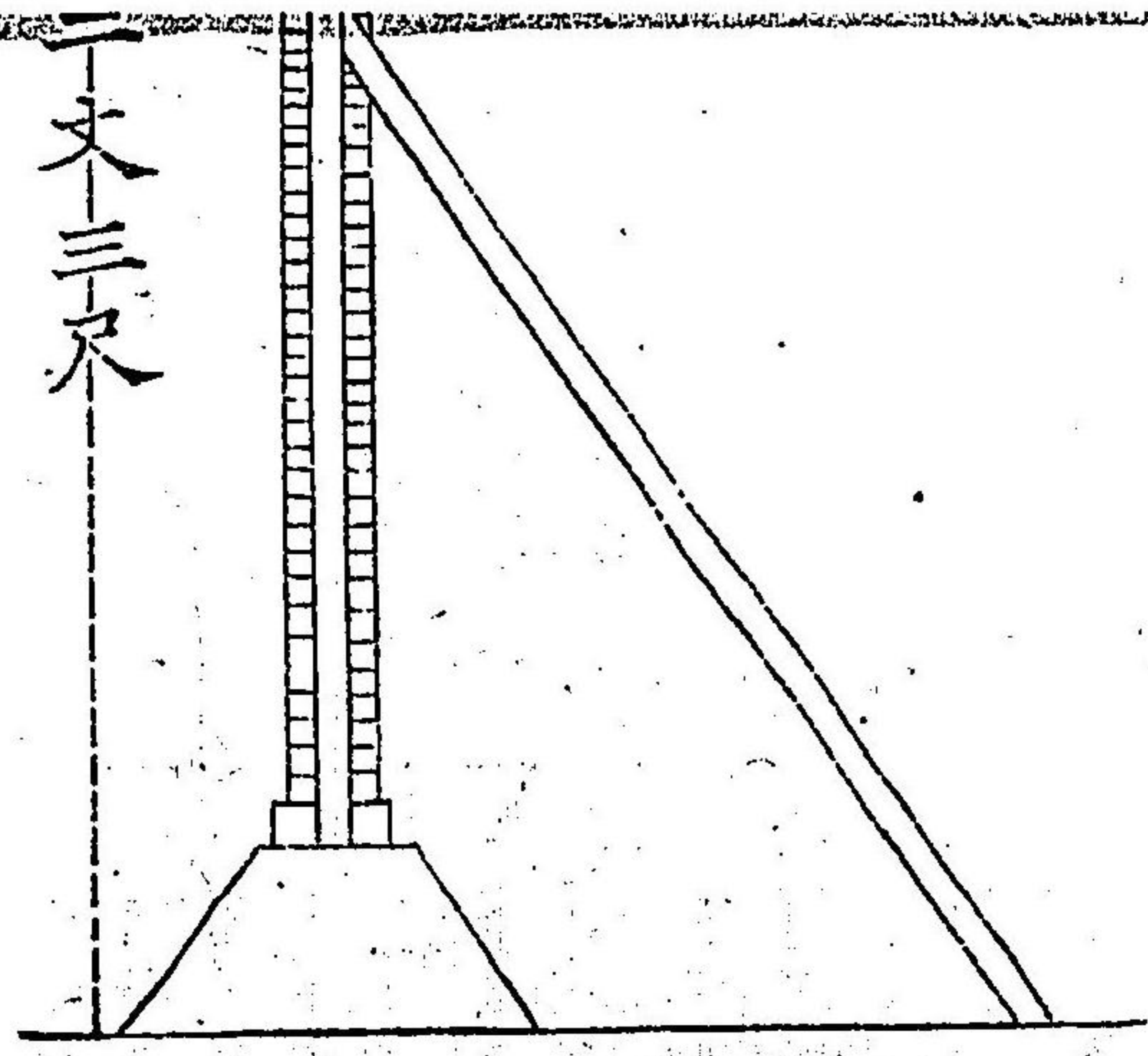


射場

イハ射場ヨリ十五メートルノ所ニ建設スルモノトス
イロ間ノ射門ノ高サハ「イロ」ノ射門ニ準シ適宜タルヘシ



二圖 ロハ的阜前二十五メートルノ所ニ建設スルモノトス



イ「ハ射場ヨリ十五メートルノ所ニ建設スルモノトス
 イロ間ノ射門ノ高サハ「イ」ノ射門ニ準シ適宜タルヘシ

○三重縣令第三十四號 三十年四月三十日
 明治廿七年(三月)本縣令第廿五號ヲ以テ採定シタル小學校教科用圖書ノ内左記ノ圖書ハ
 成規ノ手續ヲ經テ其定價ヲ變更シタルニ付明治廿九年文部省令第十一號ニ依リ文部大臣
 ノ許可ヲ受ケ更ニ審査ヲ要セス仍採定ノ効力ヲ有セシム

圖書名	卷冊	檢定年月日	著譯編述者	發行者	從前ノ定價	今回變更ノ定價
小學新習字本 (尋常科)	共九冊	明治廿六年 十二月廿九日	編者 奧田清十郎 著者 村田浩藏	松田鉦三郎	〇四五〇	〇五二〇
同 (高等科)	全八冊	明治廿七年 一月廿四日	同	同	〇四〇〇	〇四八〇

○三重縣令第三十五號 三十年五月十四日
 明治十八年(二月)本縣布達甲第六號同業組合準則中第四條ヲ削除ス
 ○三重縣令第二十六號 三十年五月十八日
 本年葉煙草ヲ栽培セントスル者ハ左記雛形ニ依リ來ル六月十日迄ニ其耕作地反別并ニ收
 穫見込高等届出ツヘシ
 (雛形)

明治三十年五月 三重縣令

明治三十年五月 三重縣令

八〇

葉煙草栽培届

- 一 煙草種類 何々(一種毎ニ其届書ヲ別ニスヘシ)
- 一 耕作地場所 何(市町村)何千何百番字何畑或ハ田(個所數ハ田畑一枚ヲ以テ一箇所トシ若シ一耕作反別 何反何畝何歩此個所數何ヶ所(個所數ハ田畑一枚ヲ以テ一箇所トシ若シ一收穫見込高 何十何貫何百目 枚中數ヶ所アラハ數ヶ所トシテ計算スヘシ)
- 右及御届候也

年 月 日

住 所

姓

名 印

知 事 宛

- 三重縣令第三十七號 三十年五月廿一日
- 明治二十九年(十二月)本縣令第四十九號地方稅營業稅雜種稅取締ニ關スル規定第三十一條ヲ削除シ第二十二條ヲ繰上ク(改訂)
- 三重縣令第三十八號 三十年五月廿一日
- 明治二十九年(十二月)本縣令第四十九號地方稅收入出納期限ハ來ル九月十日トス
- 三重縣令第三十九號 三十年六月八日
- 鐵道施設ノ爲メ在來ノ道路橋梁溝渠運河等ヲ變換シ又或ニ時之ヲ移設シ若クハ線路ノ道路河川ヲ横斷スル場合ニ於テ橋梁ヲ架シ踏切道ヲ設ケントスルモノハ左ノ區分ニ依リ出

願許可ヲ受ケルヘシ

長 官 署 長 官 署 長 官 署

- 一 地方稅支辨ニ屬スル道路橋梁及河川ハ縣廳
- 二 市町村費支辨ニ屬スル道路橋梁溝渠運河及河川ハ郡市役所又ハ
- 三重縣令第四十號 三十年六月八日
- 本年(二月)三重縣令第十九號ヘ左ノ二項ヲ追加シ元第四項ヲ第五項トス(改訂左費略)
- 三重縣令第四十一號 三十年六月廿二日
- 明治三十年(二月)本縣令第十九號地方稅會計規則第七條第五左ノ通リ改正ス
- 第五 前各項ノ類別ニ入ヌサル費用及ヒ衛生病院費中傳染病豫防費救育費難破船諸費ハ總テ仕拂命命ヲ發セシ日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ定ムヘシ
- 三重縣令第四十二號 三十年七月三日
- 明治三十年度ニ屬スル地方稅營業稅雜種稅中商業料理屋飲食ノ諸稅ハ更ニ納期ヲ定ムル迄其徵收ヲ延期ス
- 三重縣令第四十三號 三十年七月卅一日
- 本年(二月)縣令第三十三號明治三十年度請願巡査費徵收法中俸給ノ金額ヲ百拾貳圓四拾錢ト改正シ來ル八月一日ヨリ施行ス(改訂)
- 三重縣令第四十四號 三十年八月七日
- 名賀郡比奈知村及國津村ニ於テ牛疫發生ニ付同村ヲ限リ牛羊豚ノ出入往來ヲ停止ス違フ

明治三十年七月 三重縣令

八一

モノハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處スルモノハ本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス本年縣令第五十三號ヲ以廢止

○三重縣令第四十五號 三十年八月廿七日
奈良縣ニ於テ牛疫蔓延ニ付同縣下ヨリ牛羊豚ヲ輸入スル中トヲ停止ス(本年縣令第五十五號ヲ以廢止)

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

○三重縣令第四十六號 三十年八月卅一日
明治三十年度慈惠救濟基金收出豫算縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通り相定ム

明治三十年度慈惠救濟基金收出豫算

收 入	金四百拾五圓	慈惠救濟基金收入
支 出	金四百拾五圓	公債證書利子
金四百拾五圓		公債證書購入代

金參圓

雜費

○三重縣令第四十七號 三十年八月卅一日

明治三十年度地方稅收入支出追加豫算縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通り相定ム

明治三十年度地方稅收入追加豫算

金拾五圓八拾五錢六厘	雜費收入
金拾四萬七千貳百貳拾壹圓四拾貳錢九厘	前年度繰越金
金六百七拾八圓貳拾八錢壹厘	國庫下渡金
合計金拾四萬七千九百拾五圓五拾六錢六厘	
明治三十年度地方稅支出追加豫算	△印ハ朱書
金四千六圓	警 察 費
△內	
△金三千三百貳拾五圓拾貳錢	地 方 稅
△金六百六拾五圓貳錢四厘	國庫下渡金
△金拾五圓八拾五錢六厘	請願巡查費
此 譯	
金四千六圓	俸 給